

## 6 生活習慣、歯科保健等に関する調査の結果

### (1) 健康への意識

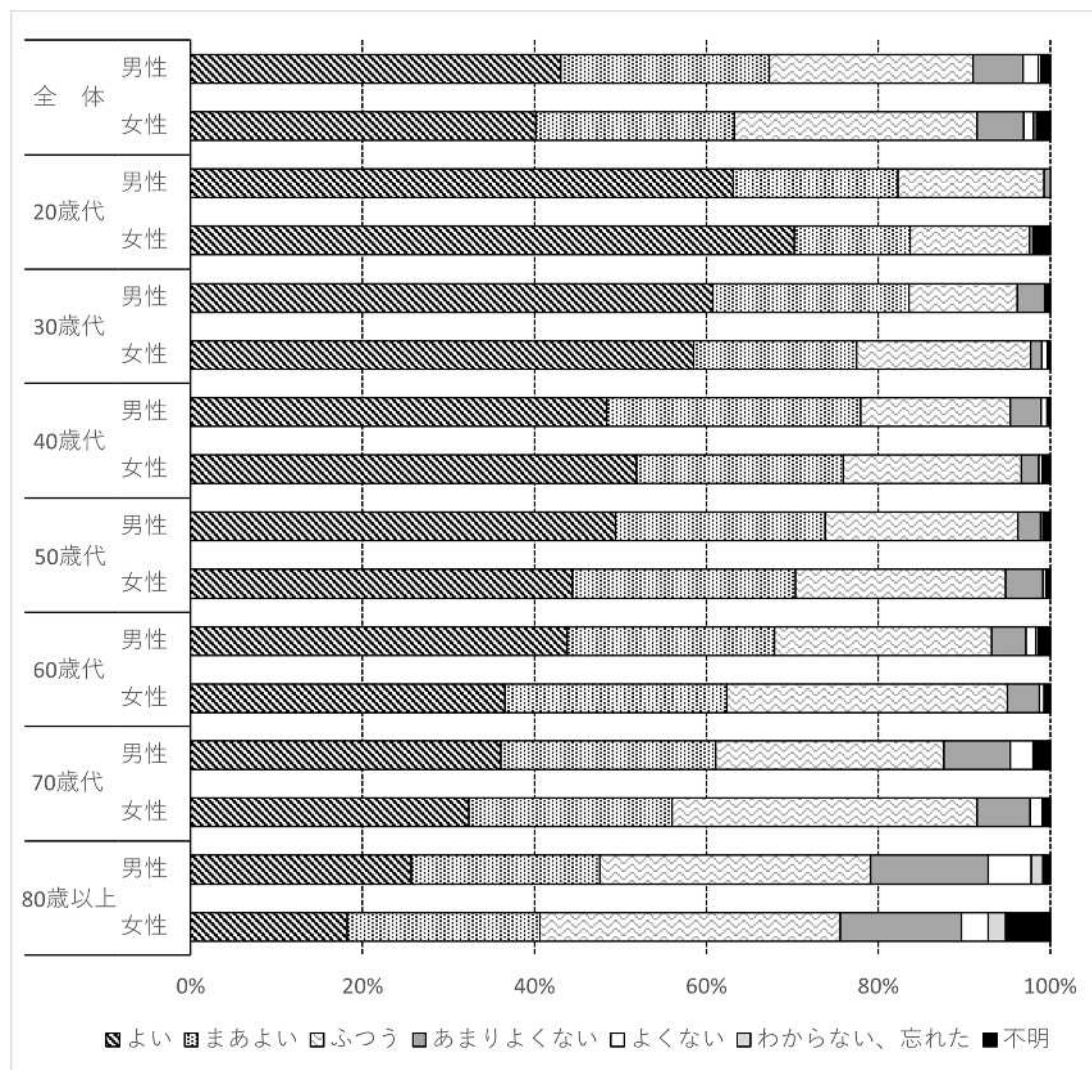
#### ア 主観的健康観（問4 現在の健康状態はいかがですか。）

「よい」、「まあよい」を合わせると、男性は67.3%、女性は63.2%の者が健康と回答しているが、年齢があがるにつれて「健康」と回答する者は減少した。男女別でみると、20歳代を除き男性の方が女性よりも健康であると認識している者が多い傾向であった。70歳代になると男女とも「あまりよくない」、「よくない」と回答する者が増加した（表Ⅱ-6-(1)-ア-1、図Ⅱ-6-(1)-ア-1）。

表Ⅱ-6-(1)-ア-1 年代別・男女別による主観的健康観の違い

		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	わからない 忘れた	不明
男性	20歳代	89 63.1%	27 19.1%	24 17.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	96 60.8%	36 22.8%	20 12.7%	5 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%
	40歳代	136 48.4%	83 29.5%	49 17.4%	10 3.6%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.4%
	50歳代	172 49.4%	85 24.4%	78 22.4%	9 2.6%	1 0.3%	0 0.0%	3 0.9%
	60歳代	187 43.8%	103 24.1%	108 25.3%	17 4.0%	5 1.2%	1 0.2%	6 1.4%
	70歳代	178 36.1%	123 24.9%	131 26.6%	38 7.7%	13 2.6%	1 0.2%	9 1.8%
	80歳以上	92 25.6%	79 22.0%	113 31.5%	49 13.6%	18 5.0%	5 1.4%	3 0.8%
	合計	950 43.0%	536 24.3%	523 23.7%	129 5.8%	39 1.8%	7 0.3%	23 1.0%
女性	20歳代	177 70.2%	34 13.5%	35 13.9%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.0%
	30歳代	179 58.5%	58 19.0%	62 20.3%	4 1.3%	2 0.7%	0 0.0%	1 0.3%
	40歳代	276 51.9%	128 24.1%	110 20.7%	11 2.1%	2 0.4%	0 0.0%	5 0.9%
	50歳代	258 44.4%	151 26.0%	142 24.4%	25 4.3%	2 0.3%	0 0.0%	3 0.5%
	60歳代	206 36.6%	145 25.8%	184 32.7%	21 3.7%	3 0.5%	0 0.0%	4 0.7%
	70歳代	248 32.4%	181 23.6%	272 35.5%	47 6.1%	11 1.4%	1 0.1%	6 0.8%
	80歳以上	116 18.2%	143 22.4%	223 35.0%	90 14.1%	20 3.1%	13 2.0%	33 5.2%
	合計	1460 40.1%	840 23.1%	1028 28.3%	199 5.5%	40 1.1%	14 0.4%	57 1.6%

図Ⅱ-6-(1)-ア-1 年代別・男女別による主観的健康観の違い



1年間に歯科以外で受診した病気（問4-1 この1年間に歯科以外で治療を受けた病気すべてに○をつけてください。）

「あまりよくない」、「よくない」と回答した者のみを対象として集計した。

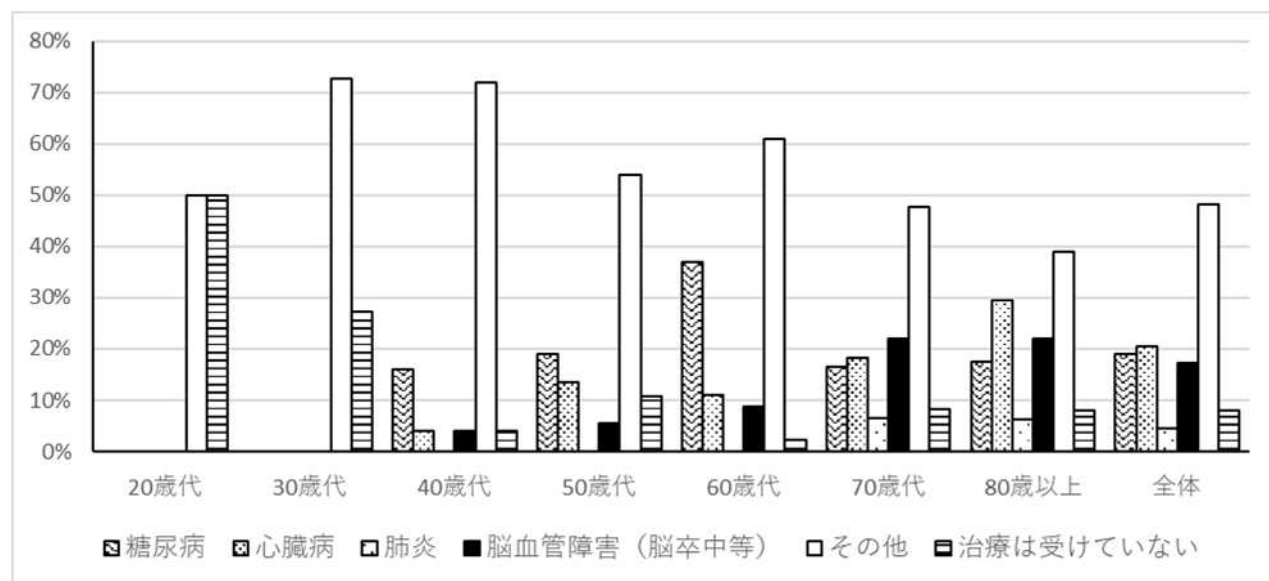
40歳代から糖尿病、50歳代から心臓病、70歳代から肺炎と脳血管障害（脳卒中等）が増加しはじめ、いずれも年齢が上がるにつれて、割合が高くなった（表Ⅱ-6-(1)-ア-2、図Ⅱ-6-(1)-ア-2）。

表Ⅱ-6-(1)-ア-2 年代別による1年間に歯科受診した方の既往疾患の種類

	糖尿病	心臓病	肺炎	脳血管障害 (脳卒中等)	その他	治療は受けて いない
20歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%
30歳代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 72.7%	3 27.3%
40歳代	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	18 72.0%	1 4.0%
50歳代	7 18.9%	5 13.5%	0 0.0%	2 5.4%	20 54.1%	4 10.8%
60歳代	17 37.0%	5 10.9%	0 0.0%	4 8.7%	28 60.9%	1 2.2%
70歳代	18 16.5%	20 18.3%	7 6.4%	24 22.0%	52 47.7%	9 8.3%
80歳以上	31 17.5%	52 29.4%	11 6.2%	39 22.0%	69 39.0%	14 7.9%
合計	77 18.9%	83 20.4%	18 4.4%	70 17.2%	196 48.2%	33 8.1%

\* 「あまりよくない」「よくない」と回答した者の回答のみ計上、重複回答を含む。

図Ⅱ-6-(1)-ア-2 年代別による1年間に歯科受診した疾患の種類



H28 調査との比較では、いずれの疾患も治療は受けていないと回答した者は非常に少ない結果であった（表Ⅱ-6-(1)-ア-3）。この結果から、コロナ禍によって全身的既往のある患者の歯科受診が抑制されたことがうかがえる。

表Ⅱ-6-(1)-ア-3 年代別による1年間に歯科受診した方の既往疾患の種類（H28 調査との比較）

	調査年度	糖尿病	心臓病	肺炎	脳血管障害 (脳卒中等)	その他	治療は受けていない
20 歳代	R02	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
	H28	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	16.4%
30 歳代	R02	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%
	H28	0.9%	0.2%	0.0%	0.0%	6.8%	17.6%
40 歳代	R02	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	2.2%	0.1%
	H28	1.6%	0.2%	0.2%	0.1%	7.8%	19.1%
50 歳代	R02	0.8%	0.5%	0.0%	0.2%	2.2%	0.4%
	H28	3.1%	1.3%	0.0%	1.0%	14.9%	15.6%
60 歳代	R02	1.7%	0.5%	0.0%	0.4%	2.8%	0.1%
	H28	5.7%	2.8%	0.6%	1.0%	25.1%	17.9%
70 歳代	R02	1.4%	1.6%	0.6%	1.9%	4.1%	0.7%
	H28	9.3%	7.3%	1.4%	2.3%	31.9%	15.6%
80 歳以上	R02	3.1%	5.2%	1.1%	3.9%	6.9%	1.4%
	H28	7.7%	13.1%	0.8%	1.9%	33.6%	13.9%
合計	R02	1.3%	1.4%	0.3%	1.2%	3.4%	0.6%
	H28	4.2%	2.9%	0.5%	0.9%	17.5%	16.9%

\*H28 調査との比較のため、全被調査者に対する割合、重複回答を含む。

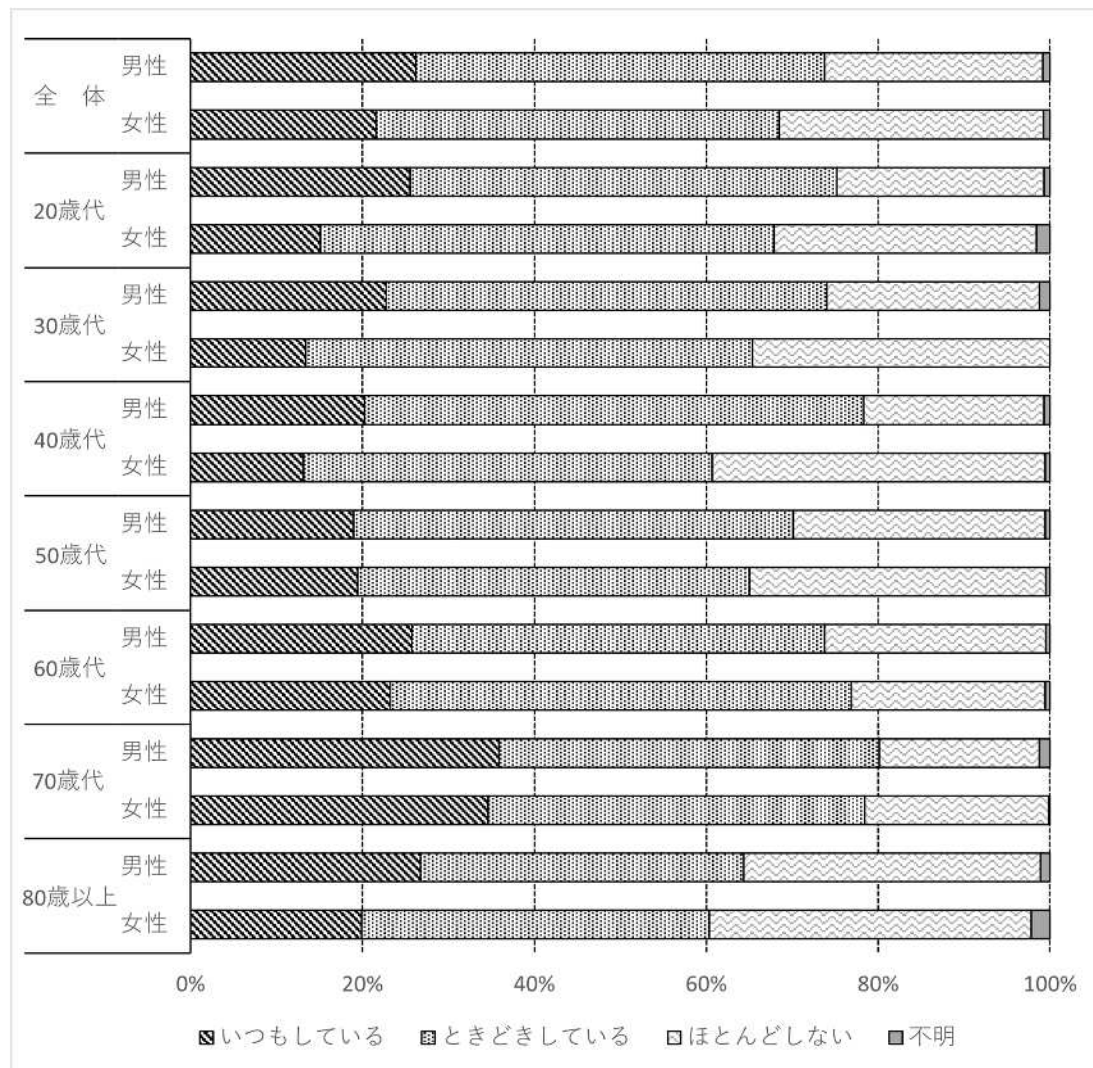
イ 健康のための運動の頻度（問5 健康のために、からだを動かすなどの運動をしていますか。）

運動をしている（「いつもしている」、「ときどきしている」の合計）と回答した者は、60歳代を除き、男性の方が女性より多かった。最も運動をしている者が多かったのは男性の70歳代で、80.1%であった。（表Ⅱ-6-(1)-イ-1、図Ⅱ-6-(1)-イ-1）。

表Ⅱ-6-(1)-イ-1 年代別・男女別による運動の頻度

性別	年代	いつもしている	ときどきしている	ほとんどしない	不明
男性	20歳代	36 25.5%	70 49.6%	34 24.1%	1 0.7%
	30歳代	36 22.8%	81 51.3%	39 24.7%	2 1.3%
	40歳代	57 20.3%	163 58.0%	59 21.0%	2 0.7%
	50歳代	66 19.0%	178 51.1%	102 29.3%	2 0.6%
	60歳代	110 25.8%	205 48.0%	110 25.8%	2 0.5%
	70歳代	177 35.9%	218 44.2%	92 18.7%	6 1.2%
	80歳以上	96 26.7%	135 37.6%	124 34.5%	4 1.1%
	合計	578 26.2%	1050 47.6%	560 25.4%	19 0.9%
女性	20歳代	38 15.1%	133 52.8%	77 30.6%	4 1.6%
	30歳代	41 13.4%	159 52.0%	106 34.6%	0 0.0%
	40歳代	70 13.2%	253 47.6%	206 38.7%	3 0.6%
	50歳代	113 19.4%	265 45.6%	200 34.4%	3 0.5%
	60歳代	131 23.3%	302 53.6%	127 22.6%	3 0.5%
	70歳代	265 34.6%	336 43.9%	164 21.4%	1 0.1%
	80歳以上	127 19.9%	258 40.4%	239 37.5%	14 2.2%
	合計	785 21.6%	1,706 46.9%	1,119 30.8%	28 0.8%

図Ⅱ-6-(1)-イ-1 年代別・男女別による運動の頻度



H28 調査との比較では、男性では 20 歳代と 60 歳以上、女性では 50 歳以上で R02 調査の方が運動をしている者の割合が少なかった（表Ⅱ-6-(1)-イ-2）。コロナ禍の影響も考えられる。

表Ⅱ-6-(1)-イ-1 年代別・男女性別による運動の頻度（H28 調査との比較）

性別	年代	調査年度	いつも している	ときどき している	ほとんど しない	不明
男性	20 歳代	R02	25.5%	49.6%	24.1%	0.7%
		H28	30.9%	53.3%	15.8%	0.0%
	30 歳代	R02	22.8%	51.3%	24.7%	1.3%
		H28	19.5%	49.5%	30.0%	1.1%
	40 歳代	R02	20.3%	58.0%	21.0%	0.7%
		H28	16.6%	53.8%	28.6%	1.0%
	50 歳代	R02	19.0%	51.1%	29.3%	0.6%
		H28	19.5%	48.3%	31.2%	1.0%
	60 歳代	R02	25.8%	48.0%	25.8%	0.5%
		H28	30.1%	48.4%	20.6%	0.9%
	70 歳代	R02	35.9%	44.2%	18.7%	1.2%
		H28	38.9%	45.4%	15.4%	0.3%
	80 歳以上	R02	26.7%	37.6%	34.5%	1.1%
		H28	36.7%	40.8%	21.7%	0.8%
合計	R02	26.2%	47.6%	25.4%	0.9%	
	H28	27.4%	48.6%	23.2%	0.7%	
女性	20 歳代	R02	15.1%	52.8%	30.6%	1.6%
		H28	12.2%	49.0%	38.4%	1.0%
	30 歳代	R02	13.4%	52.0%	34.6%	0.0%
		H28	9.2%	48.5%	42.0%	0.9%
	40 歳代	R02	13.2%	47.6%	38.7%	0.6%
		H28	11.2%	46.3%	41.6%	1.7%
	50 歳代	R02	19.4%	45.6%	34.4%	0.5%
		H28	17.1%	50.7%	31.8%	1.2%
	60 歳代	R02	23.3%	53.6%	22.6%	0.5%
		H28	26.2%	51.4%	21.7%	1.3%
	70 歳代	R02	34.6%	43.9%	21.4%	0.1%
		H28	38.9%	48.0%	12.8%	0.4%
	80 歳以上	R02	19.9%	40.4%	37.5%	2.2%
		H28	33.8%	43.2%	22.3%	0.3%
	合計	R02	21.6%	46.9%	30.8%	0.8%
		H28	20.7%	48.7%	30.0%	0.6%

ウ 喫煙の習慣（問6 たばこを習慣的に吸っていますか、又は吸っていたことがありますか。）

男性では喫煙の習慣がある者は全体で37.7%であった。20歳代では22.7%と少なく、30歳代で35.4%、40歳代で40%を超え、60歳代の44.7%でピークとなった。全年代を通じて、50%を下回った。

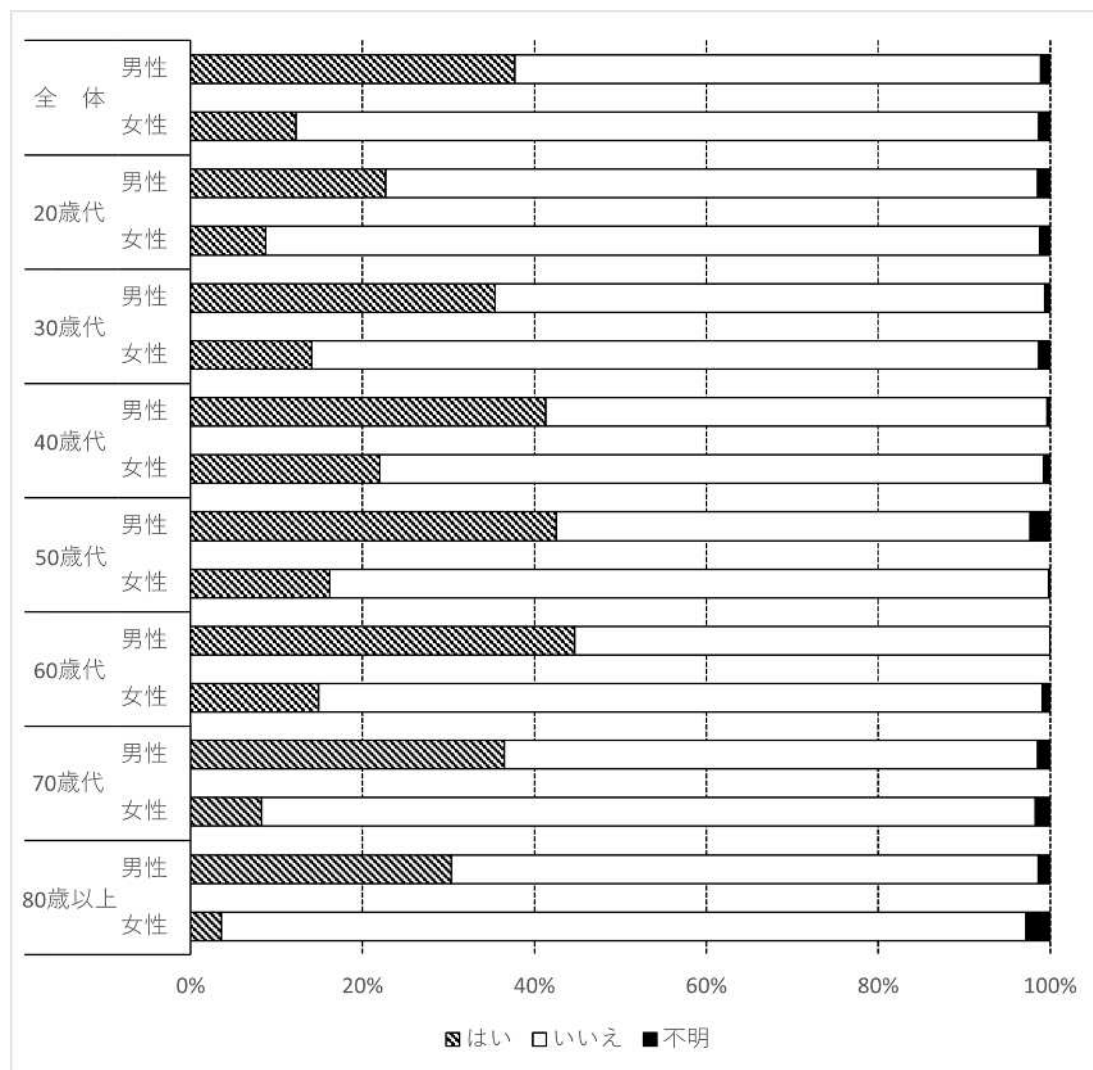
女性では喫煙の習慣がある者は全体で12.3%であった。20歳代では8.7%と10%を下回り、30歳代で14.1%、40歳代の22.0%でピークとなり、以降年代が上がるにつれて減少した（表Ⅱ-6-(1)-ウ-1、図Ⅱ-6-(1)-ウ-1）。

表Ⅱ-6-(1)-ウ-1 年代別・男女別による喫煙習慣

		はい	いいえ	不明
男性	20歳代	32 22.7%	107 75.9%	2 1.4%
	30歳代	56 35.4%	101 63.9%	1 0.6%
	40歳代	116 41.3%	164 58.4%	1 0.4%
	50歳代	148 42.5%	192 55.2%	8 2.3%
	60歳代	191 44.7%	236 55.3%	0 0.0%
	70歳代	180 36.5%	306 62.1%	7 1.4%
	80歳以上	109 30.4%	245 68.2%	5 1.4%
	合計	832 37.7%	1,351 61.2%	24 1.1%
女性	20歳代	22 8.7%	227 90.1%	3 1.2%
	30歳代	43 14.1%	259 84.6%	4 1.3%
	40歳代	117 22.0%	411 77.3%	4 0.8%
	50歳代	94 16.2%	486 83.6%	1 0.2%
	60歳代	84 14.9%	474 84.2%	5 0.9%
	70歳代	63 8.2%	690 90.1%	13 1.7%
	80歳以上	23 3.6%	597 93.6%	18 2.8%
	合計	446 12.3%	3,144 86.4%	48 1.3%



図Ⅱ-6-(1)-ウ-1 年代別・男女別による喫煙習慣



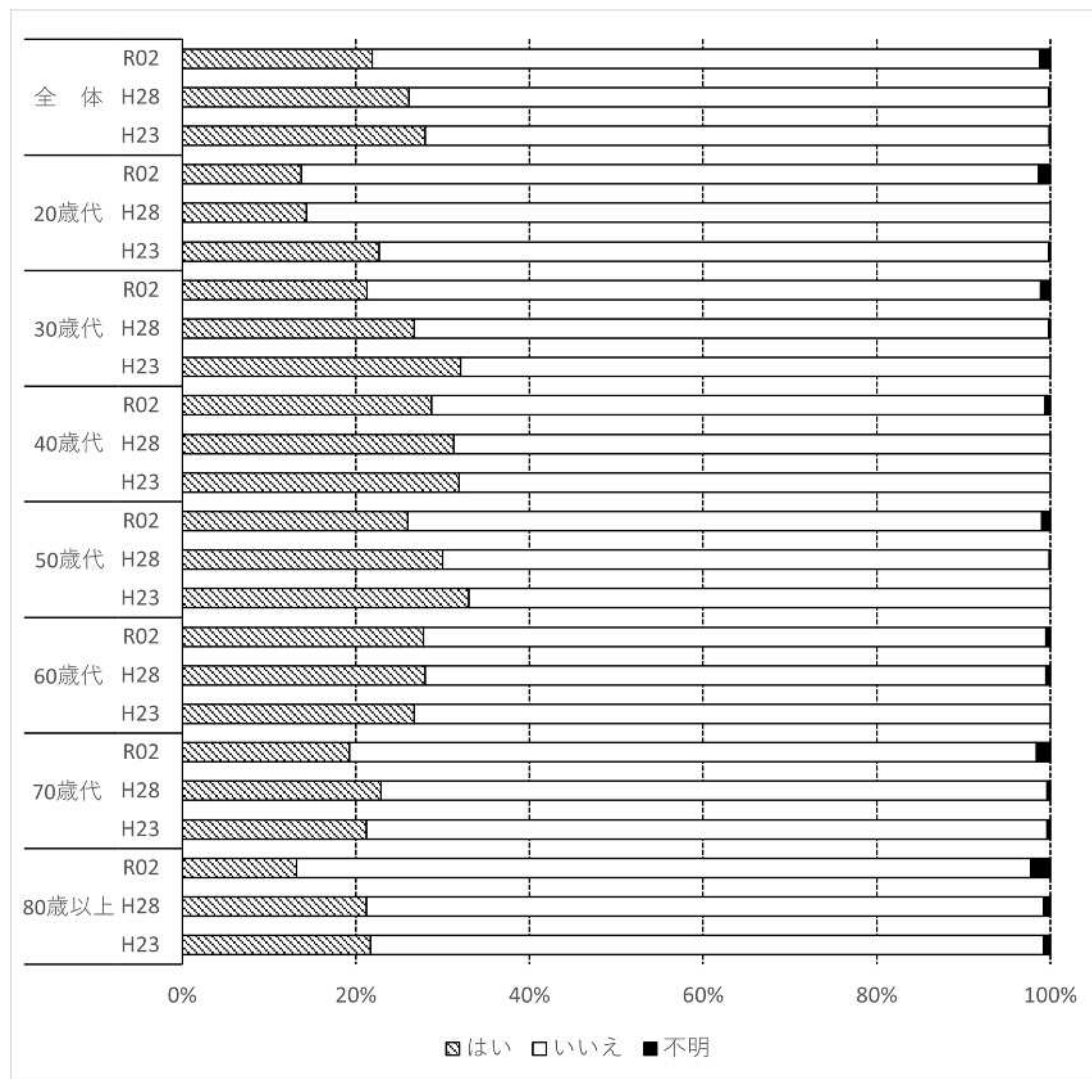
(ア) 喫煙者の推移 (H23・H28 調査との比較)

全体として、R02 調査では喫煙者の割合は 21.9%と H23・H28 調査よりも減少した。60 歳代を除き、全年代で両調査より減少しており、80 歳以上では、H28 調査からマイナス 8.0%と顕著であった (表Ⅱ-6-(1)-ウ-(ア)-1、図Ⅱ-6-(1)-ウ-(ア)-1)。

表Ⅱ-6-(1)-ウ-(ア)-1 喫煙習慣の推移 (H23・H28 調査との比較)

年代	調査年度	はい	いいえ	不明
20 歳代	R02	13.7%	85.0%	1.3%
	H28	14.3%	85.7%	0.0%
	H23	22.7%	77.1%	0.2%
30 歳代	R02	21.3%	77.6%	1.1%
	H28	26.7%	73.1%	0.2%
	H23	32.1%	67.9%	0.0%
40 歳代	R02	28.7%	70.7%	0.6%
	H28	31.3%	68.7%	0.0%
	H23	31.9%	68.1%	0.0%
50 歳代	R02	26.0%	73.0%	1.0%
	H28	30.0%	69.9%	0.1%
	H23	33.0%	67.0%	0.0%
60 歳代	R02	27.8%	71.7%	0.5%
	H28	28.0%	71.5%	0.5%
	H23	26.7%	73.3%	0.0%
70 歳代	R02	19.3%	79.1%	1.6%
	H28	22.9%	76.8%	0.4%
	H23	21.2%	78.4%	0.4%
80 歳以上	R02	13.2%	84.5%	2.3%
	H28	21.2%	78.0%	0.8%
	H23	21.7%	77.5%	0.8%
全体	R02	21.9%	76.9%	1.2%
	H28	26.1%	73.7%	0.2%
	H23	28.0%	71.9%	0.1%

図Ⅱ-6-(1)-ウ-(ア)-1 喫煙習慣の推移 (H23・H28 調査との比較)



(イ) 喫煙者における現在の喫煙状況（喫煙経験のある者のみ）

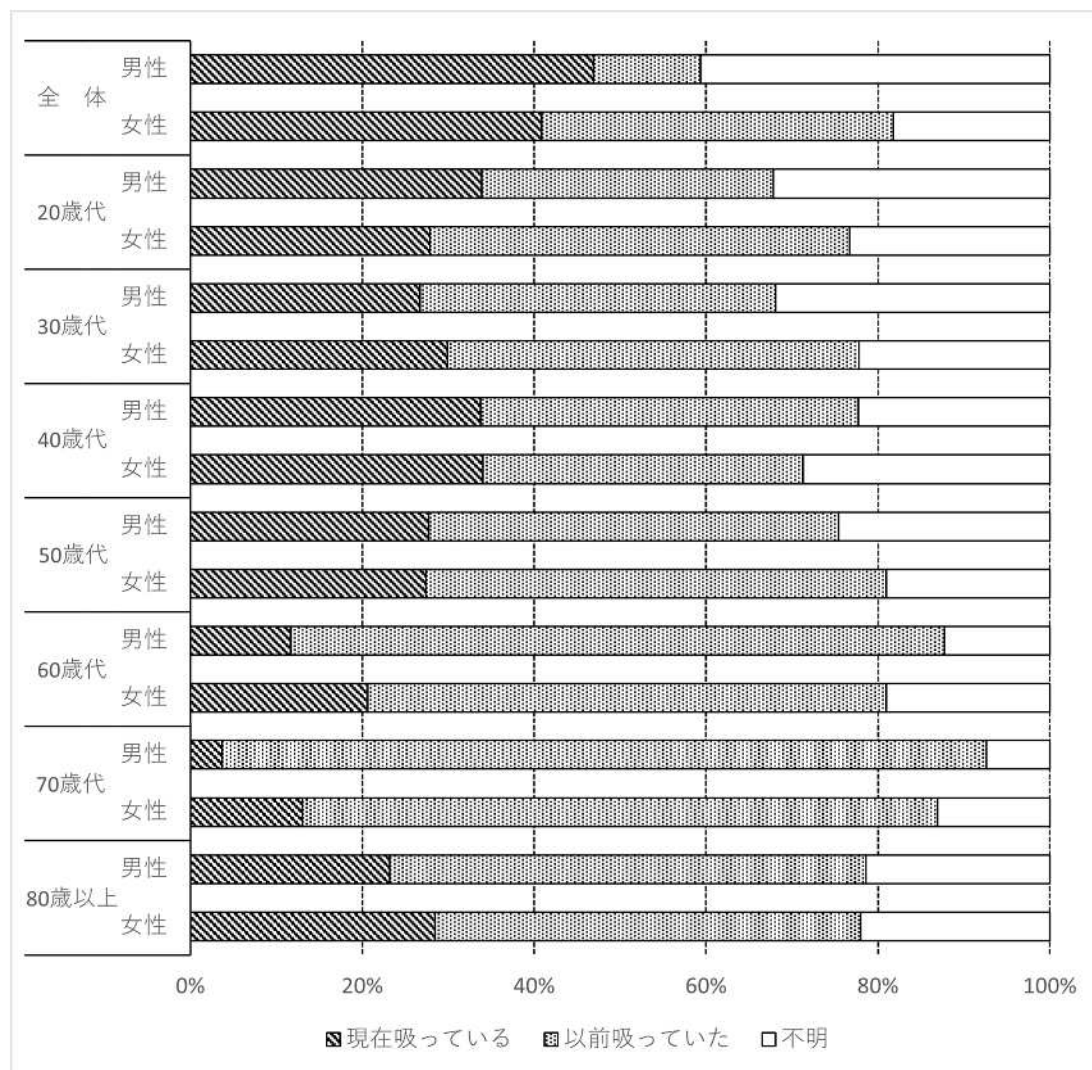
「現在吸っている」者の割合は男女とも20歳代が最も高く、50歳代で2番目のピークを経て年代が上がるにつれて減少していた。全体では、男性よりも女性の方が「現在吸っている」者の割合が高く、高齢者では「現在吸っている」者の割合が低い傾向であった。1日平均喫煙本数については、総じて男性の方が女性よりも多く、男性では年代が上がるにつれて増えていくのに対し、女性は30歳以降大きな変化はなかった。平均喫煙年間については、男性は60歳代以降大きな変化はないのに対し、女性では60歳代以降も長くなっていた。喫煙指数については、男性は60歳代、女性は70歳代まで増加傾向であった（表Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-1、図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-1、2、3、4）。

表Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-1 年代別・男女別による喫煙習慣に関する現在の状況

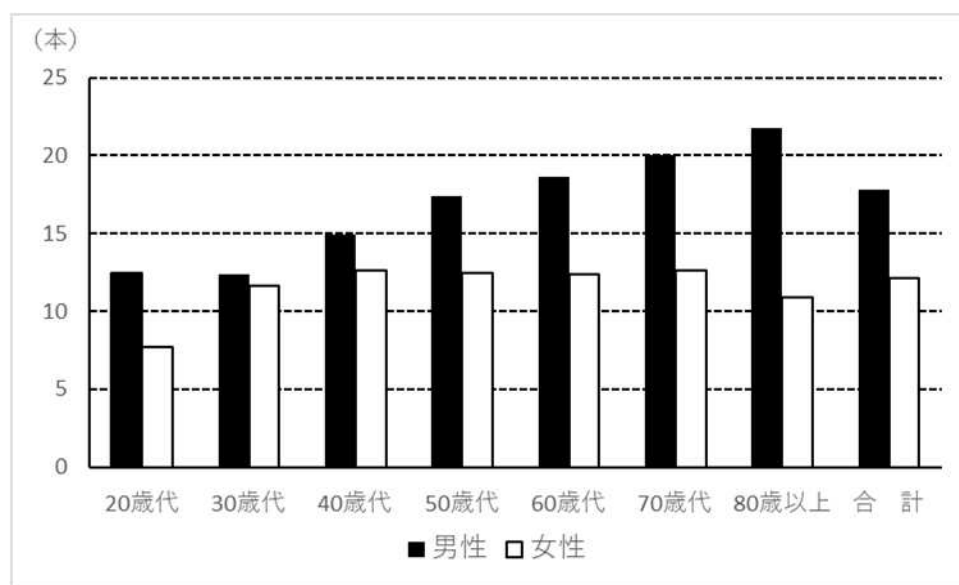
		現在 吸っている	以前 吸っていた	不明	1日平均 本数(本)	平均喫煙 年間(年)	喫煙指数*
男性	20歳代	15 46.9%	4 12.5%	13 40.6%	12.5	5.5	74.3
	30歳代	19 33.9%	19 33.9%	18 32.1%	12.4	11.6	145.0
	40歳代	31 26.7%	48 41.4%	37 31.9%	14.9	19.8	299.1
	50歳代	50 33.8%	65 43.9%	33 22.3%	17.4	26.7	475.9
	60歳代	53 27.7%	91 47.6%	47 24.6%	18.6	33.1	621.5
	70歳代	21 11.7%	137 76.1%	22 12.2%	20.0	31.3	611.8
	80歳以上	4 3.7%	97 89.0%	8 7.3%	21.8	33.5	700.4
	合計	193 23.2%	461 55.4%	178 21.4%	17.8	27.3	504.2
女性	20歳代	9 40.9%	9 40.9%	4 18.2%	7.7	4.7	38.5
	30歳代	12 27.9%	21 48.8%	10 23.3%	11.6	11.1	129.6
	40歳代	35 29.9%	56 47.9%	26 22.2%	12.7	17.6	232.9
	50歳代	32 34.0%	35 37.2%	27 28.7%	12.5	22.4	292.8
	60歳代	23 27.4%	45 53.6%	16 19.0%	12.3	26.6	368.2
	70歳代	13 20.6%	38 60.3%	12 19.0%	12.6	28.4	399.9
	80歳以上	3 13.0%	17 73.9%	3 13.0%	10.9	34.1	381.7
	合計	127 28.5%	221 49.6%	98 22.0%	12.1	21.0	277.5

\*喫煙指数 = 1日平均本数 × 喫煙年間

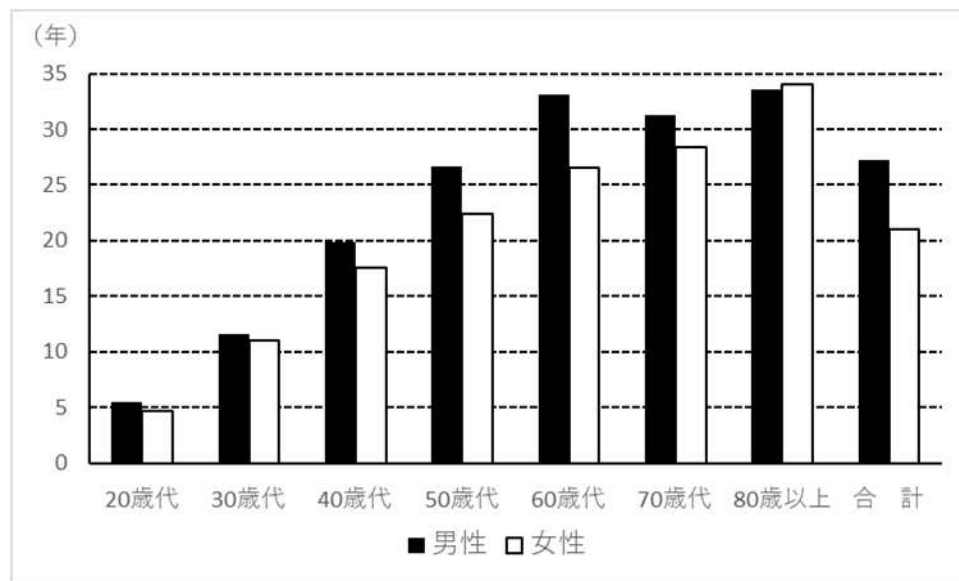
図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-1 年代別・男女別による喫煙習慣に関する現在の状況



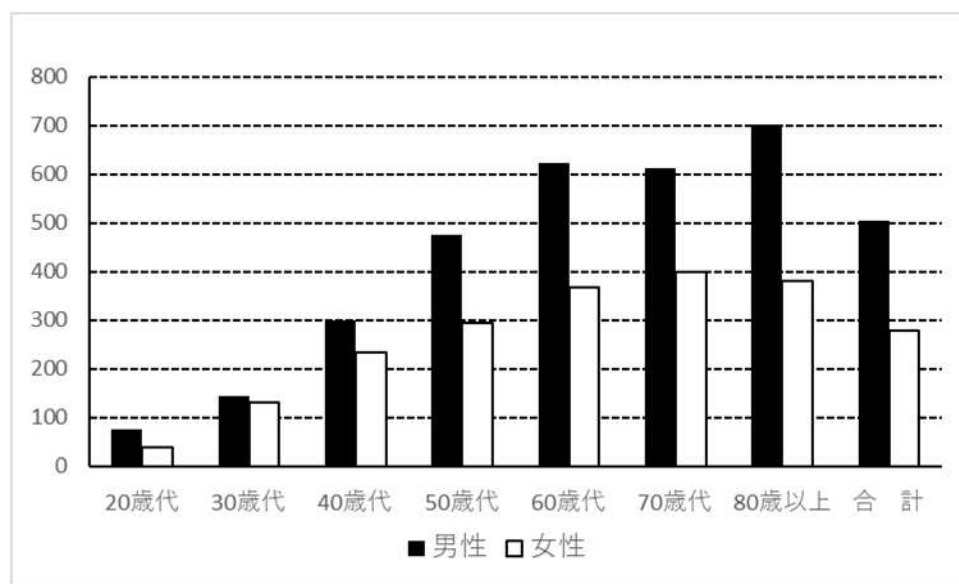
図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-2 1日の喫煙本数(本数)



図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-3 喫煙年数（年数）



図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-4 喫煙指数（喫煙本数×年数）



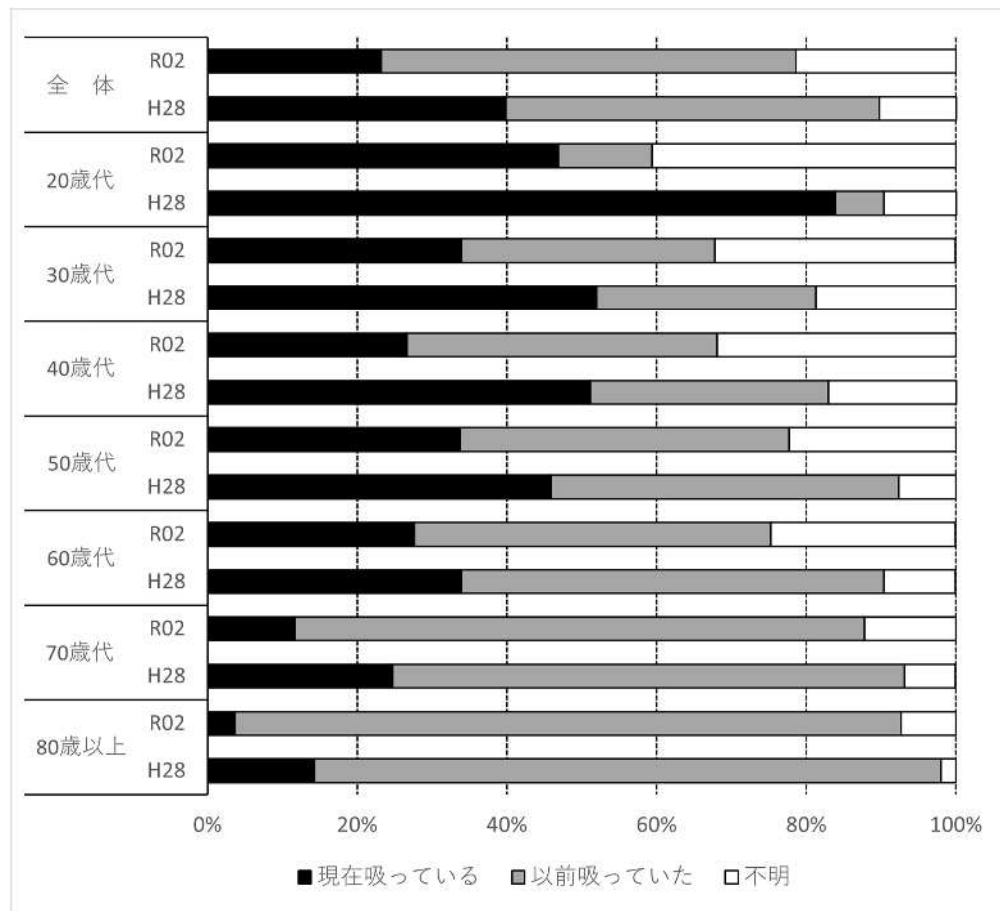
男性では、20歳代ではH28調査で83.9%であったがR02調査では46.9%、全体でもH28調査では39.9%に対しR02調査では23.2%と大きく減少した。女性も、20歳代ではH28調査で57.6%であったのに対しR02調査では40.9%、全体でもH28調査で46.9%に対しR02調査では28.5%と大きく減少した（表Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-2、図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-5）。

表Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-2 年代別・男女別による喫煙習慣の推移 (H28 調査との比較)

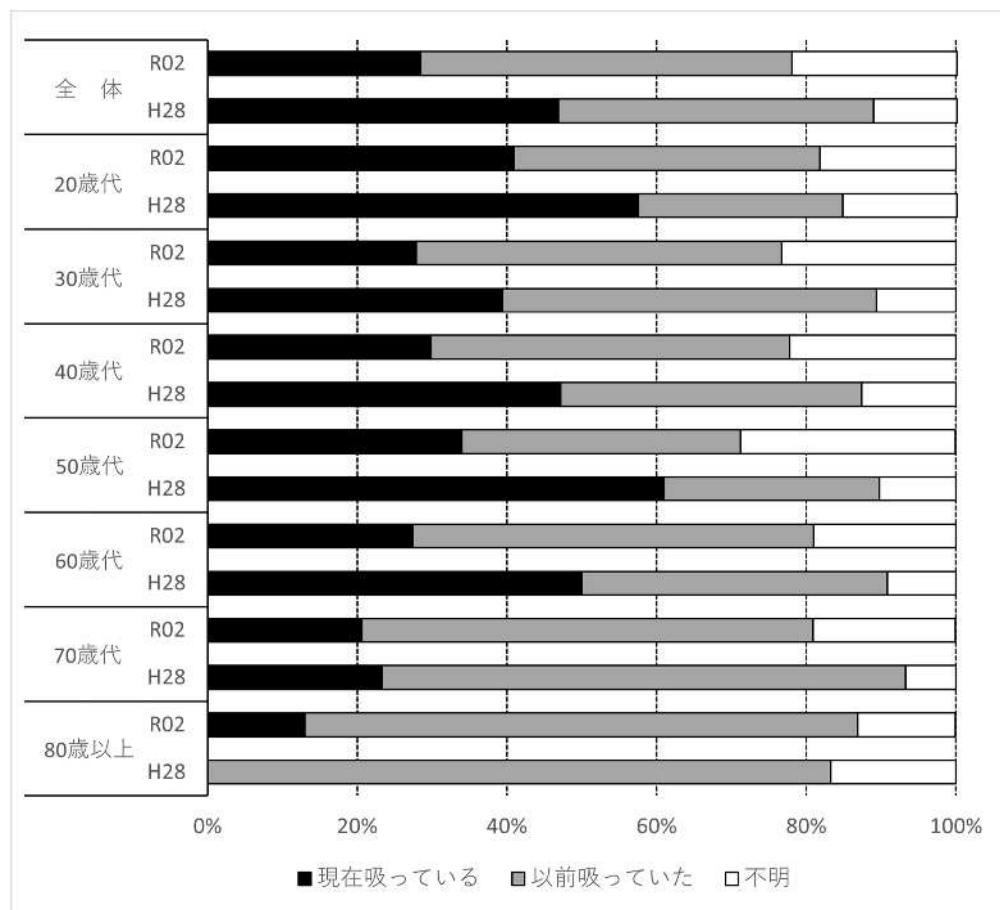
性別	年代	調査年度	現在吸っている	以前吸っていた	不明
男性	20 歳代	R02	46.9%	12.5%	40.6%
		H28	83.9%	6.5%	9.7%
	30 歳代	R02	33.9%	33.9%	32.1%
		H28	52.0%	29.3%	18.7%
	40 歳代	R02	26.7%	41.4%	31.9%
		H28	51.2%	31.8%	17.1%
	50 歳代	R02	33.8%	43.9%	22.3%
		H28	45.9%	46.5%	7.6%
	60 歳代	R02	27.7%	47.6%	24.6%
		H28	33.9%	56.5%	9.5%
	70 歳代	R02	11.7%	76.1%	12.2%
		H28	24.8%	68.3%	6.8%
	80 歳以上	R02	3.7%	89.0%	7.3%
		H28	14.3%	83.7%	2.0%
	全体	R02	23.2%	55.4%	21.4%
		H28	39.9%	49.9%	10.3%
女性	20 歳代	R02	40.9%	40.9%	18.2%
		H28	57.6%	27.3%	15.2%
	30 歳代	R02	27.9%	48.8%	23.3%
		H28	39.4%	50.0%	10.6%
	40 歳代	R02	29.9%	47.9%	22.2%
		H28	47.2%	40.2%	12.6%
	50 歳代	R02	34.0%	37.2%	28.7%
		H28	61.0%	28.8%	10.2%
	60 歳代	R02	27.4%	53.6%	19.0%
		H28	50.0%	40.8%	9.2%
	70 歳代	R02	20.6%	60.3%	19.0%
		H28	23.3%	70.0%	6.7%
	80 歳以上	R02	13.0%	73.9%	13.0%
		H28	0.0%	83.3%	16.7%
	全体	R02	28.5%	49.6%	22.0%
		H28	46.9%	42.1%	11.1%

図Ⅱ-6-(1)-ウ-(イ)-5 年代別・男女別による喫煙習慣の推移 (H28調査との比較)

<男性>



<女性>





## (2) 咬合と咀嚼の状況

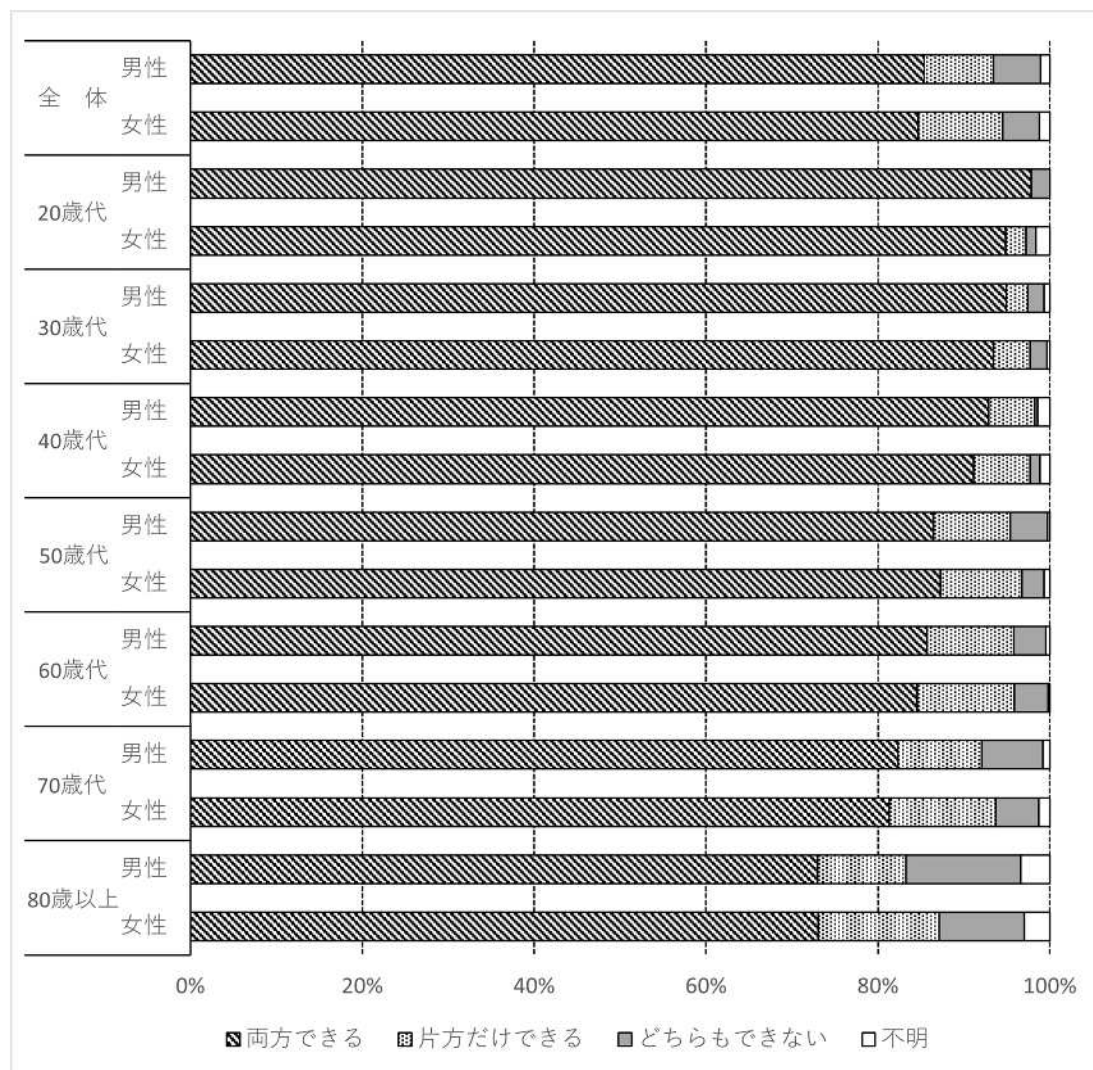
### ア 奥歯の咬合（問7 自分の歯や入れ歯で、左右の奥歯を噛みしめることができますか。）

「両方できる」者の割合は、全体で男性 85.4%、女性 84.7%であり、20 歳代では男性 97.9%、女性が 94.8%と最も高いが、年齢とともに減少傾向を示し、80 歳以上では男女とも 73.0%であった。一方、「どちらもできない」者は 50 歳代から増加しはじめ、60 歳代で男女とも 4%弱、80 歳以上では男性が 13.4%、女性が 9.9%であった（表Ⅱ-6-(2)-ア-1、図Ⅱ-6-(2)-ア-1）。

表Ⅱ-6-(2)-ア-1 年代別・男女別による臼歯部の咬合の状況

		両方できる	片方だけできる	どちらもできない	不明
20 歳代	男性	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%
	女性	94.8%	2.4%	1.2%	1.6%
30 歳代	男性	94.9%	2.5%	1.9%	0.6%
	女性	93.5%	4.2%	2.0%	0.3%
40 歳代	男性	92.9%	5.3%	0.4%	1.4%
	女性	91.2%	6.6%	1.1%	1.1%
50 歳代	男性	86.5%	8.9%	4.3%	0.3%
	女性	87.3%	9.5%	2.6%	0.7%
60 歳代	男性	85.7%	10.1%	3.7%	0.5%
	女性	84.5%	11.4%	3.9%	0.2%
70 歳代	男性	82.4%	9.7%	7.1%	0.8%
	女性	81.3%	12.4%	5.0%	1.3%
80 歳以上	男性	73.0%	10.3%	13.4%	3.3%
	女性	73.0%	14.1%	9.9%	3.0%
全体	男性	85.4%	8.1%	5.5%	1.1%
	女性	84.7%	9.8%	4.2%	1.2%

図Ⅱ-6-(2)-ア-1 年代別・男女別による臼歯部の咬合の状況



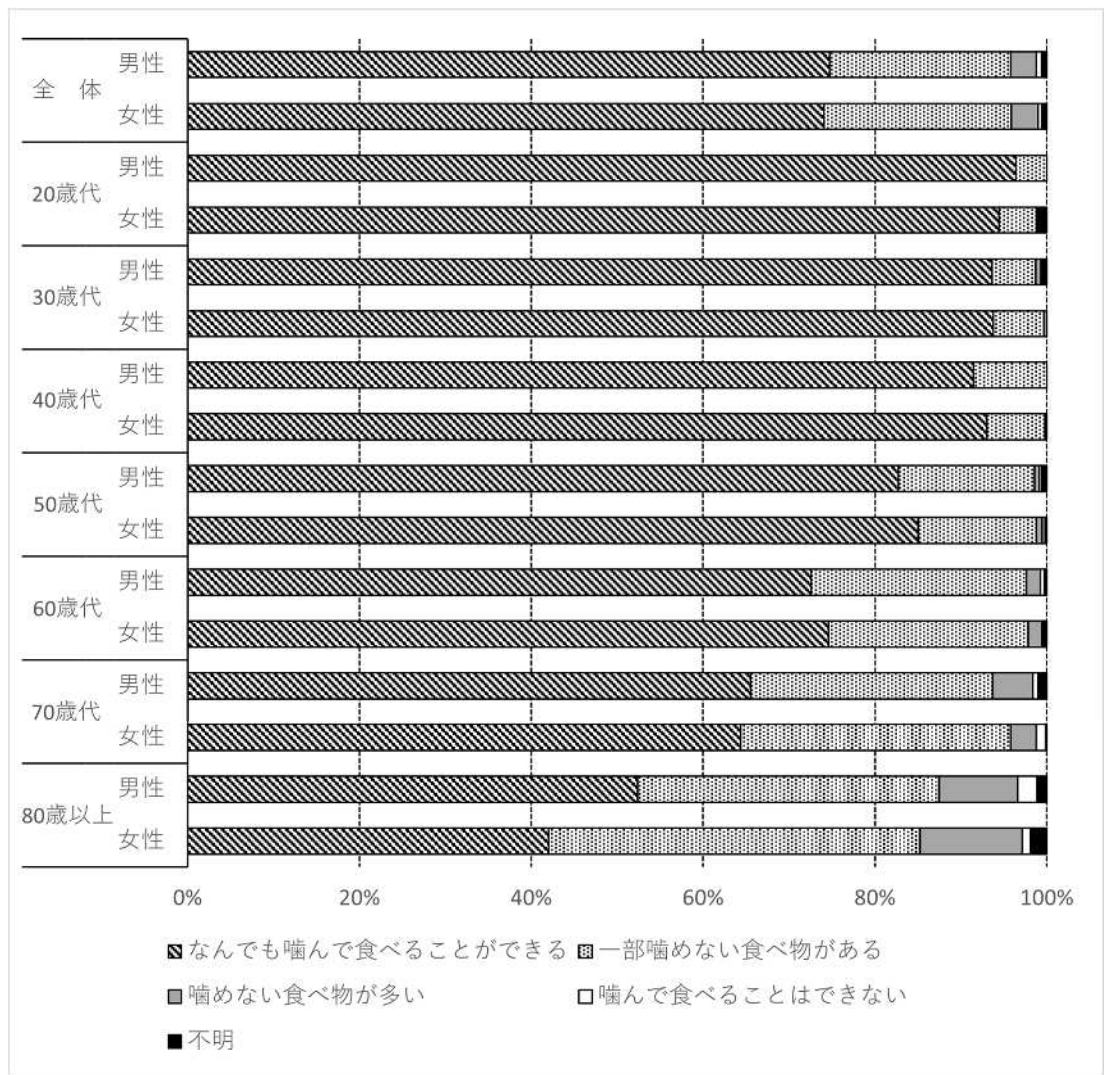
イ 食べる時の咬合の状態（問8 噛んで食べる時の状態はつぎのどれにあてはまりますか。）

「何でも噛んで食べることができる」者の割合は20歳代では男女ともに94%以上であったが、年齢が上がるにつれて減少し、80歳以上では男性で52.4%、女性で42.0%と概ね半数程度となった。全体では、なんでも噛んで食べることができるのは男性で74.8%、女性で74.1%であった（表Ⅱ-6-(2)-イ-1、図Ⅱ-6-(2)-イ-1）。

表Ⅱ-6-(2)-イ-1 年代別・男女別による食物の咬合の状況

		何でも噛んで 食べることが できる	一部噛めない 食べ物がある	噛めない 食べ物が多い	噛んで食べる ことはできない	不明
20歳代	男性	96.5%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	94.4%	4.4%	0.0%	0.0%	1.2%
30歳代	男性	93.7%	5.1%	0.6%	0.0%	0.6%
	女性	93.8%	5.9%	0.3%	0.0%	0.0%
40歳代	男性	91.5%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	93.0%	6.8%	0.0%	0.0%	0.2%
50歳代	男性	82.8%	15.8%	0.6%	0.3%	0.6%
	女性	85.0%	13.8%	0.7%	0.3%	0.2%
60歳代	男性	72.6%	25.1%	1.6%	0.5%	0.2%
	女性	74.6%	23.3%	1.6%	0.2%	0.4%
70歳代	男性	65.5%	28.2%	4.7%	0.6%	1.0%
	女性	64.4%	31.5%	3.0%	1.0%	0.1%
80歳以上	男性	52.4%	35.1%	9.2%	2.2%	1.1%
	女性	42.0%	43.3%	11.9%	0.9%	1.9%
全体	男性	74.8%	21.0%	3.0%	0.6%	0.6%
	女性	74.1%	21.8%	3.1%	0.5%	0.5%

図Ⅱ-6-(2)-イ-1 年代別・男女別による食物の咬合の状況



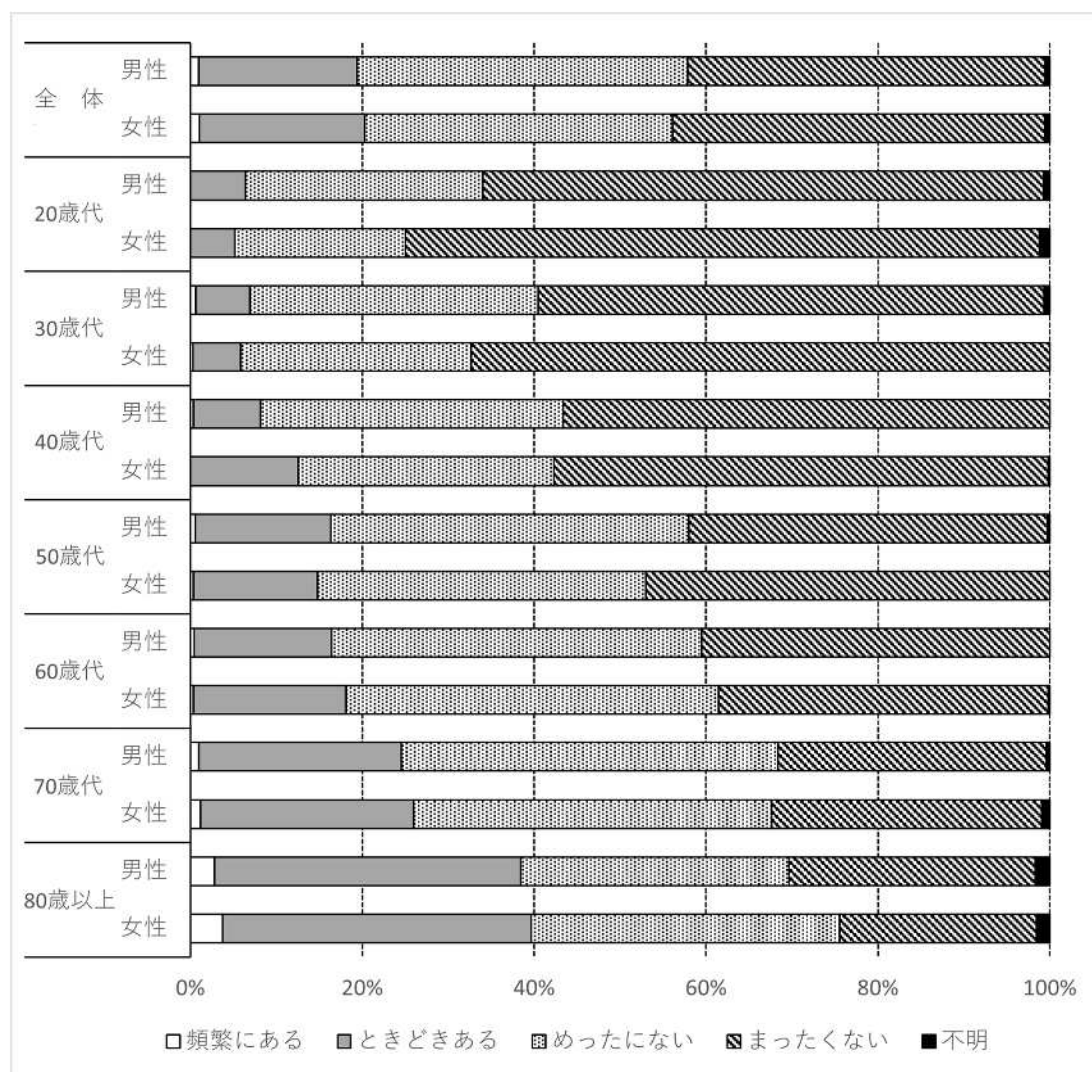
ウ 嚥下時の状態（問9 食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事中にむせたりすることがありますか。）

嚥下時に飲み込みにくさやむせが「頻繁にある」者の割合は、80歳以上で男性が2.8%、女性が3.8%と、男女ともに1.5%前後であったH28調査より多かった。「ときどきある」者の割合は20歳代では男性6.4%、女性5.2%と低いが、男女とも年齢とともに増加傾向にあり、50歳代では約15%、70歳代では25%弱となり、80歳以上では35%以上まで増加した（表Ⅱ-6-(2)-ウ-1、2、図Ⅱ-6-(2)-ウ-1、2）。

表Ⅱ-6-(2)-ウ-1 年代別・男女別による嚥下時の障害の頻度の状況

		頻繁にある	ときどきある	めったにない	まったくない	不明
20歳代	男性	0.0%	6.4%	27.7%	65.2%	0.7%
	女性	0.0%	5.2%	19.8%	73.8%	1.2%
30歳代	男性	0.6%	6.3%	33.5%	58.9%	0.6%
	女性	0.3%	5.6%	26.8%	67.3%	0.0%
40歳代	男性	0.4%	7.8%	35.2%	56.6%	0.0%
	女性	0.0%	12.6%	29.7%	57.5%	0.2%
50歳代	男性	0.6%	15.8%	41.7%	41.7%	0.3%
	女性	0.3%	14.5%	38.2%	47.0%	0.0%
60歳代	男性	0.5%	15.9%	43.1%	40.5%	0.0%
	女性	0.4%	17.8%	43.3%	38.4%	0.2%
70歳代	男性	1.0%	23.5%	43.8%	31.2%	0.4%
	女性	1.2%	24.8%	41.6%	31.5%	0.9%
80歳以上	男性	2.8%	35.7%	31.2%	28.7%	1.7%
	女性	3.8%	35.9%	35.9%	22.9%	1.6%
全体	男性	1.0%	18.5%	38.4%	41.6%	0.5%
	女性	1.0%	19.2%	35.8%	43.3%	0.6%

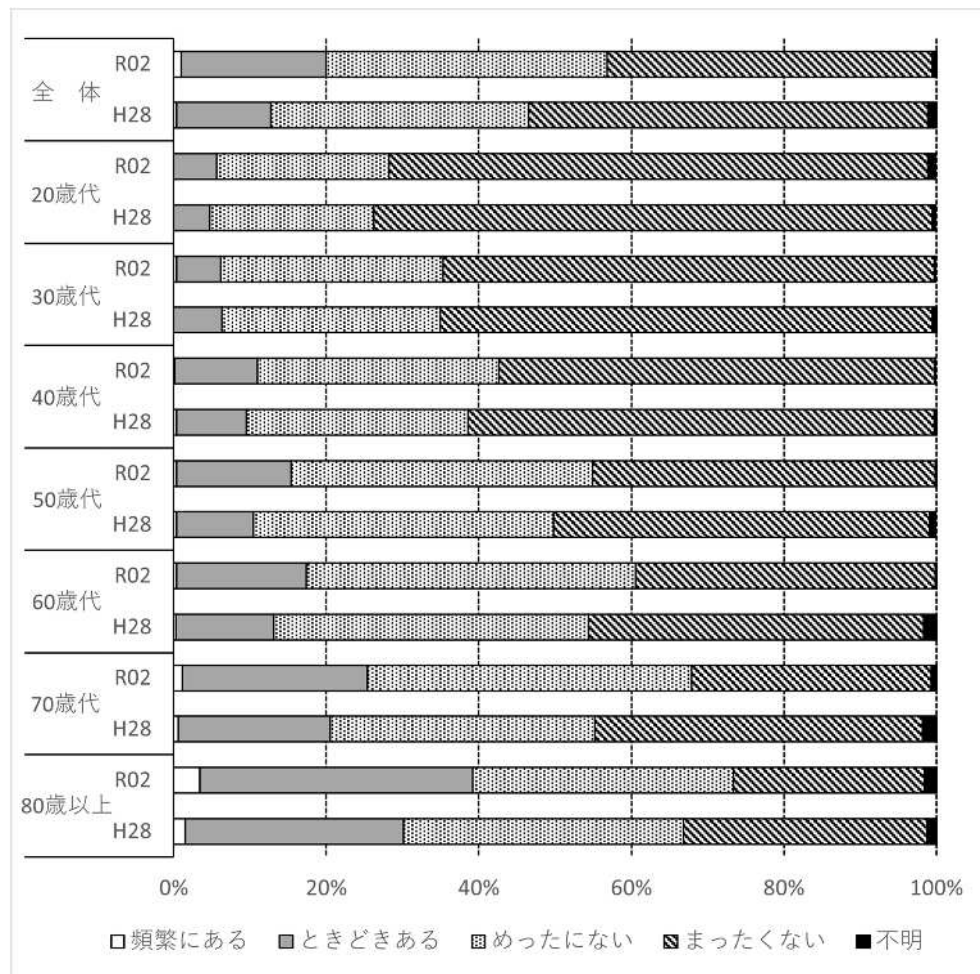
図Ⅱ-6-(2)-ウ-1 年代別・男女別による嚙下時の障害の頻度の状況



表Ⅱ-6-(2)-ウ-2 年代別による嚙下時の障害の頻度の推移 (H28 調査との比較)

年代	調査年度	頻繁にある	ときどきある	めったにない	まったくない	不明
20歳代	R02	0.0%	5.6%	22.6%	70.7%	1.0%
	H28	0.0%	4.7%	21.5%	73.3%	0.4%
30歳代	R02	0.4%	5.8%	29.1%	64.4%	0.2%
	H28	0.0%	6.3%	28.6%	64.6%	0.6%
40歳代	R02	0.1%	10.9%	31.6%	57.2%	0.1%
	H28	0.4%	9.1%	29.1%	61.1%	0.4%
50歳代	R02	0.4%	15.0%	39.5%	45.0%	0.1%
	H28	0.4%	10.0%	39.4%	49.3%	0.8%
60歳代	R02	0.4%	17.0%	43.2%	39.3%	0.1%
	H28	0.3%	12.8%	41.3%	43.9%	1.7%
70歳代	R02	1.1%	24.3%	42.5%	31.4%	0.7%
	H28	0.6%	19.9%	34.7%	43.0%	1.8%
80歳以上	R02	3.4%	35.8%	34.2%	25.0%	1.6%
	H28	1.5%	28.6%	36.7%	32.0%	1.2%
全体	R02	1.0%	19.0%	36.8%	42.7%	0.6%
	H28	0.4%	12.3%	33.8%	52.4%	1.1%

図Ⅱ-6-(2)-ウ-2 年代別による嚙下時の障害の頻度の推移（H28調査との比較）



エ 開口、閉口時の顎関節の異常の頻度（問 10 口を大きく開けたり閉じたりする時に、あごの関節に痛みを感じたり、開けにくい、音がすることがあります。）

「ある」または「ときどきある」と回答した者の割合は、20～40 歳代が多かった。男性では 20 歳代の 31.9%、女性では 30 歳代の 40.5%が最も高く、以降は年齢が上がるにつれて減少する傾向であった。80 歳以上では男性 5.6%、女性 7.5%であった。また 30 歳以降、顎関節に異常な症状を感じる者は女性に多い傾向があり、特に 30～40 歳代が多かった（表Ⅱ-6-(2)-エ-1、図Ⅱ-6-(2)-エ-1）。

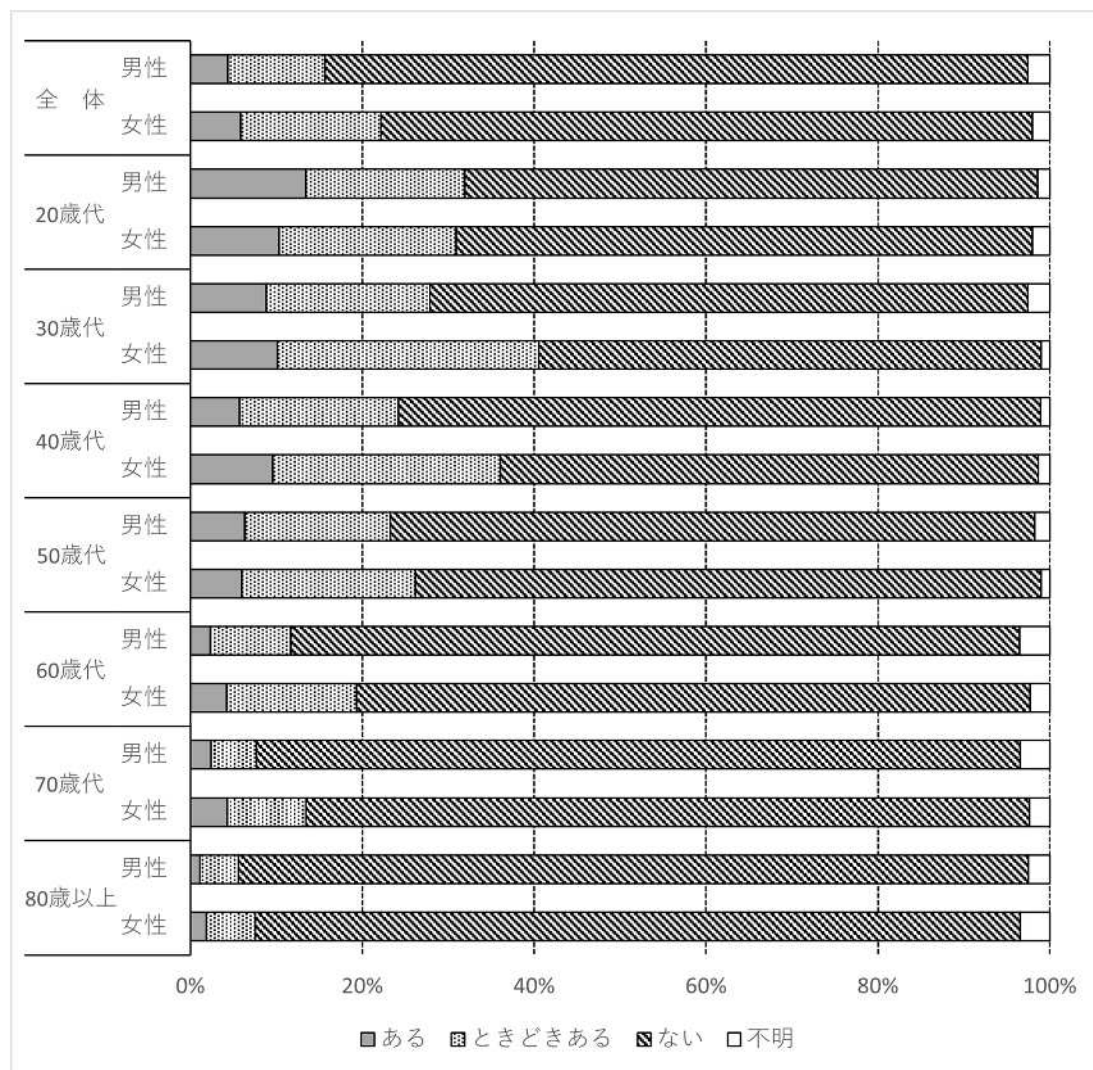
開口、閉口時の顎関節の症状の種類（問 10-1 あてはまるものに全てに○をつけてください。）として、顎関節に症状がある者では、「音がする」と回答した者の割合が多く、20 歳代の男性で 26.2%、30 歳代の女性で 32.0%と最も高かった（表Ⅱ-6-(2)-エ-2、図Ⅱ-6-(2)-エ-2）。

表Ⅱ-6-(2)-エ-1 年代別・男女別による開口、閉口時の顎関節の異常の頻度

		ある	ときどきある	ない	不明
20 歳代	男性	13.5%	18.4%	66.7%	1.4%
	女性	10.3%	20.6%	67.1%	2.0%
30 歳代	男性	8.9%	19.0%	69.6%	2.5%
	女性	10.1%	30.4%	58.5%	1.0%
40 歳代	男性	5.7%	18.5%	74.7%	1.1%
	女性	9.6%	26.5%	62.6%	1.3%
50 歳代	男性	6.3%	17.0%	75.0%	1.7%
	女性	6.0%	20.1%	72.8%	1.0%
60 歳代	男性	2.3%	9.4%	84.8%	3.5%
	女性	4.3%	15.1%	78.3%	2.3%
70 歳代	男性	2.4%	5.3%	88.8%	3.4%
	女性	4.3%	9.1%	84.2%	2.3%
80 歳以上	男性	1.1%	4.5%	91.9%	2.5%
	女性	1.9%	5.6%	89.0%	3.4%
全 体	男性	4.4%	11.3%	81.8%	2.5%
	女性	5.8%	16.3%	75.8%	2.0%



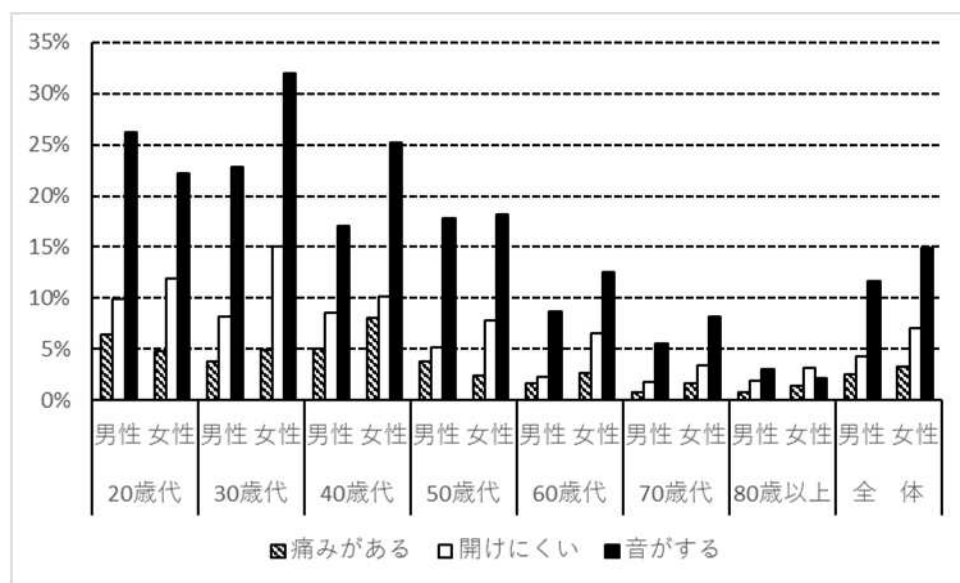
図Ⅱ-6-(2)-エ-1 年代別・男女別による開口、閉口時の顎関節の異常の頻度



表Ⅱ-6-(2)-エ-2 年代別・男女別による開口、閉口時の顎関節の症状の種類（症状が「ときどきある」、「ある」者のみ、複数回答）

		痛みがある	開げにくい	音がする
20 歳代	男性	6.4%	9.9%	26.2%
	女性	4.8%	11.9%	22.2%
30 歳代	男性	3.8%	8.2%	22.8%
	女性	4.9%	15.0%	32.0%
40 歳代	男性	5.0%	8.5%	17.1%
	女性	8.1%	10.2%	25.2%
50 歳代	男性	3.7%	5.2%	17.8%
	女性	2.4%	7.7%	18.2%
60 歳代	男性	1.6%	2.3%	8.7%
	女性	2.7%	6.6%	12.6%
70 歳代	男性	0.8%	1.8%	5.5%
	女性	1.7%	3.4%	8.2%
80 歳以上	男性	0.8%	1.9%	3.1%
	女性	1.4%	3.1%	2.2%
全 体	男性	2.5%	4.3%	11.7%
	女性	3.3%	7.1%	14.9%

図Ⅱ-6-(2)-エ-2 年代別・男女別による開口、閉口時の顎関節の症状の種類（症状が「ときどきある」、「ある」者のみ、複数回答）



オ 顎関節症の治療経験（問 11 顎関節症の治療を受けたことがありますか。

（1つ選択）

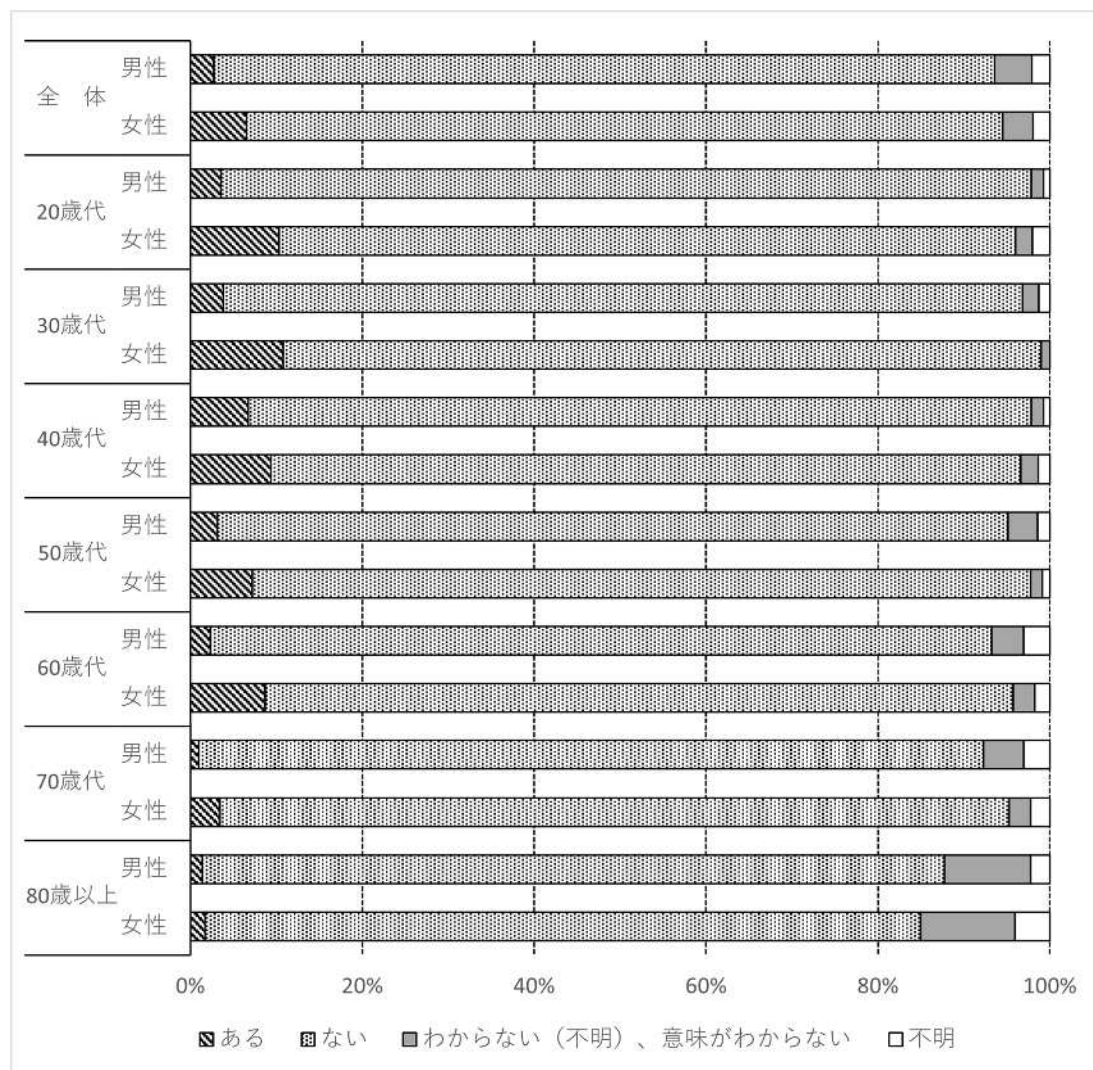
「ある」と回答した者の割合は、男性では40歳代の6.8%、女性では30歳代の10.8%が最も多く、全ての年代で男性より女性の方が多かった（表Ⅱ-6-(2)-オ-1、図Ⅱ-6-(2)-オ-1）。

治療の種類では、スプリント・プレート等の装着が過半数を占めた。20～50歳代では、リハビリテーションを受けた者の割合が女性より男性の方が多かった（表Ⅱ-6-(2)-オ-2、図Ⅱ-6-(2)-オ-2）。

表Ⅱ-6-(2)-オ-1 年代別・男女別による顎関節症の治療経験

		ある	ない	わからない(不明) 意味がわからない	不明
20歳代	男性	3.5%	94.3%	1.4%	0.7%
	女性	10.3%	85.7%	2.0%	2.0%
30歳代	男性	3.8%	93.0%	1.9%	1.3%
	女性	10.8%	88.2%	1.0%	0.0%
40歳代	男性	6.8%	91.1%	1.4%	0.7%
	女性	9.4%	87.2%	2.1%	1.3%
50歳代	男性	3.2%	92.0%	3.4%	1.4%
	女性	7.2%	90.5%	1.4%	0.9%
60歳代	男性	2.3%	90.9%	3.7%	3.0%
	女性	8.7%	87.0%	2.5%	1.8%
70歳代	男性	1.0%	91.3%	4.7%	3.0%
	女性	3.4%	91.9%	2.5%	2.2%
80歳以上	男性	1.4%	86.4%	10.0%	2.2%
	女性	1.7%	83.2%	11.0%	4.1%
全 体	男性	2.8%	90.8%	4.3%	2.1%
	女性	6.5%	88.0%	3.6%	1.9%

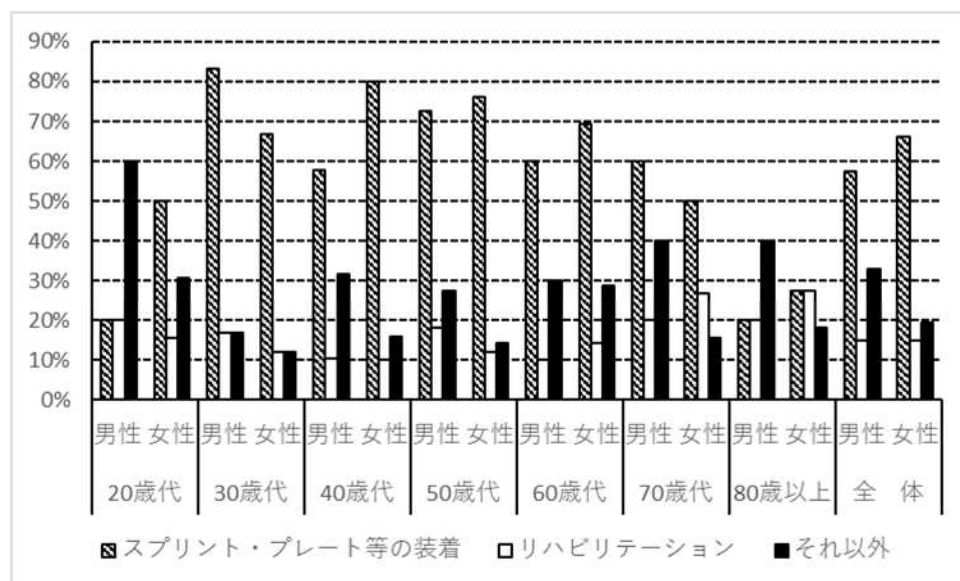
図Ⅱ-6-(2)-オ-1 年代別・男女別による顎関節症の治療経験



表Ⅱ-6-(2)-オ-2 年代別・男女別による顎関節症の治療の種類（治療を受けたことが「ある」者のみ、複数回答）

		スプリント・プレート等の装着	リハビリテーション	それ以外
20 歳代	男性	20.0%	20.0%	60.0%
	女性	50.0%	15.4%	30.8%
30 歳代	男性	83.3%	16.7%	16.7%
	女性	66.7%	12.1%	12.1%
40 歳代	男性	57.9%	10.5%	31.6%
	女性	80.0%	10.0%	16.0%
50 歳代	男性	72.7%	18.2%	27.3%
	女性	76.2%	11.9%	14.3%
60 歳代	男性	60.0%	10.0%	30.0%
	女性	69.4%	14.3%	28.6%
70 歳代	男性	60.0%	20.0%	40.0%
	女性	50.0%	26.9%	15.4%
80 歳以上	男性	20.0%	20.0%	40.0%
	女性	27.3%	27.3%	18.2%
全 体	男性	57.4%	14.8%	32.8%
	女性	66.2%	14.8%	19.4%

図Ⅱ-6-(2)-オ-2 年代別・男女別による顎関節症の治療の種類（治療を受けたことが「ある」者のみ、複数回答）



### (3) 歯科医院の受診の状況

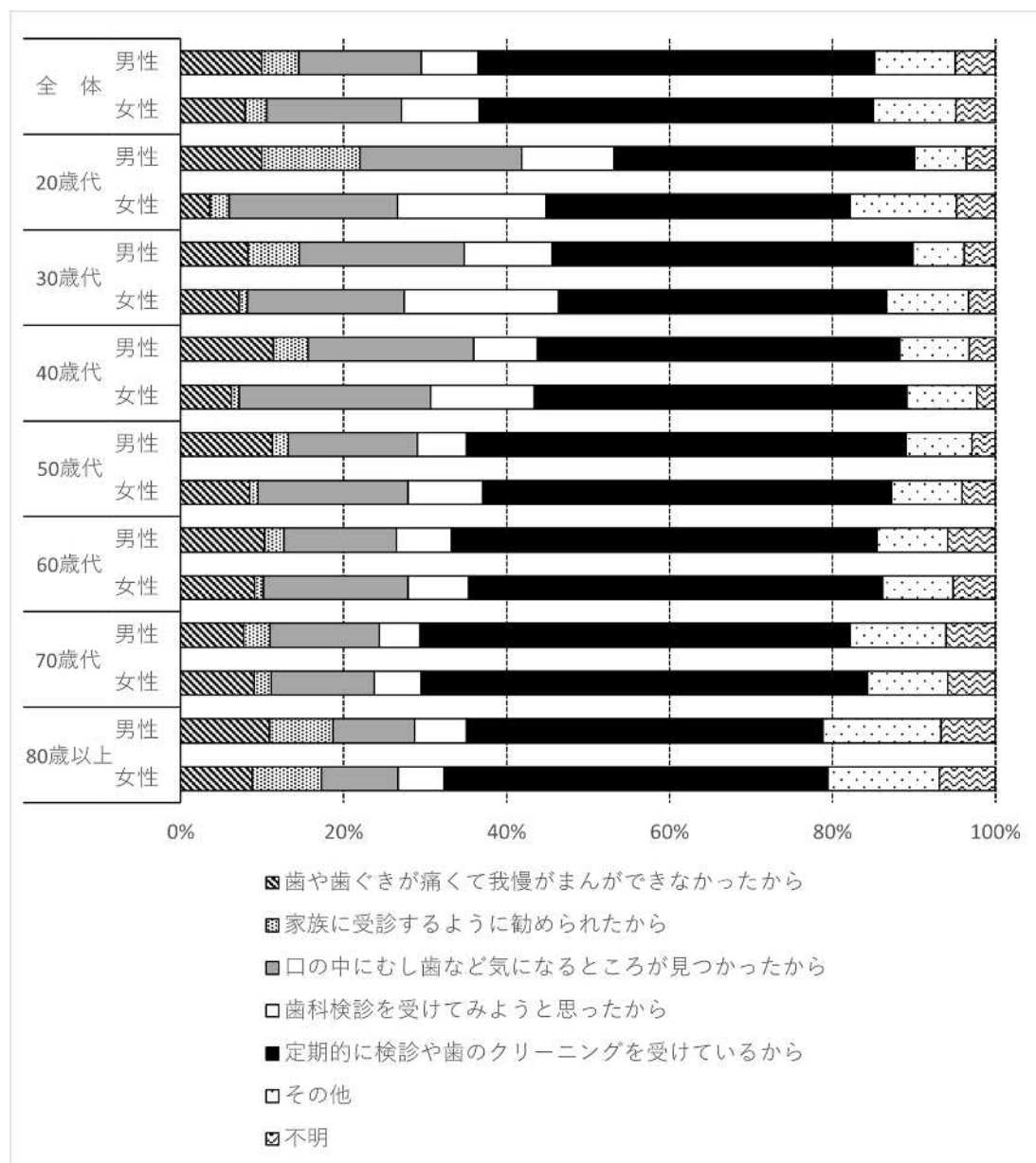
#### ア 当日の歯科医院への受診理由（問12 本日、受診したきっかけはどのような理由ですか。（1つ選択））

全体では、「定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから」が最も多く、男性48.7%、女性48.4%と概ね半数を占めた。次に「口の中にむし歯など気になるところが見つかったから」が男性15.1%、女性16.5%、続いて「歯や歯ぐきが痛くてがまんができなかったから」が男性9.9%、女性7.9%であった。コロナ禍にあつて治療ニーズの高い者が多いことが予想されたが、定期検診や歯のクリーニングが理由として最も多い結果であった。残りの半数が治療ニーズの高い者であったと考えられる。定期検診や歯のクリーニングを目的にしている者は50～70歳代で多い傾向が見られた。男女別で見ると、「歯や歯ぐきが痛くて我慢ができなかったから」、「家族に受診をするように勧められたから」は男性の方が多く、「口の中にむし歯など気になるところが見つかったから」、「歯科検診を受けてみようと思ったから」は女性の方が多い傾向であった。女性の方が自発的に受診する傾向がうかがえた（表Ⅱ-6-(3)-ア-1、図Ⅱ-6-(3)-ア-1）。

表Ⅱ-6-(3)-ア-1 年代別・男女別による歯科医院への受診理由

		歯や歯ぐきが痛くて我慢がまんができなかったから	家族に受診するように勧められたから	口の中にむし歯など気になるところが見つかったから	歯科検診を受けてみようと思ったから	定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから	その他	不明
20歳代	男性	9.9%	12.1%	19.9%	11.3%	36.9%	6.4%	3.5%
	女性	3.6%	2.4%	20.6%	18.3%	37.3%	13.1%	4.8%
30歳代	男性	8.2%	6.3%	20.3%	10.8%	44.3%	6.3%	3.8%
	女性	7.2%	1.0%	19.3%	19.0%	40.2%	10.1%	3.3%
40歳代	男性	11.4%	4.3%	20.3%	7.8%	44.5%	8.5%	3.2%
	女性	6.2%	0.9%	23.5%	12.8%	45.7%	8.6%	2.3%
50歳代	男性	11.2%	2.0%	15.8%	6.0%	54.0%	8.0%	2.9%
	女性	8.4%	1.0%	18.4%	9.1%	50.3%	8.6%	4.1%
60歳代	男性	10.3%	2.3%	13.8%	6.8%	52.2%	8.7%	5.9%
	女性	9.1%	1.1%	17.8%	7.5%	50.8%	8.7%	5.2%
70歳代	男性	7.7%	3.2%	13.4%	5.1%	52.7%	11.8%	6.1%
	女性	9.0%	2.1%	12.7%	5.7%	54.8%	9.8%	5.9%
80歳以上	男性	10.9%	7.8%	10.0%	6.4%	43.7%	14.5%	6.7%
	女性	8.8%	8.5%	9.4%	5.6%	47.2%	13.6%	6.9%
全体	男性	9.9%	4.5%	15.1%	6.9%	48.7%	9.9%	4.9%
	女性	7.9%	2.6%	16.5%	9.5%	48.4%	10.2%	4.8%

図Ⅱ-6-(3)-ア-1 年代別・男女別による歯科医院への受診理由



イ この1年間の歯科受診内容（問13 この1年間に、歯科医院、職場、市町村等で受けたことのある項目を全て選んでください。）

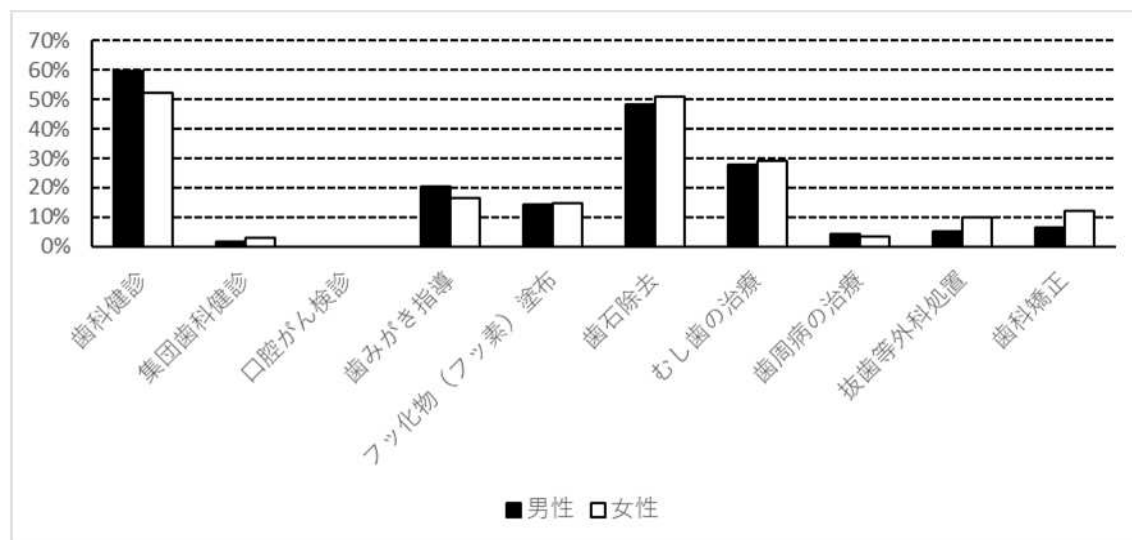
全体では、「歯科検診」が男性55.0%、女性55.6%、次いで「歯石除去」が男性48.8%、女性48.9%と多く、「むし歯の治療」が男性29.1%、女性28.4%と続いた。なお、集団歯科検診は20歳代の男女と30歳代と50歳代の男性で多く、それぞれ1.4%、2.8%、2.5%、2.3%であり、それ以外は1%に満たないほど少なかった。「歯科検診」、「歯石除去」は全年代で高く、「歯周病の治療」は年代が上がるにつれて割合が増加する傾向にあった。「矯正治療」は20歳代に多く、特に女性に多かった（表Ⅱ-6-(3)-イ-1、図Ⅱ-6-(3)-イ-1～7）。コロナ禍にあっても定期的に歯科を受診している者が半数近くを占めていることが示された。

表Ⅱ-6-(3)-イ-1 年代別・男女別による歯科への受診理由

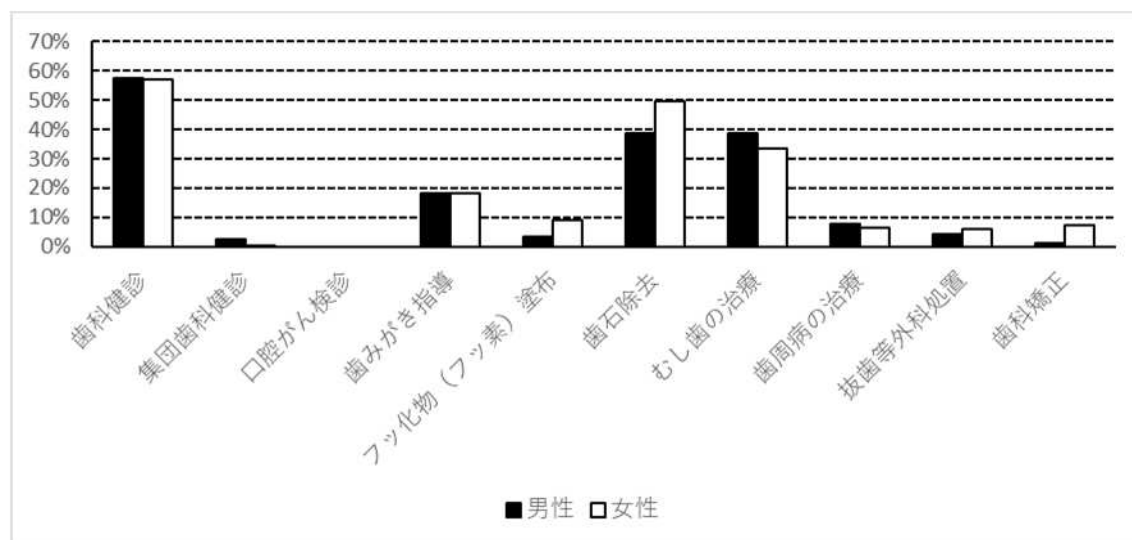
年代	性別	歯科検診	集団歯科検診	口腔がん検診	歯みがき指導	フッ化物(フッ素)塗布	歯石除去	むし歯の治療	歯周病の治療	抜歯等外科処置	歯科矯正
20歳代	男性	59.6%	1.4%	0.0%	20.6%	14.2%	48.2%	27.7%	4.3%	5.0%	6.4%
	女性	52.4%	2.8%	0.0%	16.3%	14.7%	50.8%	29.0%	3.6%	9.9%	11.9%
30歳代	男性	57.6%	2.5%	0.0%	18.4%	3.2%	38.6%	38.6%	7.6%	4.4%	1.3%
	女性	56.9%	0.3%	0.0%	18.3%	9.2%	49.7%	33.7%	6.2%	5.9%	7.2%
40歳代	男性	52.0%	0.0%	1.4%	21.7%	8.9%	49.1%	34.9%	13.5%	3.9%	1.1%
	女性	54.9%	0.9%	1.3%	19.2%	10.0%	47.0%	32.9%	10.0%	3.0%	1.7%
50歳代	男性	51.7%	2.3%	2.0%	15.5%	4.9%	49.7%	26.7%	15.5%	6.6%	0.3%
	女性	54.6%	0.7%	1.5%	21.9%	8.6%	54.4%	31.5%	17.7%	5.7%	1.5%
60歳代	男性	49.6%	0.7%	1.2%	21.1%	6.6%	54.6%	29.7%	24.1%	7.0%	0.2%
	女性	53.8%	0.4%	1.4%	24.7%	9.2%	54.2%	29.3%	19.9%	6.2%	1.1%
70歳代	男性	61.5%	0.4%	2.0%	27.8%	8.5%	53.3%	28.4%	24.3%	8.7%	0.2%
	女性	62.1%	0.7%	1.7%	25.1%	7.4%	48.8%	24.9%	24.2%	9.4%	0.1%
80歳以上	男性	55.2%	0.6%	1.1%	23.4%	5.0%	39.0%	23.4%	24.2%	7.8%	0.0%
	女性	51.7%	0.5%	1.1%	26.0%	7.8%	39.8%	22.6%	26.0%	7.4%	0.3%
全体	男性	55.0%	1.0%	1.4%	21.9%	7.0%	48.8%	29.1%	19.0%	6.8%	0.8%
	女性	55.6%	0.7%	1.2%	22.6%	9.0%	48.9%	28.4%	17.8%	6.8%	2.2%



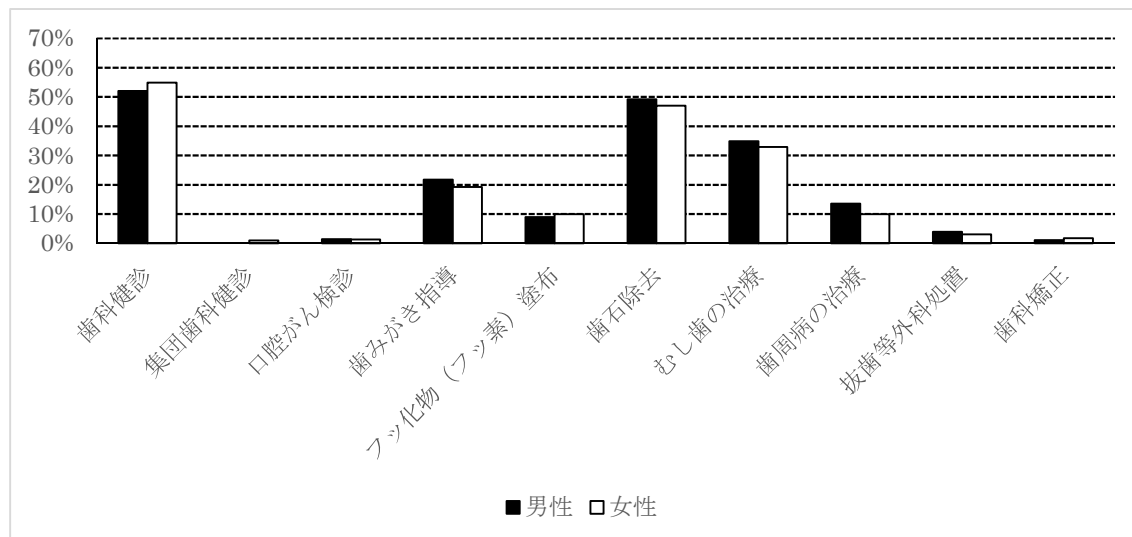
図Ⅱ-6-(3)-イ-1 年代別・男女別による歯科への受診理由：20 歳代



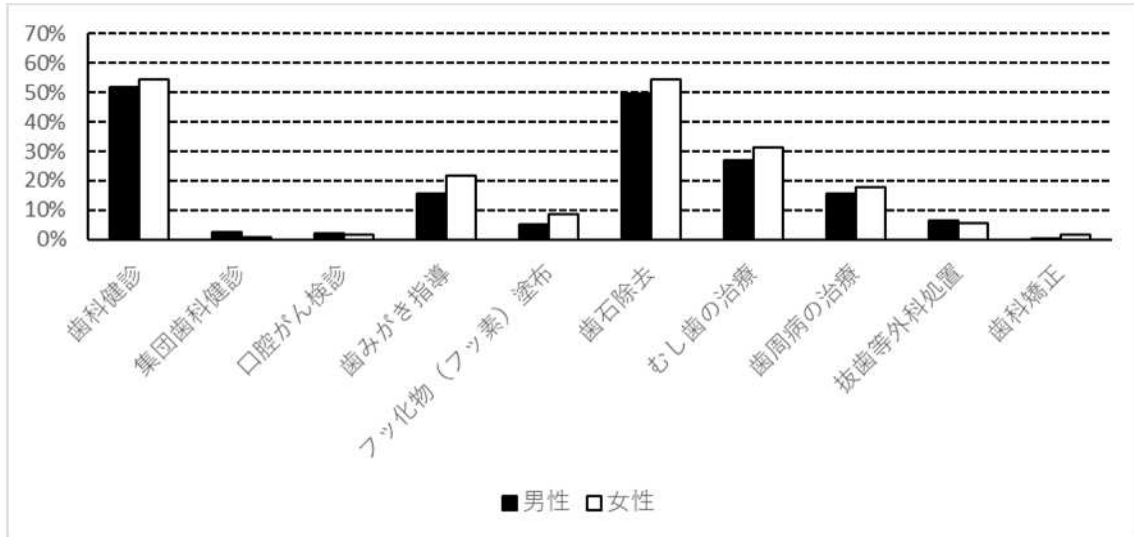
図Ⅱ-6-(3)-イ-2 年代別・男女別による歯科への受診理由：30 歳代



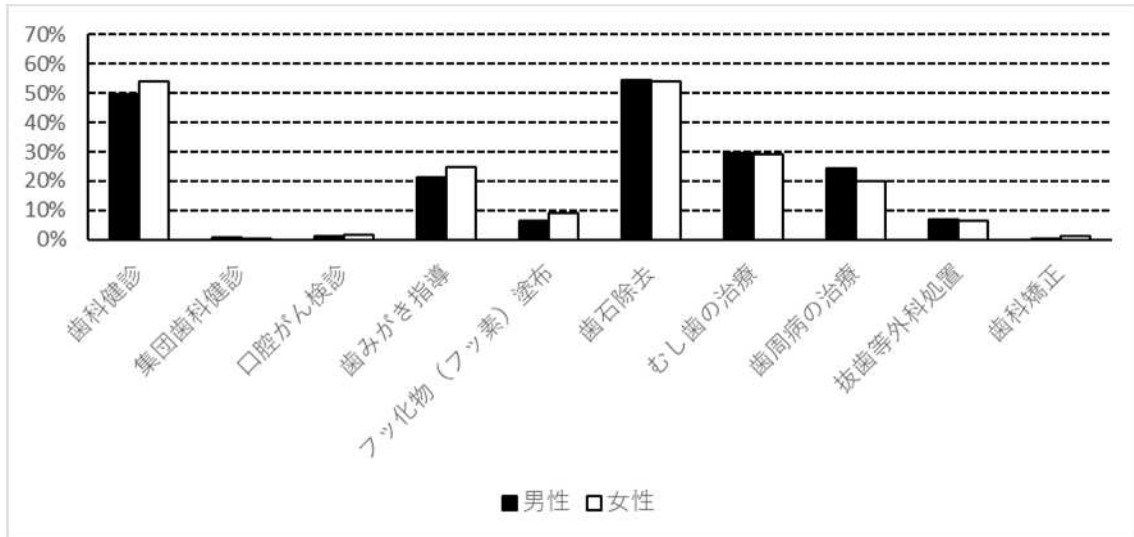
図Ⅱ-6-(3)-イ-3 年代別・男女別による歯科への受診理由：40 歳代



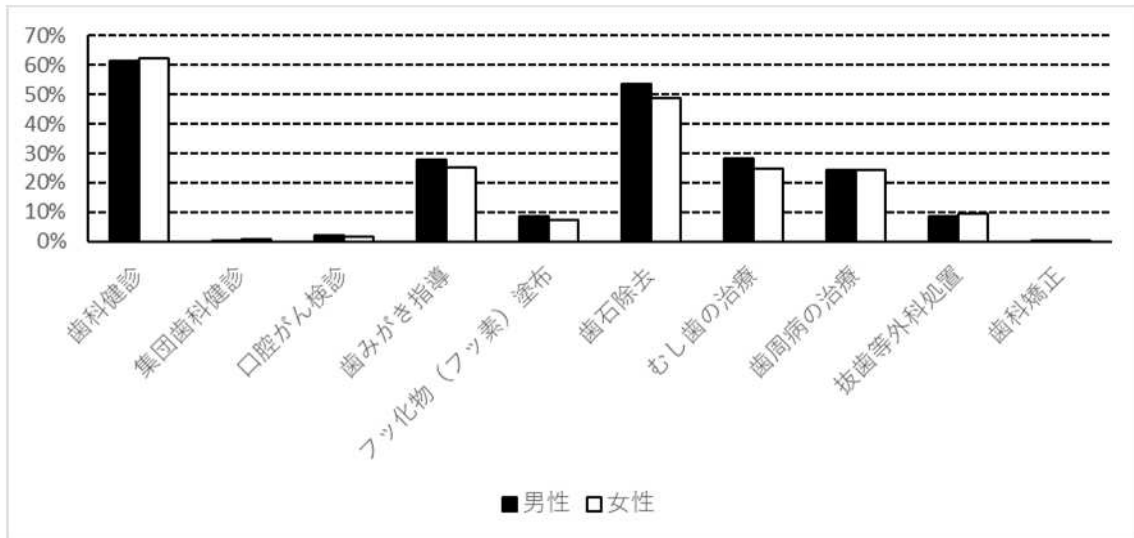
図Ⅱ-6-(3)-イ-4 年代別・男女別による歯科への受診理由：50歳代



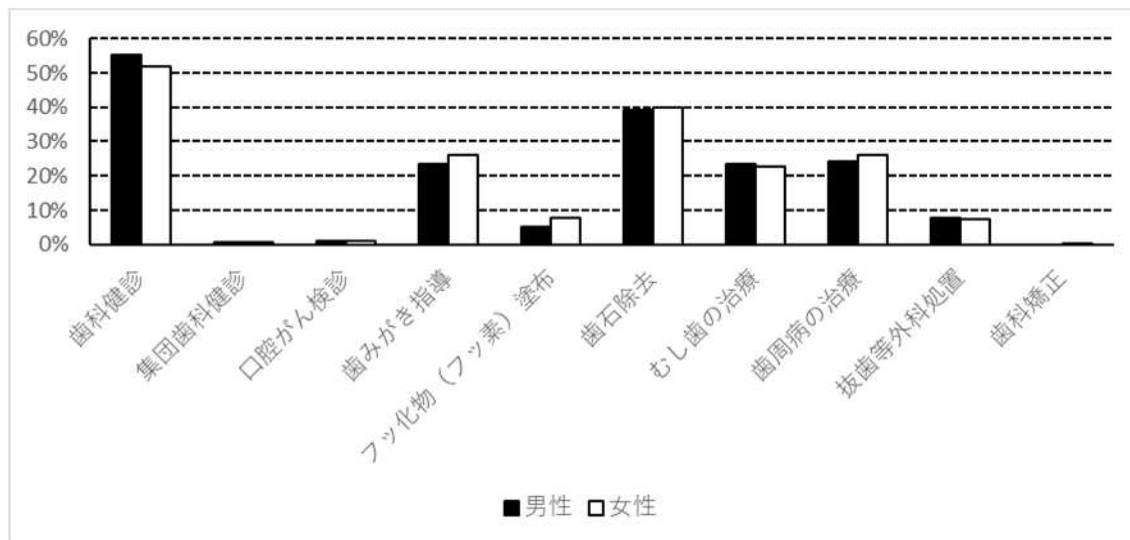
図Ⅱ-6-(3)-イ-5 年代別・男女別による歯科への受診理由：60歳代



図Ⅱ-6-(3)-イ-6 年代別・男女別による歯科への受診理由：70歳代



図Ⅱ-6-(3)-イ-7 年代別・男女別による歯科への受診理由：80歳以上

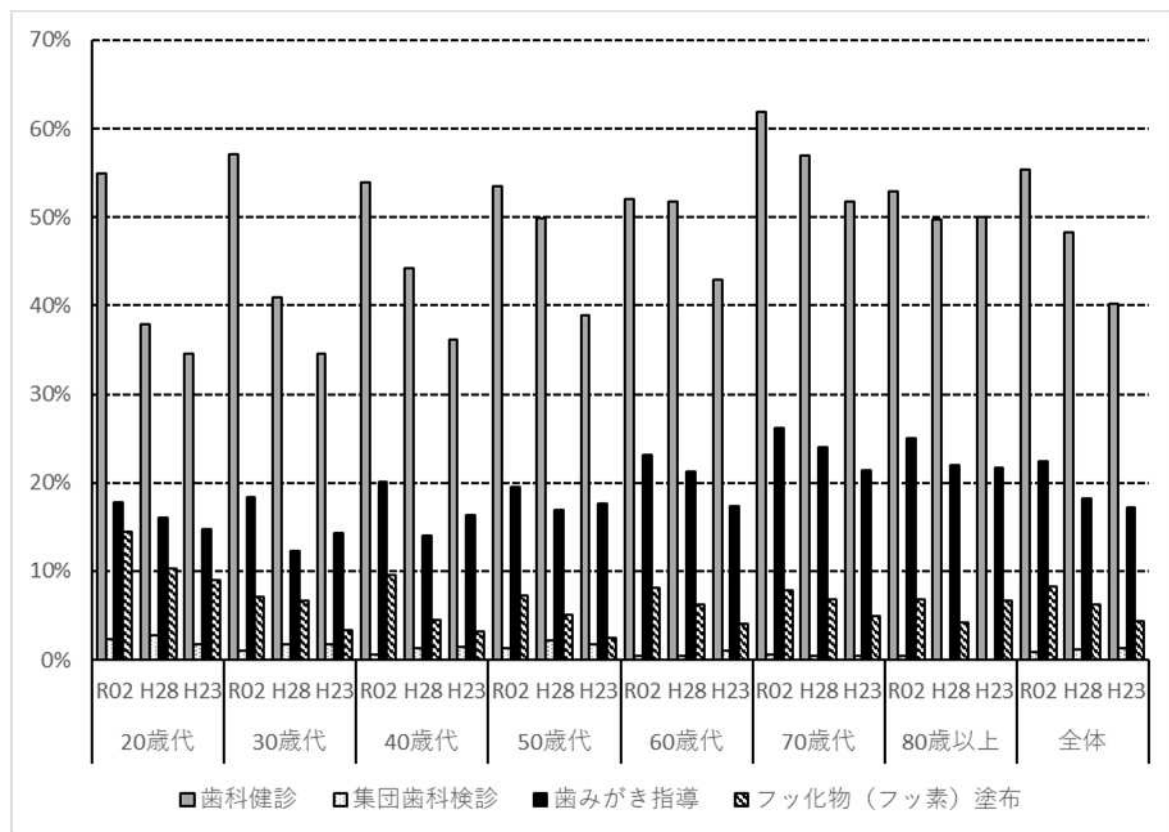


受診内容の推移（H23・H28 調査との比較）として、「歯科検診」「集団歯科検診」「歯みがき指導」「フッ化物（フッ素）塗布」について比較すると、「集団歯科検診」を除き R02 調査では増加傾向にあった（表Ⅱ-6-(3)-イ-2、図Ⅱ-6-(3)-イ-8）。

表Ⅱ-6-(3)-イ-2 歯科への受診理由の推移（H23・H28 調査との比較）

	調査年度	歯科検診	集団歯科検診	歯みがき指導	フッ化物 (フッ素)塗布
20 歳代	R02	55.0%	2.3%	17.8%	14.5%
	H28	37.9%	2.7%	16.1%	10.3%
	H23	34.5%	1.7%	14.8%	9.0%
30 歳代	R02	57.1%	1.1%	18.3%	7.1%
	H28	40.9%	1.7%	12.3%	6.6%
	H23	34.6%	1.7%	14.3%	3.3%
40 歳代	R02	53.9%	0.6%	20.0%	9.6%
	H28	44.3%	1.3%	14.1%	4.5%
	H23	36.2%	1.5%	16.3%	3.2%
50 歳代	R02	53.5%	1.3%	19.5%	7.2%
	H28	49.9%	2.2%	16.9%	5.0%
	H23	38.9%	1.8%	17.7%	2.5%
60 歳代	R02	52.0%	0.5%	23.1%	8.1%
	H28	51.8%	0.5%	21.3%	6.2%
	H23	42.9%	1.0%	17.4%	4.0%
70 歳代	R02	61.9%	0.6%	26.1%	7.9%
	H28	56.9%	0.4%	24.0%	6.8%
	H23	51.7%	0.4%	21.4%	4.9%
80 歳以上	R02	53.0%	0.5%	25.1%	6.8%
	H28	49.8%	0.0%	22.0%	4.2%
	H23	50.0%	0.0%	21.7%	6.7%
全体	R02	55.4%	0.8%	22.4%	8.2%
	H28	48.3%	1.2%	18.2%	6.2%
	H23	40.2%	1.3%	17.2%	4.4%

図Ⅱ-6-(3)-イ-8 歯科への受診理由の推移 (H23・H28 調査との比較)



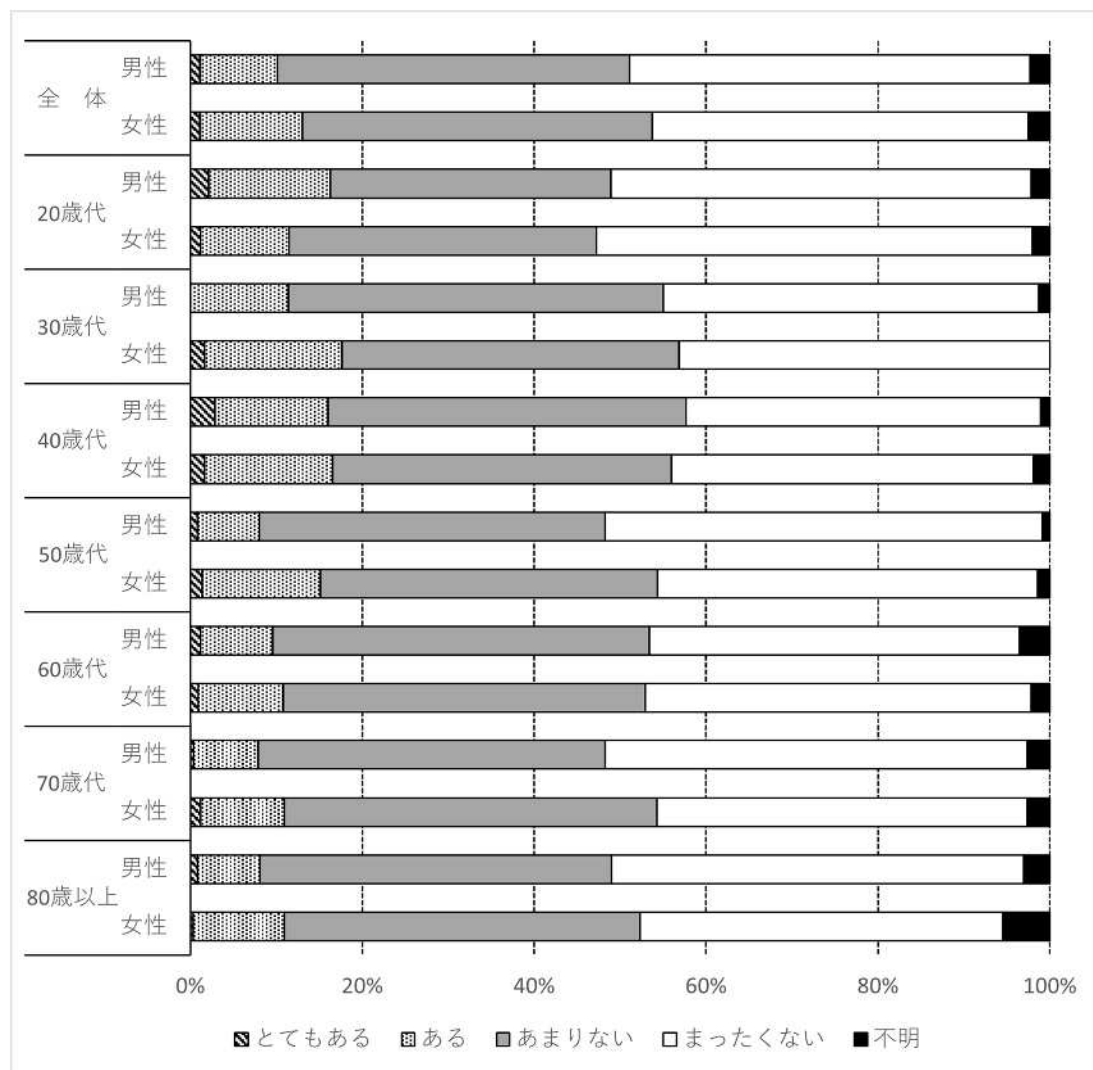
ウ 歯科検診や歯科治療受診へのためらい（問14 あなたは普段、歯科検診や歯科治療を受けることにためらいがありますか。）

歯科受診へのためらいが「とてもある」「ある」と回答した者を合わせると、全体で男性10.1%、女性13.0%であり、H28調査よりも減少していた。全年代を通じて、4割以上の者が「まったくない」との回答であった。コロナ禍によりためらいのある者の受診が抑制された可能性も考えられる。男女別で見ると、20歳代を除き女性の方が男性よりも、ためらう傾向があった（表Ⅱ-6-(3)-ウ-1、図Ⅱ-6-(3)-ウ-1）。

表Ⅱ-6-(3)-ウ-1 年代別・男女別による歯科への受診へのためらい

		とてもある	ある	あまりない	まったくない	不明
20歳代	男性	2.1%	14.2%	32.6%	48.9%	2.1%
	女性	1.2%	10.3%	35.7%	50.8%	2.0%
30歳代	男性	0.0%	11.4%	43.7%	43.7%	1.3%
	女性	1.6%	16.0%	39.2%	43.1%	0.0%
40歳代	男性	2.8%	13.2%	41.6%	41.3%	1.1%
	女性	1.7%	14.8%	39.5%	42.1%	1.9%
50歳代	男性	0.9%	7.2%	40.2%	50.9%	0.9%
	女性	1.4%	13.8%	39.2%	44.2%	1.4%
60歳代	男性	1.2%	8.4%	43.8%	43.1%	3.5%
	女性	0.9%	9.9%	42.1%	44.9%	2.1%
70歳代	男性	0.4%	7.5%	40.4%	49.1%	2.6%
	女性	1.2%	9.8%	43.3%	43.1%	2.6%
80歳以上	男性	0.8%	7.2%	40.9%	47.9%	3.1%
	女性	0.3%	10.7%	41.4%	42.2%	5.5%
全体	男性	1.1%	9.0%	41.0%	46.6%	2.3%
	女性	1.1%	11.9%	40.7%	43.8%	2.5%

図Ⅱ-6-(3)-ウ-1 年代別・男女別による歯科への受診へのためらい



(ア) ためらう理由 (問 14-1 その理由全てに○をつけてください。)

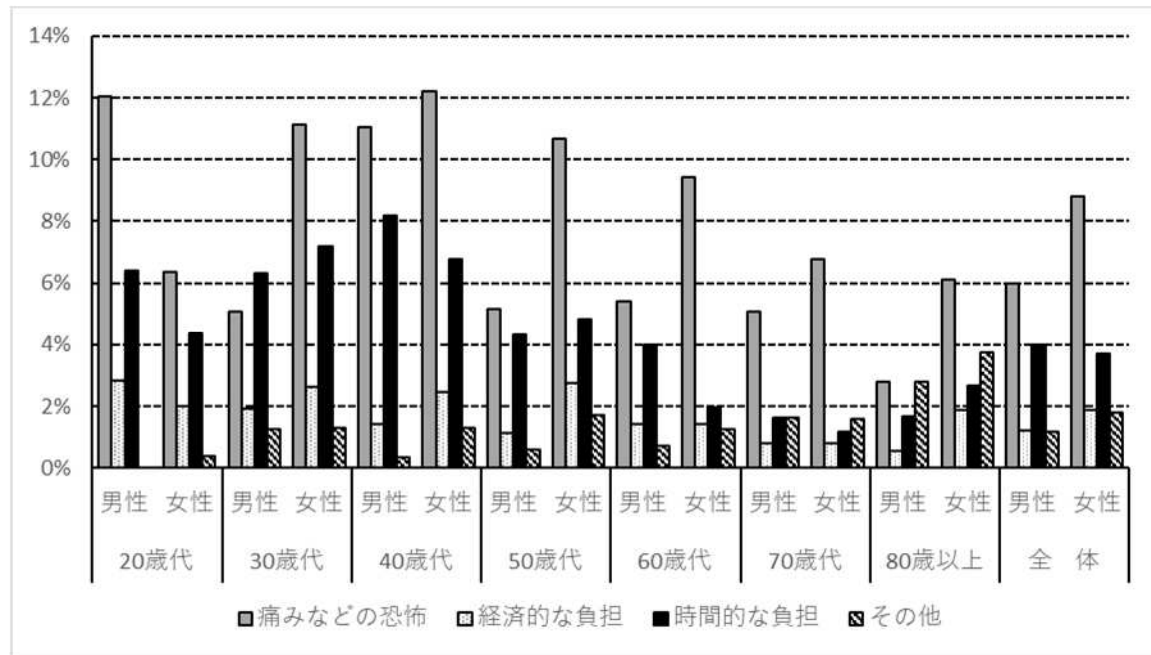
ためらう理由としては、全世代で「痛みなどの恐怖」が最も多く、全体では男性 6.0%、女性 8.8%であり、20 歳代を除く各年代において男性よりも女性にその割合が高かった。次いで「時間的な負担」が高く、20～40 歳代にこの理由をあげる者が比較的多かった。「経済的な負担」は若い年代ほど高い傾向であった (表 II-6-(3)-ウ-(ア)-1、図 II-6-(3)-ウ-(ア)-1)。

表 II-6-(3)-ウ-(ア)-1 年代別・男女別による歯科受診へのためらいの理由

		痛みなどの恐怖	経済的な負担	時間的な負担	その他
20 歳代	男性	12.1%	2.8%	6.4%	0.0%
	女性	6.3%	2.0%	4.4%	0.4%
30 歳代	男性	5.1%	1.9%	6.3%	1.3%
	女性	11.1%	2.6%	7.2%	1.3%
40 歳代	男性	11.0%	1.4%	8.2%	0.4%
	女性	12.2%	2.4%	6.8%	1.3%
50 歳代	男性	5.2%	1.1%	4.3%	0.6%
	女性	10.7%	2.8%	4.8%	1.7%
60 歳代	男性	5.4%	1.4%	4.0%	0.7%
	女性	9.4%	1.4%	2.0%	1.2%
70 歳代	男性	5.1%	0.8%	1.6%	1.6%
	女性	6.8%	0.8%	1.2%	1.6%
80 歳以上	男性	2.8%	0.6%	1.7%	2.8%
	女性	6.1%	1.9%	2.7%	3.8%
全 体	男性	6.0%	1.2%	4.0%	1.2%
	女性	8.8%	1.9%	3.7%	1.8%



図Ⅱ-6-(3)-ウ-(ア)-1 年代別・男女別による歯科受診へのためらいの理由



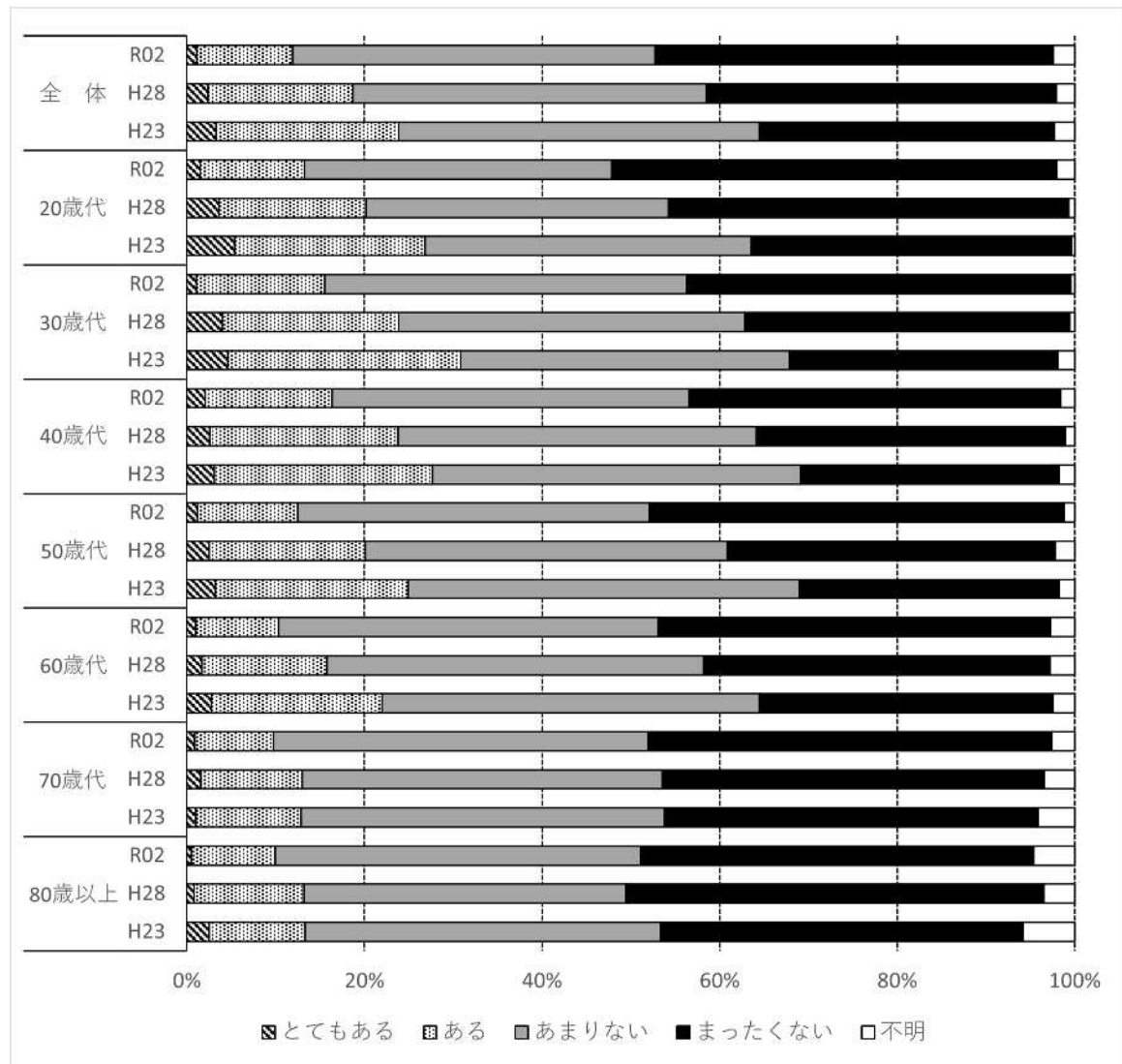
(イ) 歯科検診等の受診を「ためらう者」の割合の H23・H28 調査との比較推移

歯科への受診をためらう者の割合は H23・H28 調査と比較し、全体的に減少している。全体としては、「とてもある」「ある」の両者を合わせた割合は、H23 調査では 23.9%、H28 調査では 18.7%であったのに対し、R02 調査では 11.9%と大幅に減少しており、全ての年代において減少していた（表Ⅱ-6-(3)-ウ-(イ)-1、図Ⅱ-6-(3)-ウ-(イ)-1）。歯科の受診が精神的、経済的、社会的（時間）にもハードルが低くなっていることがうかがえる。ただし、前述したようにコロナ禍によりためらいのある者の受診が抑制された可能性も考えられる。

表Ⅱ-6-(3)-ウ-(イ)-1 歯科受診を「ためらう者」の割合の推移（H23・H28 調査との比較）

	調査年度	とてもある	ある	あまりない	まったくない	不明
20 歳代	R02	1.5%	11.7%	34.6%	50.1%	2.0%
	H28	3.6%	16.6%	34.1%	45.1%	0.7%
	H23	5.4%	21.4%	36.8%	36.0%	0.4%
30 歳代	R02	1.1%	14.4%	40.7%	43.3%	0.4%
	H28	4.0%	19.9%	39.0%	36.6%	0.6%
	H23	4.6%	26.2%	37.1%	30.2%	1.9%
40 歳代	R02	2.1%	14.3%	40.2%	41.8%	1.6%
	H28	2.6%	21.2%	40.4%	34.8%	1.1%
	H23	3.1%	24.5%	41.4%	29.1%	1.8%
50 歳代	R02	1.2%	11.3%	39.6%	46.7%	1.2%
	H28	2.5%	17.6%	40.7%	36.9%	2.2%
	H23	3.2%	21.7%	44.1%	29.2%	1.8%
60 歳代	R02	1.0%	9.3%	42.8%	44.1%	2.7%
	H28	1.7%	14.1%	42.4%	39.0%	2.8%
	H23	2.8%	19.2%	42.4%	33.0%	2.5%
70 歳代	R02	0.9%	8.9%	42.2%	45.4%	2.6%
	H28	1.6%	11.4%	40.6%	43.1%	3.4%
	H23	1.0%	11.9%	40.9%	42.1%	4.1%
80 歳以上	R02	0.5%	9.4%	41.2%	44.2%	4.6%
	H28	0.8%	12.4%	36.3%	47.1%	3.5%
	H23	2.5%	10.8%	40.0%	40.8%	5.8%
全体	R02	1.1%	10.8%	40.8%	44.9%	2.4%
	H28	2.4%	16.3%	39.8%	39.4%	2.1%
	H23	3.3%	20.6%	40.7%	33.3%	2.3%

図Ⅱ-6-(3)-ウ-(イ)-1 歯科受診を「ためらう者」の割合の推移 (H23・H28 調査との比較)



#### (4) 口腔保健に関する保健行動と意識

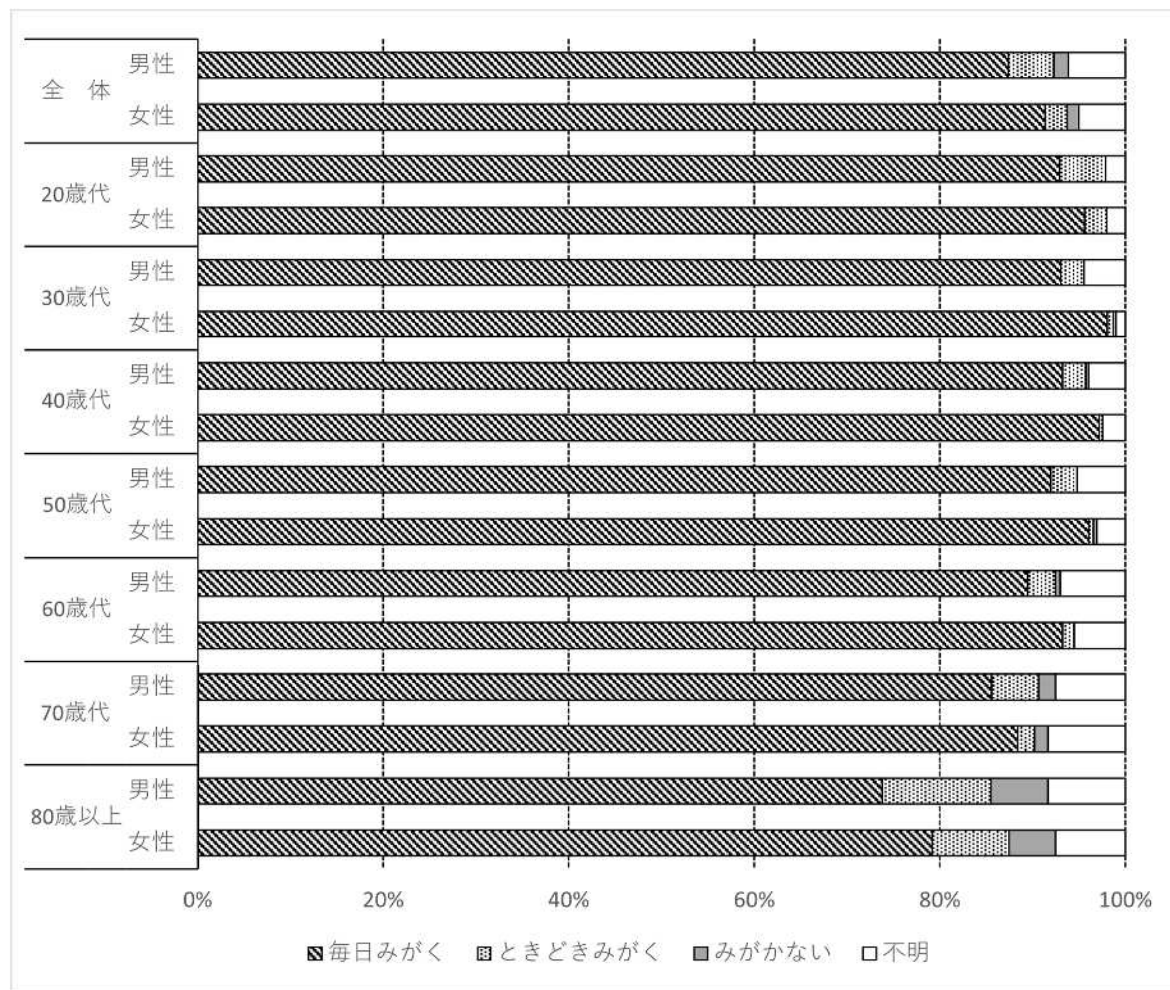
##### ア 刷掃習慣（問 15 歯みがきの状況を教えてください。）

全体として「毎日みがく」は男性 87.4%、女性 91.3%であり、全年代を通じて女性の方が男性よりも刷掃習慣は良好であった。女性は、日常生活において口腔衛生の意識が高いことがうかがえる。「みがかない」者は 60 歳代までは、ほとんどいないが、70 歳代で増加し、80 歳以上では男女とも 5%を超えた（表Ⅱ-6-(4)-ア-1、図Ⅱ-6-(4)-ア-1）。

表Ⅱ-6-(4)-ア-1 年代別・男女別による「歯みがき」の習慣

		毎日みがく	ときどきみがく	みがかない	不明
20 歳代	男性	92.9%	5.0%	0.0%	2.1%
	女性	95.6%	2.4%	0.0%	2.0%
30 歳代	男性	93.0%	2.5%	0.0%	4.4%
	女性	98.0%	0.7%	0.3%	1.0%
40 歳代	男性	93.2%	2.5%	0.4%	3.9%
	女性	97.2%	0.4%	0.0%	2.4%
50 歳代	男性	92.0%	2.9%	0.0%	5.2%
	女性	96.0%	0.5%	0.3%	3.1%
60 歳代	男性	89.5%	3.0%	0.5%	7.0%
	女性	93.3%	1.2%	0.0%	5.5%
70 歳代	男性	85.6%	5.1%	1.8%	7.5%
	女性	88.4%	1.8%	1.4%	8.4%
80 歳以上	男性	73.8%	11.7%	6.1%	8.4%
	女性	79.2%	8.3%	5.0%	7.5%
全 体	男性	87.4%	4.9%	1.5%	6.2%
	女性	91.3%	2.4%	1.3%	5.0%

図Ⅱ-6-(4)-ア-1 年代別・男女別による「歯みがき」の習慣



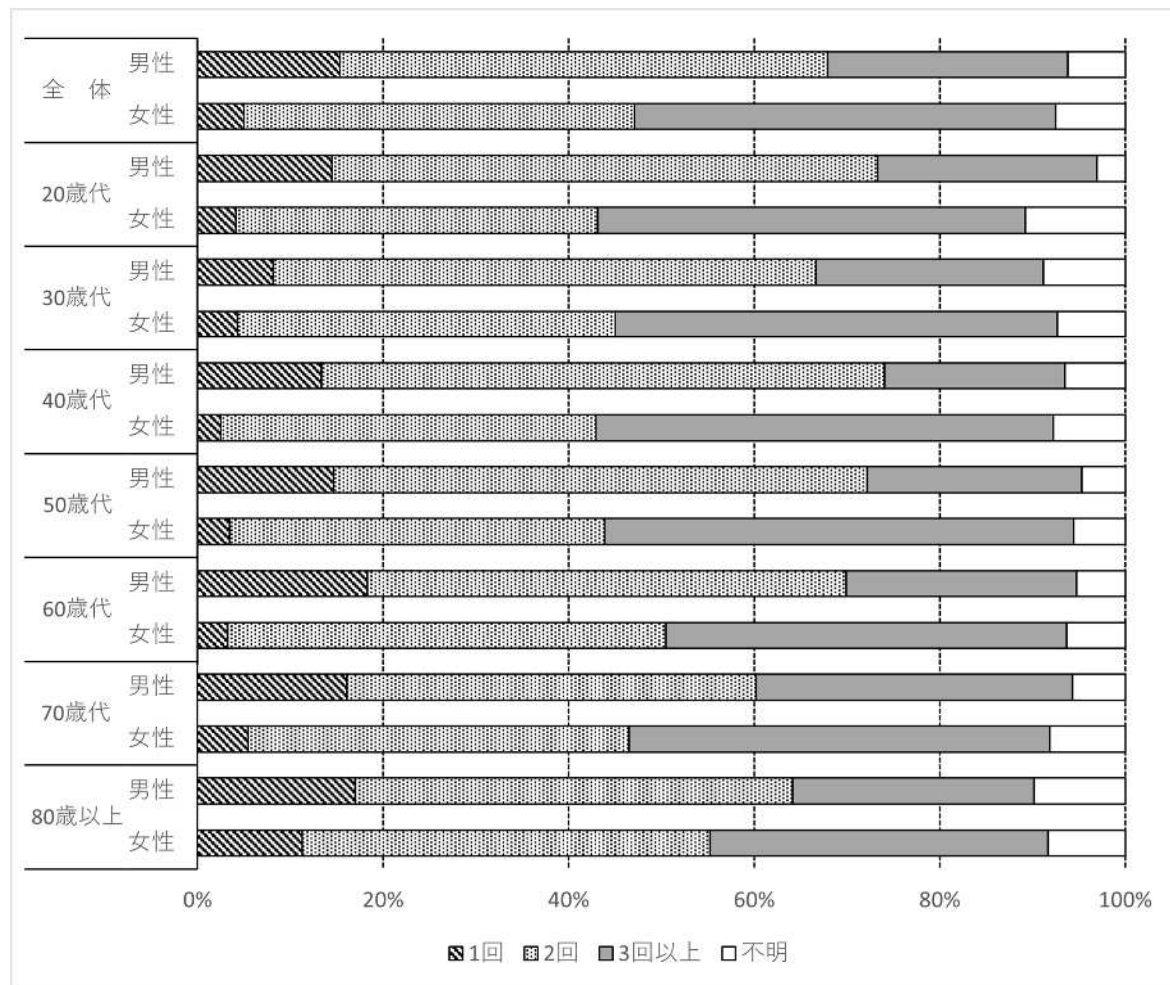
(ア) 歯みがきの回数（問 15-1 1日何回みがきますか。）

全体で1日に2回みがく者の割合は、男性で52.6%、女性で42.1%、3回以上みがく者の割合は男性で25.9%、女性で45.4%であった。3回以上みがく者は女性の方が男性に比べて2倍近く多いのに対して、1回みがく者は男性に多く、全体で女性の約3倍であり、40～60歳代ではその差はより大きかった（表Ⅱ-6-(4)-ア-(ア)-1、図Ⅱ-6-(4)-ア-(ア)-1）。働き方や生活習慣が影響を及ぼしている可能性がうかがえる。

表Ⅱ-6-(4)-ア-(ア)-1 「歯みがき」の回数

		1回	2回	3回以上	不明
20歳代	男性	14.5%	58.8%	23.7%	3.1%
	女性	4.1%	39.0%	46.1%	10.8%
30歳代	男性	8.2%	58.5%	24.5%	8.8%
	女性	4.3%	40.7%	47.7%	7.3%
40歳代	男性	13.4%	60.7%	19.5%	6.5%
	女性	2.5%	40.4%	49.3%	7.7%
50歳代	男性	14.7%	57.5%	23.1%	4.7%
	女性	3.4%	40.5%	50.5%	5.6%
60歳代	男性	18.3%	51.6%	24.9%	5.2%
	女性	3.2%	47.2%	43.2%	6.3%
70歳代	男性	16.1%	44.1%	34.1%	5.7%
	女性	5.5%	41.1%	45.3%	8.1%
80歳以上	男性	17.0%	47.2%	26.0%	9.8%
	女性	11.3%	44.0%	36.4%	8.3%
全体	男性	15.3%	52.6%	25.9%	6.2%
	女性	5.0%	42.1%	45.4%	7.5%

図Ⅱ-6-(4)-ア-(ア)-1 「歯みがき」の回数



### (イ) 「歯みがき回数」の推移

歯みがきの回数の推移については、ほとんどの者が「毎日」みがいていることから、毎日みがいている者における1日の歯みがき回数を比較した。その結果、1回みがく者の割合はH23・H28調査から減少傾向にあるものの、2回以上みがく者の割合は、20～40歳代でやや増加、3回以上みがく者は横ばい傾向であった。70歳代の者で3回以上みがく者が増加傾向であった（表Ⅱ-6-(4)-ア-(イ)-1、図Ⅱ-6-(4)-ア-(イ)-1）。

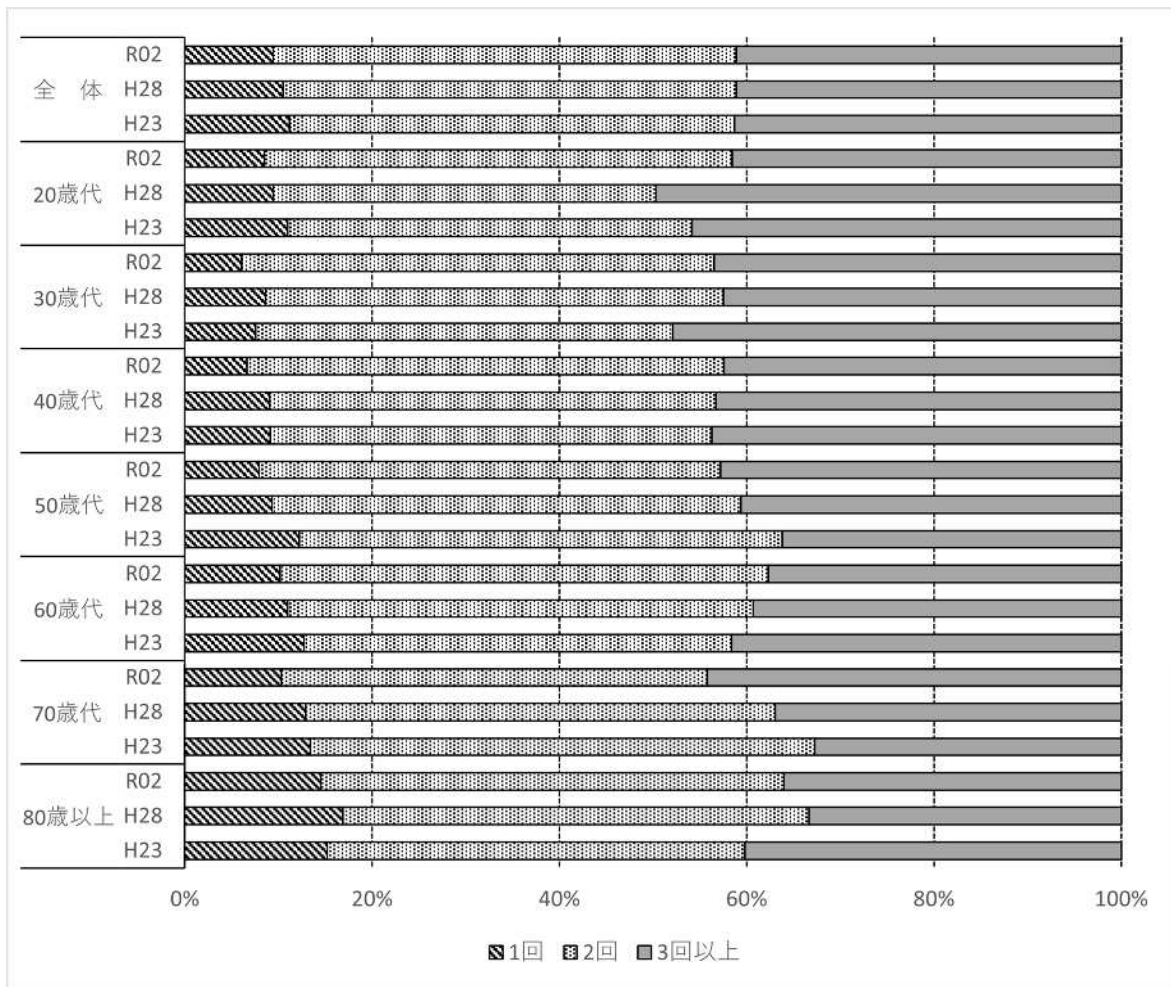
表Ⅱ-6-(4)-ア-(イ)-1 「歯みがき」の回数の推移（毎日みがいている者におけるH23・H28調査との比較）

	調査年度	1回	2回	3回以上
20歳代	R02	8.5%	50.0%	41.5%
	H28	9.4%	40.9%	49.6%
	H23	11.0%	43.2%	45.8%
30歳代	R02	6.1%	50.5%	43.4%
	H28	8.6%	48.9%	42.4%
	H23	7.6%	44.5%	47.9%
40歳代	R02	6.6%	51.0%	42.4%
	H28	9.1%	47.7%	43.3%
	H23	9.1%	47.2%	43.7%
50歳代	R02	7.9%	49.3%	42.8%
	H28	9.3%	50.1%	40.6%
	H23	12.0%	50.6%	35.5%
60歳代	R02	10.2%	52.1%	37.7%
	H28	11.0%	49.7%	39.3%
	H23	12.7%	45.7%	41.6%
70歳代	R02	10.3%	45.5%	44.2%
	H28	12.9%	50.2%	37.0%
	H23	11.1%	44.7%	27.1%
80歳以上	R02	14.5%	49.4%	36.0%
	H28	16.9%	49.7%	33.3%
	H23	15.2%	44.6%	40.2%
全体	R02	9.5%	49.4%	41.1%
	H28	10.5%	48.4%	41.1%
	H23	10.7%	45.5%	39.5%

\*R02調査は不明を除く回答総数に占める割合



図Ⅱ-6-(4)-ア-(イ)-1 「歯みがき」の回数の推移（毎日みがいている者におけるH23・H28調査との比較）



## イ 歯間清掃用具の使用状況（問 16 歯間ブラシやデンタルフロス（糸付きようじ）等を使っていますか。）

歯間清掃用具を「ほぼ毎日使う」者の割合は、男性で28.8%、女性で43.5%、「ときどき使う」者の割合は男性で33.9%、女性で31.8%であり、女性は使用頻度が高い傾向にあった。特に、「ほぼ毎日使う」者は女性の方が男性より約1.5倍多かった。70歳代までは「ほぼ毎日使う」者が年齢とともに増加する傾向にあるが、80歳以上になると減少した。20歳代の男性における歯間清掃用具の使用割合は低く、男性では「使わない」者が45.4%であった（表Ⅱ-6-(4)-イ-1、図Ⅱ-6-(4)-イ-1）。

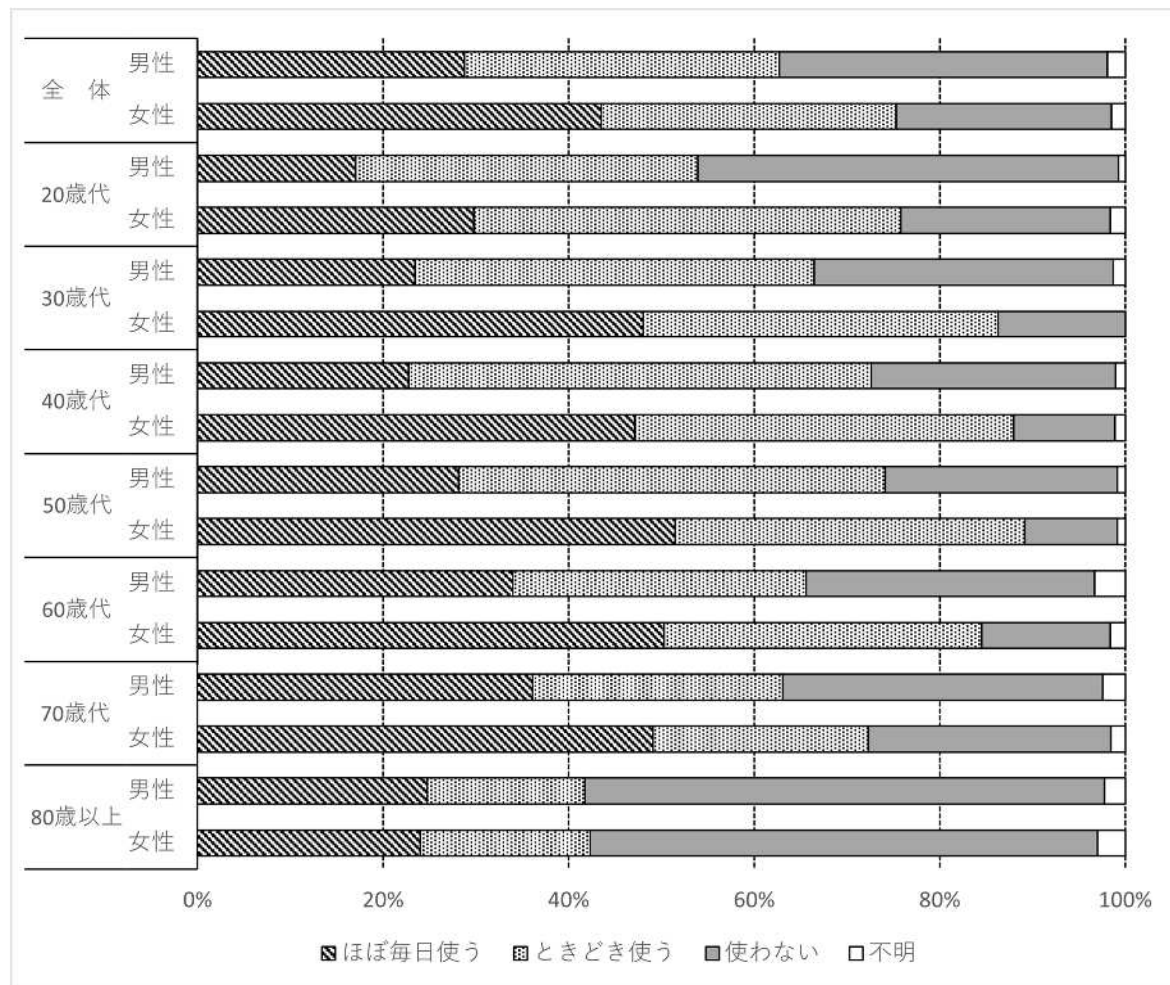
歯間清掃用具の使用状況におけるH23・H28調査との比較では、「ほぼ毎日使う」者の割合は50歳代までは増加傾向にあったが、60歳代以降ではH28調査より減少し、「ときどき使う」者の割合が増加していた。80歳以上では「使わない」者が大きく増加していた（表Ⅱ-6-(4)-イ-2、図Ⅱ-6-(4)-イ-2）。

通院・訪問別にみると、全年代で訪問患者の方が通院患者よりも「使わない」者が多く、60歳代以降では顕著であり、80歳以上では「使わない」者の割合は70.0%であった（表Ⅱ-6-(4)-イ-3、図Ⅱ-6-(4)-イ-3）。

表Ⅱ-6-(4)-イ-1 年代別・男女別による歯間清掃用具の使用状況

		ほぼ毎日使う	ときどき使う	使わない	不明
20歳代	男性	17.0%	36.9%	45.4%	0.7%
	女性	29.8%	46.0%	22.6%	1.6%
30歳代	男性	23.4%	43.0%	32.3%	1.3%
	女性	48.0%	38.2%	13.7%	0.0%
40歳代	男性	22.8%	49.8%	26.3%	1.1%
	女性	47.2%	40.8%	10.9%	1.1%
50歳代	男性	28.2%	46.0%	25.0%	0.9%
	女性	51.5%	37.7%	10.0%	0.9%
60歳代	男性	34.0%	31.6%	31.1%	3.3%
	女性	50.3%	34.3%	13.9%	1.6%
70歳代	男性	36.1%	27.0%	34.5%	2.4%
	女性	49.1%	23.2%	26.1%	1.6%
80歳以上	男性	24.8%	17.0%	56.0%	2.2%
	女性	24.0%	18.3%	54.7%	3.0%
全体	男性	28.8%	33.9%	35.3%	1.9%
	女性	43.5%	31.8%	23.1%	1.5%

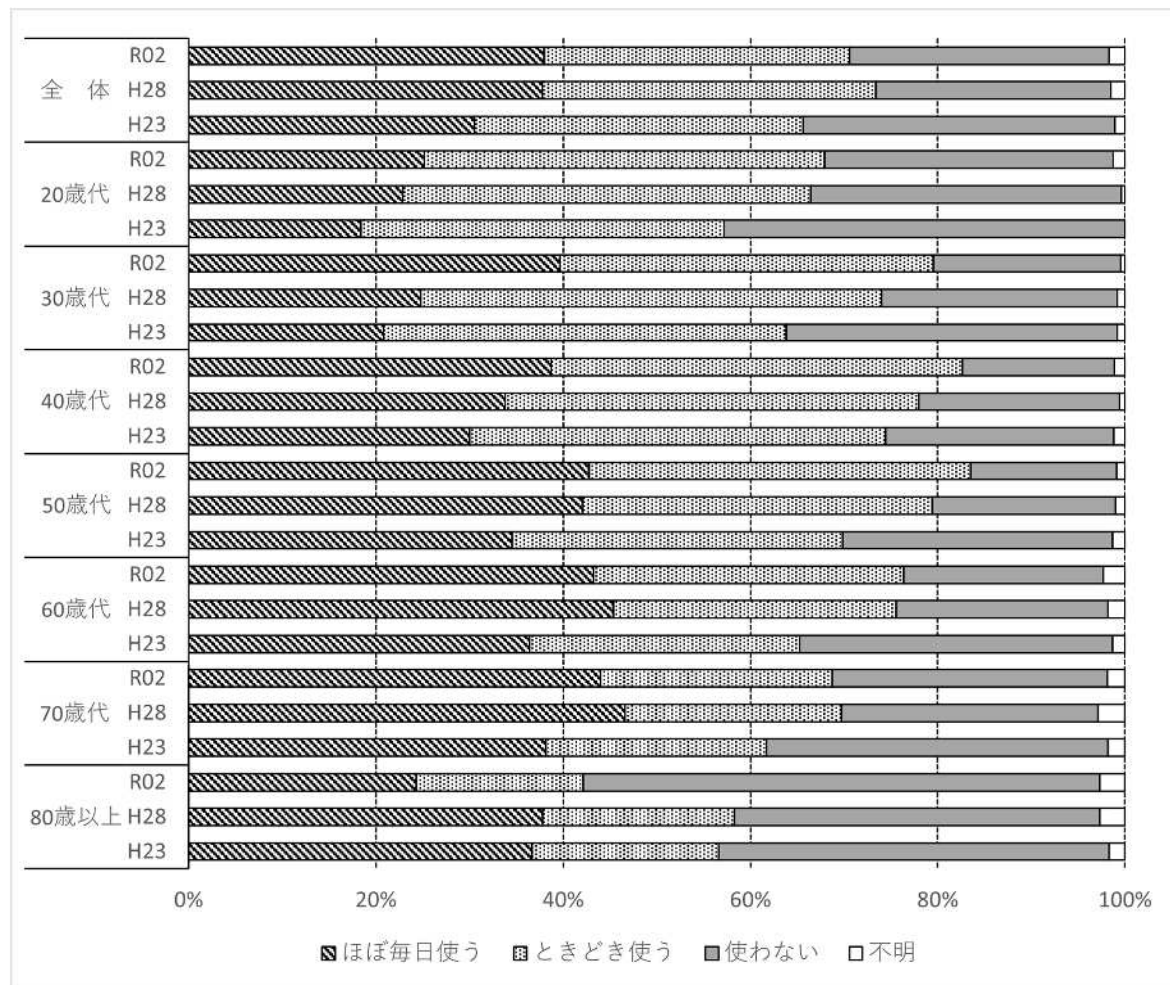
図Ⅱ-6-(4)-イ-1 年代別・男女別による歯間清掃用具の使用状況



表Ⅱ-6-(4)-イ-2 歯間清掃用具の使用状況の推移（H23・H28調査との比較）

	調査年度	ほぼ毎日使う	ときどき使う	使わない	不明
20歳代	R02	25.2%	42.7%	30.8%	1.3%
	H28	22.9%	43.5%	33.2%	0.4%
	H23	18.4%	38.8%	42.8%	0.0%
30歳代	R02	39.7%	39.9%	20.0%	0.4%
	H28	24.8%	49.2%	25.2%	0.8%
	H23	20.8%	43.0%	35.4%	0.8%
40歳代	R02	38.7%	43.9%	16.2%	1.1%
	H28	33.8%	44.2%	21.4%	0.6%
	H23	30.0%	44.4%	24.3%	1.2%
50歳代	R02	42.7%	40.8%	15.6%	0.9%
	H28	42.1%	37.4%	19.6%	1.0%
	H23	34.6%	35.3%	28.9%	1.3%
60歳代	R02	43.2%	33.1%	21.3%	2.3%
	H28	45.3%	30.2%	22.6%	1.8%
	H23	36.4%	28.8%	33.4%	1.3%
70歳代	R02	44.0%	24.7%	29.4%	1.9%
	H28	46.6%	23.1%	27.4%	2.9%
	H23	38.2%	23.6%	36.5%	1.8%
80歳以上	R02	24.3%	17.9%	55.2%	2.7%
	H28	37.8%	20.5%	39.0%	2.7%
	H23	36.7%	20.0%	41.7%	1.7%
全体	R02	38.0%	32.6%	27.8%	1.7%
	H28	37.8%	35.6%	25.1%	1.5%
	H23	30.5%	35.1%	33.3%	1.1%

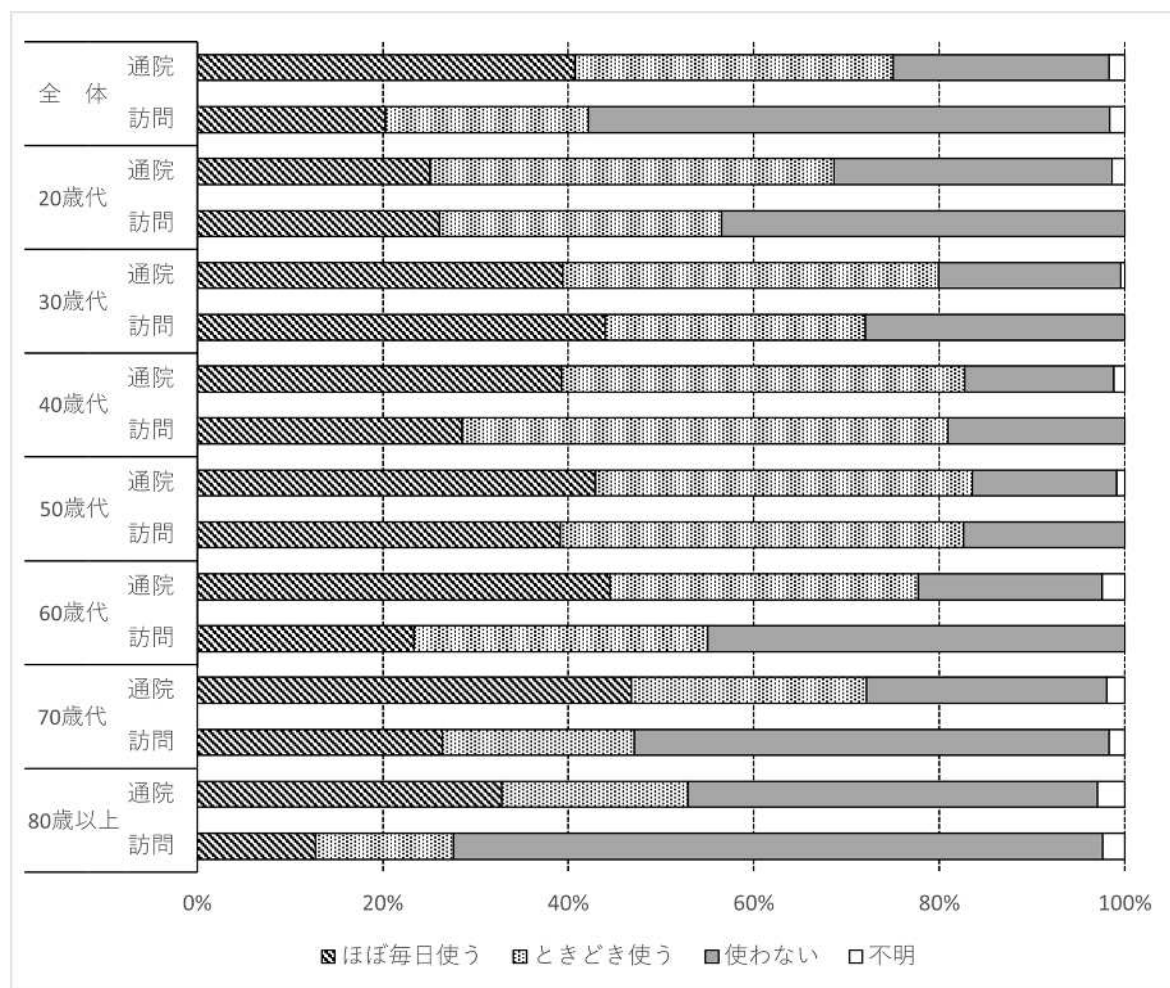
図Ⅱ-6-(4)-イ-2 歯間清掃用具の使用状況の推移 (H23・H28 調査との比較)



表Ⅱ-6-(4)-イ-3 通院・訪問別による歯間清掃用具の使用状況

		ほぼ毎日使う	ときどき使う	使わない	不明
20 歳代	通院	25.1%	43.5%	30.0%	1.4%
	訪問	26.1%	30.4%	43.5%	0.0%
30 歳代	通院	39.4%	40.5%	19.6%	0.5%
	訪問	44.0%	28.0%	28.0%	0.0%
40 歳代	通院	39.3%	43.5%	16.1%	1.2%
	訪問	28.6%	52.4%	19.0%	0.0%
50 歳代	通院	42.9%	40.7%	15.5%	0.9%
	訪問	39.1%	43.5%	17.4%	0.0%
60 歳代	通院	44.5%	33.2%	19.8%	2.5%
	訪問	23.3%	31.7%	45.0%	0.0%
70 歳代	通院	46.8%	25.3%	25.9%	1.9%
	訪問	26.4%	20.7%	51.1%	1.7%
80 歳以上	通院	32.8%	20.1%	44.2%	3.0%
	訪問	12.7%	14.9%	70.0%	2.4%
全 体	通院	40.7%	34.3%	23.3%	1.7%
	訪問	20.3%	21.9%	56.2%	1.6%

図Ⅱ-6-(4)-イ-3 通院・訪問別による歯間清掃用具の使用状況



**ウ 歯や歯ぐきの健康への意識（問 17 歯や歯ぐきの健康について普段から意識（注意）していること全てに○をつけてください。）**

「歯科検診や歯科健康診査をうけるようにしている」と回答した者の割合は、20歳代で男性36.9%、女性45.6%であり、70歳代まで男性では年齢とともに概ね増加傾向を示し、女性では30歳代以降横ばいとなった。70歳代では最も高く、男性58.2%、女性61.0%であった。80歳以上では男性が54.9%と女性の47.5%を上回った。全体では、男性51.7%、女性55.6%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-1）。

「歯石をとってもらおうようにしている」と回答した者の割合は、20歳代で男性41.1%、女性47.6%であり、年齢とともに概ね増加傾向を示し、50歳代以降は60%前後で横ばいとなった。全体では、男性54.1%、女性55.2%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-2）。

「かかりつけ歯科医を持っている」と回答した者の割合は、20歳代で男性42.6%、女性46.0%であり、年齢とともに概ね増加傾向を示し、男性では70歳代で最も高く78.1%、女性では60歳代で最も高く84.2%であった。全体では、男性67.6%、女性72.1%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-3）。

「食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている」と回答した者の割合は、20歳代で男性54.6%、女性64.7%であり、男性では年代を通じて55～65%で概ね横ばい傾向であり、女性では年齢とともに概ね増加傾向を示し60歳代で最も高く79.8%であった。全体では、男性60.3%、女性71.4%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-4）。

「1本ずつついでに、歯の根もとまでみがくようにしている」と回答した者の割合は、20歳代で男性34.0%、女性46.8%であり、70歳代までは男性より女性の方がが多く、年代を通じて横ばい傾向であった。80歳以上では女性の割合が減少し、男性29.2%、女性29.3%とほぼ同じ割合となった。全体では、男性32.8%、女性43.6%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-5）。

「フッ化物入りの歯みがき剤を使用している」と回答した者の割合は、20歳代では男性27.7%、女性36.1%であり、男性では年齢が上がるにつれて概ね減少傾向を示し、女性では40歳代までは増加するものの、50歳代以降減少傾向を示した。全年代で女性の方が高く、80歳以上では男性17.0%、女性18.7%であった。全体では、男性22.2%、女性31.8%と女性の方が高い傾向であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-6）。市販されている歯みがき剤の9割がフッ化物を配合していると言われており、意識して使っていない者が多いことがうかがえた。

「甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている」と回答した者の割合は、男性では30～40歳代、女性では30～60歳代で6%を下回り、全年代を通じて低い割合であった。70歳代以降、女性でわずかに増加傾向を認め、80歳以上で女性11.8%と最も高くなったのに対し、男性では9.2%と20歳代の10.6%を上回ることはなかった。全体では、男性7.6%、女性8.0%と低く、男女ともに他の項目と比べて本項目を実施する者は少なかった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-7）。

「バランスのとれた食事をこころがけている」と回答した者の割合は、20歳代で男性24.1%、女性21.0%で70歳代まで年齢とともに増加傾向を示し、30歳代以降では女性が男性を上回った。80歳代では男性42.1%、女性48.6%であった。全体では、男性36.6%、女性45.9%と女性の方が高かった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-8）。



「よく噛んで食べるようにしている」と回答した者の割合は、20歳代で男性34.0%、女性42.9%であり、男女ともに60歳代まで概ね横ばいであるが、70歳代から増加し、女性では70歳代で56.4%と最も高くなり、男性では80歳代で51.5%と最も高くなった。全体では、男性39.6%、女性45.4%と女性の方が高かった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-9）。

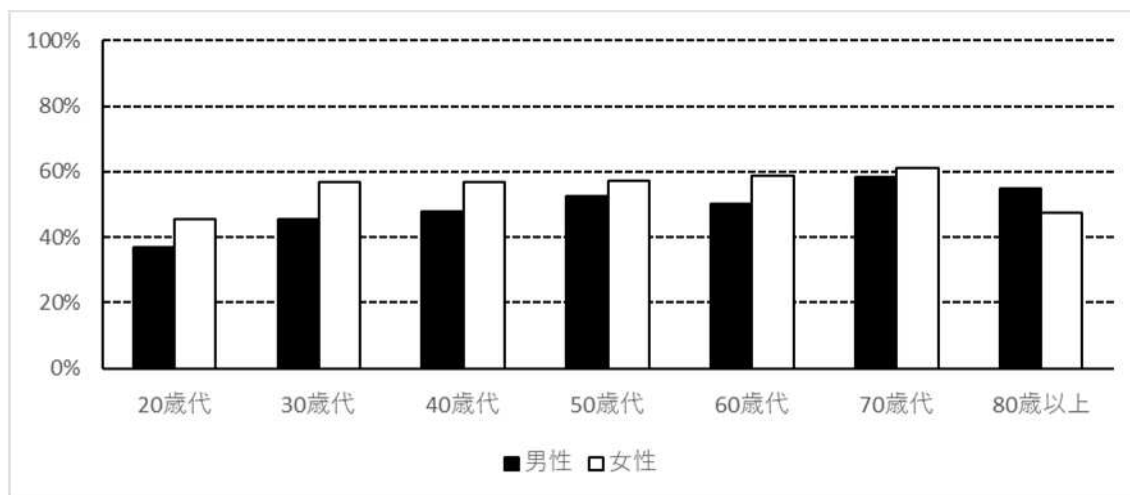
「歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている」と回答した者の割合は、男性は20歳代よりも30歳代の方が13.3%と最も低く、女性は20歳代よりも40歳代の方が17.1%と最も低いが、それ以降は年齢が上がるにつれて増加する傾向にあった。全体では、男性22.3%、女性24.0%であった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-10）。

「特に意識（注意）していない」と回答した者の割合は、全体を通じて男性の方が高く、全体で男性13.4%、女性7.0%であった。80歳以上で男性20.1%、女性12.2%と最も高かった（図Ⅱ-6-(4)-ウ-11）。

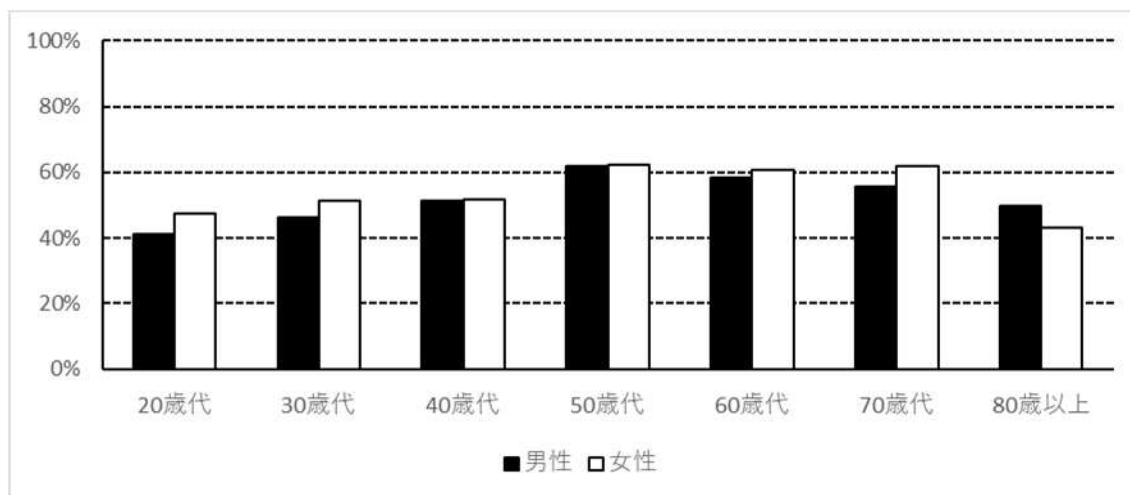
表Ⅱ-6-(4)-ウ-1 年代別・男女別による普段から意識している項目

		歯科検診 や歯科健 康診査を うけるよ うにして いる	歯石をと ってもら うように している	かりつけ 歯科医、 かかりつ けの歯科 医院を決 めている	食事の 後、歯を みがいた り、口を すすいで いる	1本ずつ ていねい に、歯の 根もとま でみがく ようにし ている	フッ化物 入りの歯 みがき剤 を使用し ている	甘いもの を、食べ たり飲ん だりしな いように している	バランス のとれた 食事をこ ころがけ ている	よく噛ん で食べる ようにし ている	歯や歯ぐ きの健康 を特に意 識して喫 煙をしない ようにし ている	特に意識 (注意)し ていない
20歳代	男性	36.9%	41.1%	42.6%	54.6%	34.0%	27.7%	10.6%	24.1%	34.0%	16.3%	16.3%
	女性	45.6%	47.6%	46.0%	64.7%	46.8%	36.1%	8.3%	21.0%	42.9%	25.8%	6.0%
30歳代	男性	45.6%	46.2%	46.8%	59.5%	29.7%	26.6%	5.7%	22.2%	31.6%	13.3%	11.4%
	女性	56.9%	51.3%	53.9%	67.6%	45.1%	39.2%	5.9%	33.0%	39.9%	20.6%	3.6%
40歳代	男性	47.7%	51.2%	60.9%	53.7%	31.0%	26.3%	5.0%	31.3%	29.9%	19.6%	11.7%
	女性	56.8%	51.9%	70.1%	70.5%	44.7%	42.7%	5.1%	35.7%	34.4%	17.1%	5.1%
50歳代	男性	52.6%	62.1%	71.6%	60.9%	35.9%	23.9%	8.6%	29.9%	35.3%	19.8%	9.8%
	女性	57.1%	62.1%	76.4%	75.4%	48.7%	40.3%	5.9%	42.5%	36.8%	22.4%	2.8%
60歳代	男性	50.4%	58.3%	71.9%	59.3%	35.1%	19.4%	7.0%	38.6%	37.0%	21.5%	13.1%
	女性	58.6%	60.9%	84.2%	79.8%	46.7%	28.1%	5.9%	53.6%	46.4%	25.4%	7.1%
70歳代	男性	58.2%	55.8%	78.1%	64.5%	32.7%	21.9%	7.3%	46.9%	45.6%	28.2%	12.2%
	女性	61.0%	61.9%	83.3%	76.1%	46.7%	27.2%	10.8%	61.1%	56.4%	30.9%	9.0%
80歳以上	男性	54.9%	49.9%	68.8%	62.7%	29.2%	17.0%	9.2%	42.1%	51.5%	25.9%	20.1%
	女性	47.5%	43.3%	64.9%	60.2%	29.3%	18.7%	11.8%	48.6%	52.0%	22.7%	12.2%
全体	男性	51.7%	54.1%	67.6%	60.3%	32.8%	22.2%	7.6%	36.6%	39.6%	22.3%	13.4%
	女性	55.6%	55.2%	72.1%	71.4%	43.6%	31.8%	8.0%	45.9%	45.4%	24.0%	7.0%

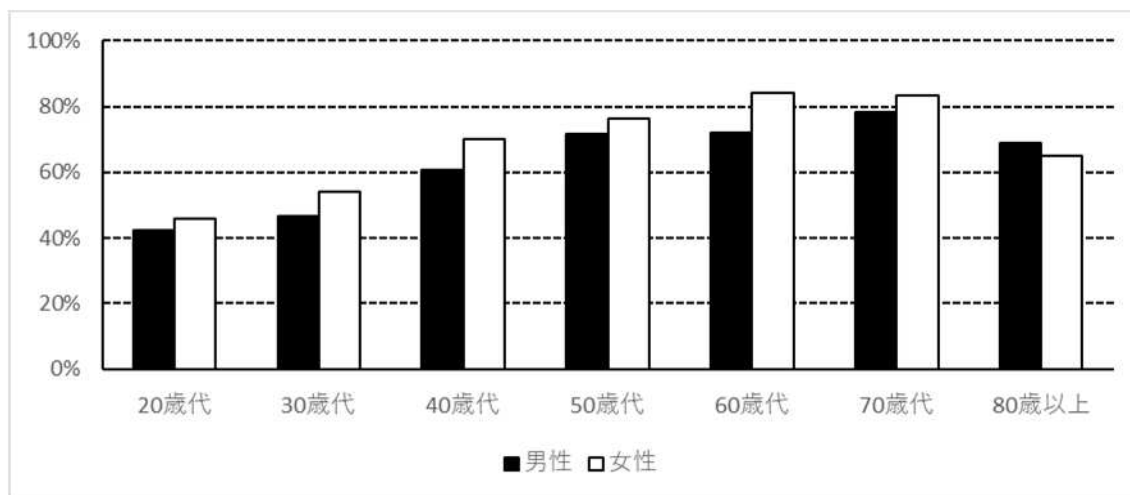
図Ⅱ-6-(4)-ウ-1 年代別・男女別による普段から意識している項目：歯科検診や歯科健康診査をうけるようにしている



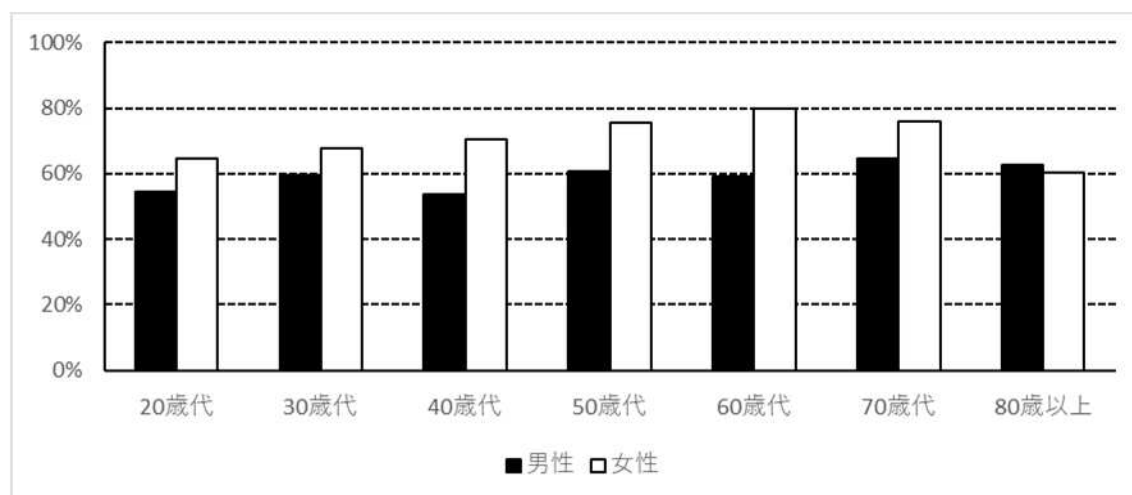
図Ⅱ-6-(4)-ウ-2 年代別・男女別による普段から意識している項目：歯石をとってもらおうようにしている



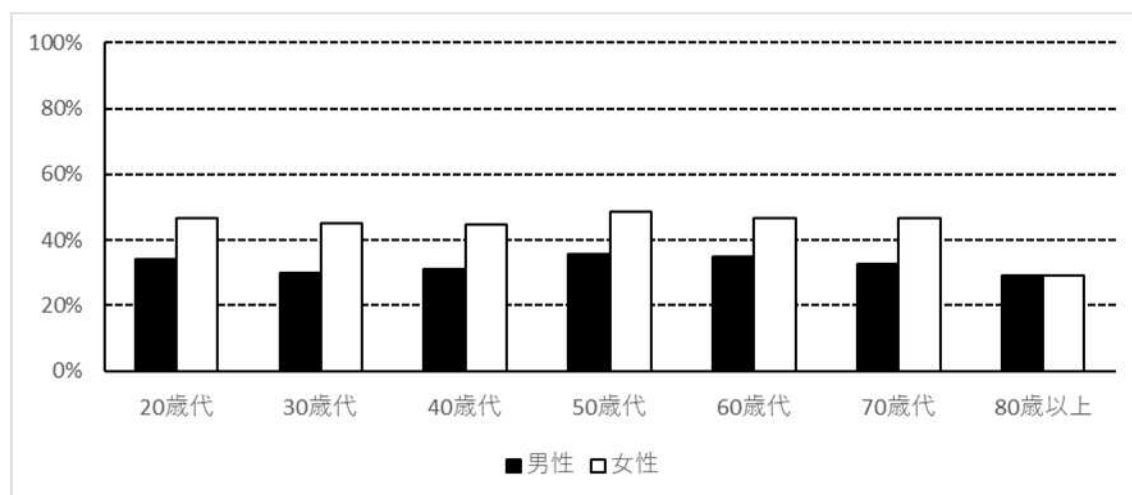
図Ⅱ-6-(4)-ウ-3 年代別・男女別による普段から意識している項目：かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている



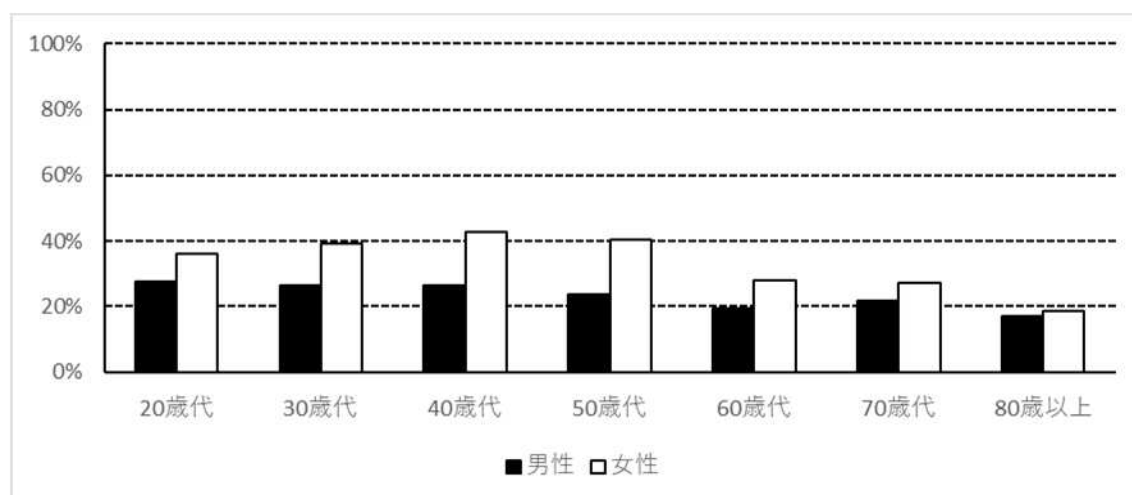
図Ⅱ-6-(4)-ウ-4 年代別・男女別による普段から意識している項目：食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている



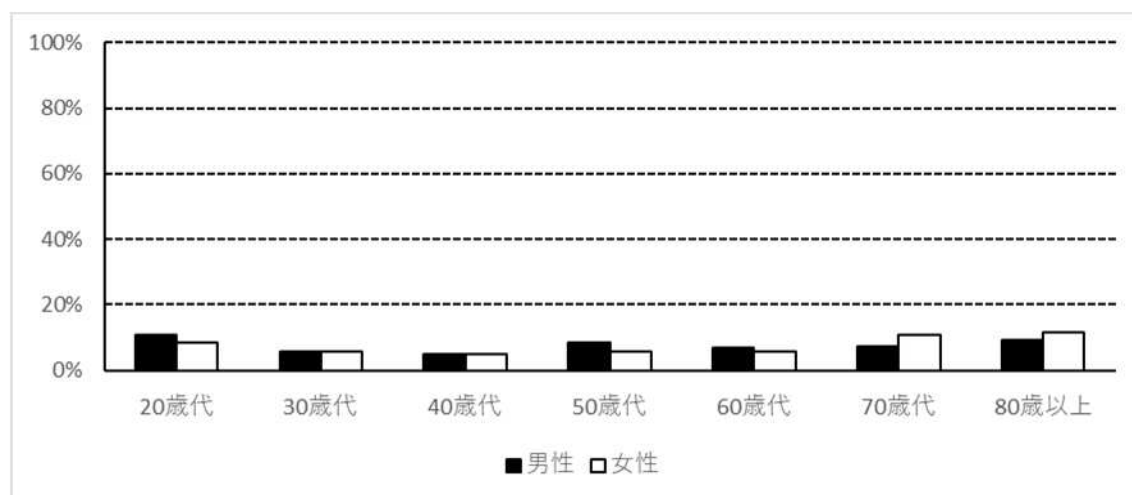
図Ⅱ-6-(4)-ウ-5 年代別・男女別による普段から意識している項目：1本ずついねいに、歯の根もとまでみがくようにしている



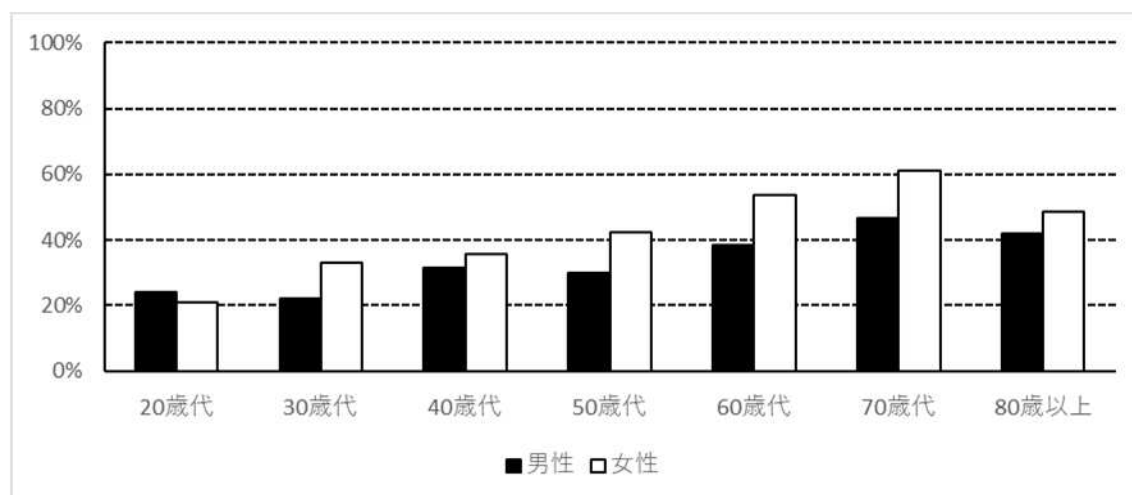
図Ⅱ-6-(4)-ウ-6 年代別・男女別による普段から意識している項目：フッ化物入りの歯みがき剤を使用している



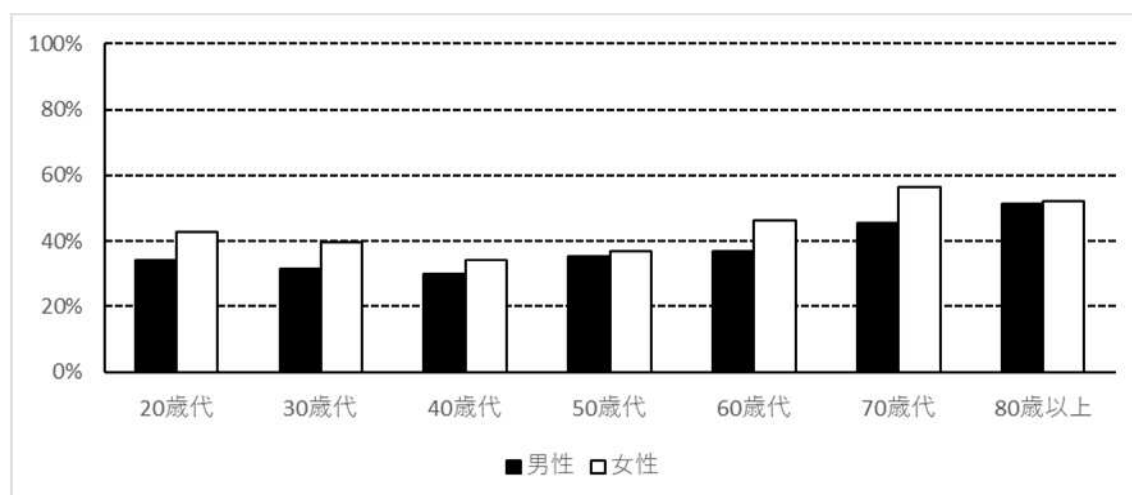
図Ⅱ-6-(4)-ウ-7 年代別・男女別による普段から意識している項目：甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている



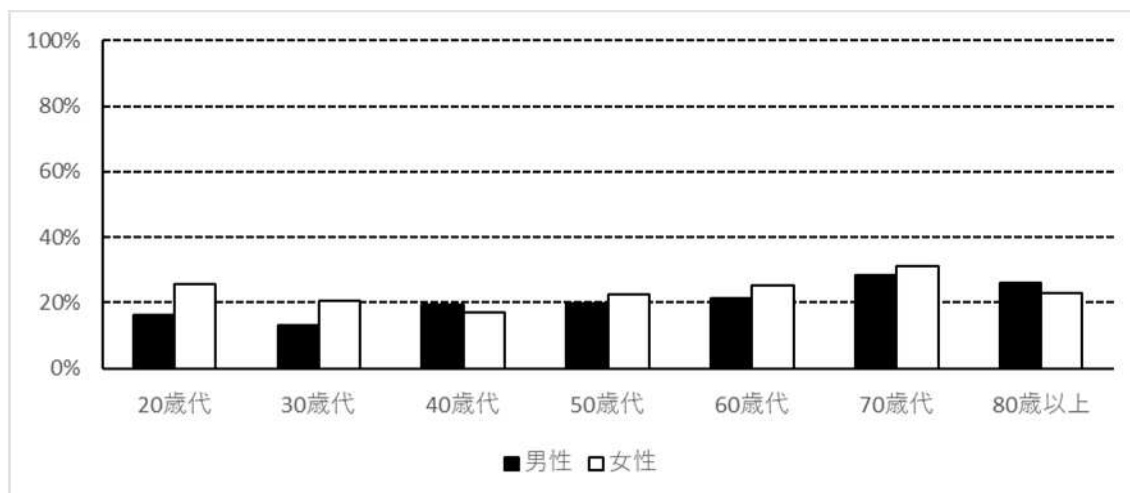
図Ⅱ-6-(4)-ウ-8 年代別・男女別による普段から意識している項目：バランスのとれた食事をこころがけている



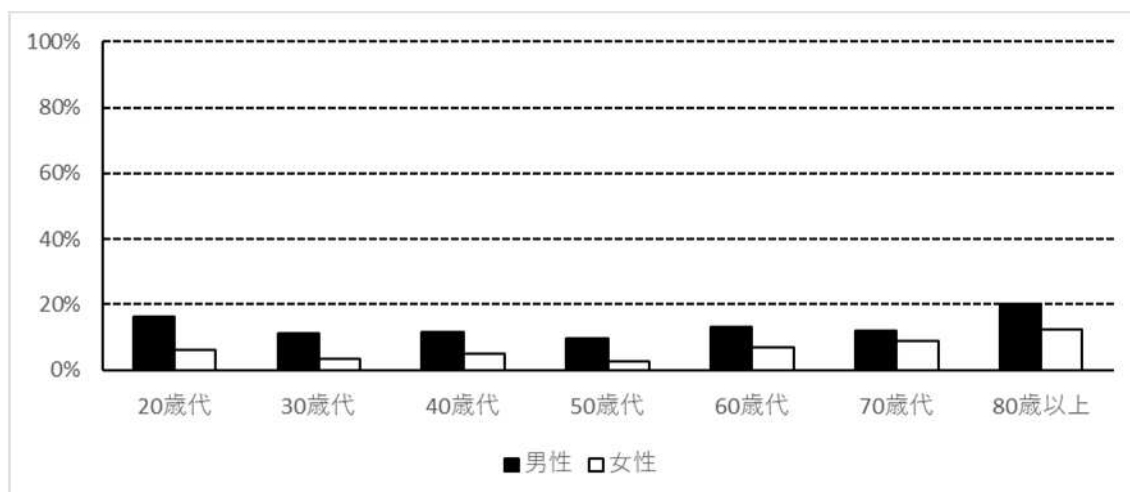
図Ⅱ-6-(4)-ウ-9 年代別・男女別による普段から意識している項目：よく噛んで食べるようにしている



図Ⅱ-6-(4)-ウ-10 年代別・男女別による普段から意識している項目：歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている



図Ⅱ-6-(4)-ウ-11 年代別・男女別による普段から意識している項目：特に意識（注意）していない



エ 歯周病と関係があると思う全身疾患（問 18 歯周病と関係があると思うもの全てに○をつけてください。）

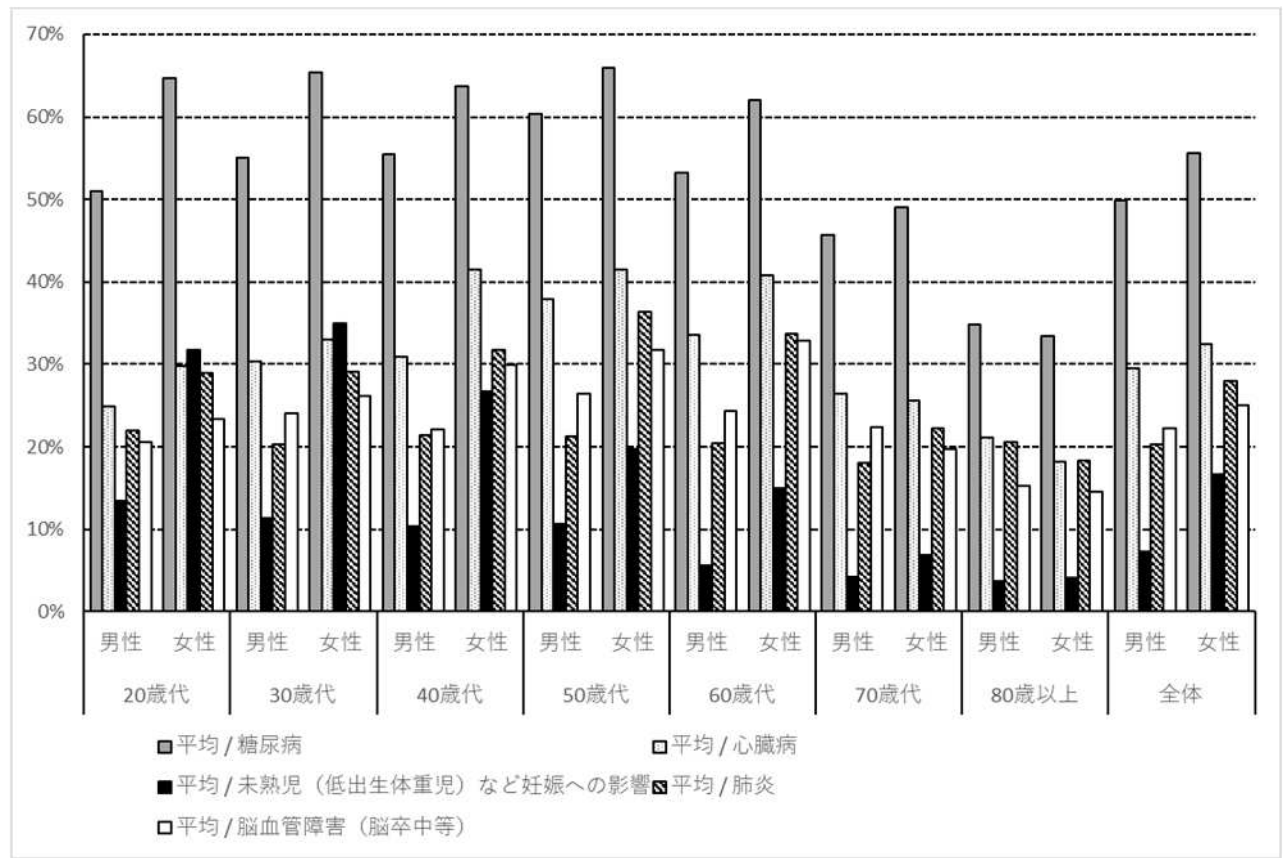
歯周病との関連があると認識されている割合が最も多い疾患は「糖尿病」であり、認識している者の割合は、全体では男性 49.9%、女性 55.6%であった。次いで男女ともに「心臓病」の認識が多かった。「妊娠への影響」については 20 歳代、30 歳代の女性においてそれぞれ 31.7%、35.0%と比較的多い認識を持っていた。いずれの疾患においても、全体的に女性における認識が多い傾向にあった（表Ⅱ-6-(4)-エ-1、図Ⅱ-6-(4)-エ-1）。

歯周病と関係があると思う全身疾患に関する知識における H23・H28 調査との比較では、「妊娠への影響」で減少傾向がうかがえた。それ以外については、概ね横ばい傾向であったが、60 歳代前後で増加していた（表Ⅱ-6-(4)-エ-2、図Ⅱ-6-(4)-エ-2～6）。

表Ⅱ-6-(4)-エ-1 年代別による歯周病と関連があると思う疾患

		糖尿病	心臓病	未熟児など 妊娠への影響	肺炎	脳血管障害 (脳卒中等)
20 歳代	男性	51.1%	24.8%	13.5%	22.0%	20.6%
	女性	64.7%	29.8%	31.7%	29.0%	23.4%
30 歳代	男性	55.1%	30.4%	11.4%	20.3%	24.1%
	女性	65.4%	33.0%	35.0%	29.1%	26.1%
40 歳代	男性	55.5%	31.0%	10.3%	21.4%	22.1%
	女性	63.7%	41.5%	26.7%	31.8%	29.9%
50 歳代	男性	60.3%	37.9%	10.6%	21.3%	26.4%
	女性	65.9%	41.5%	19.8%	36.3%	31.7%
60 歳代	男性	53.2%	33.5%	5.6%	20.4%	24.4%
	女性	62.0%	40.9%	14.9%	33.7%	32.9%
70 歳代	男性	45.6%	26.4%	4.3%	18.1%	22.3%
	女性	49.1%	25.6%	6.9%	22.2%	19.7%
80 歳以上	男性	34.8%	21.2%	3.6%	20.6%	15.3%
	女性	33.4%	18.2%	4.1%	18.3%	14.6%
全 体	男性	49.9%	29.5%	7.3%	20.3%	22.2%
	女性	55.6%	32.4%	16.7%	28.0%	25.0%

図Ⅱ-6-(4)-エ-1 年代別による歯周病と関連があると思う疾患



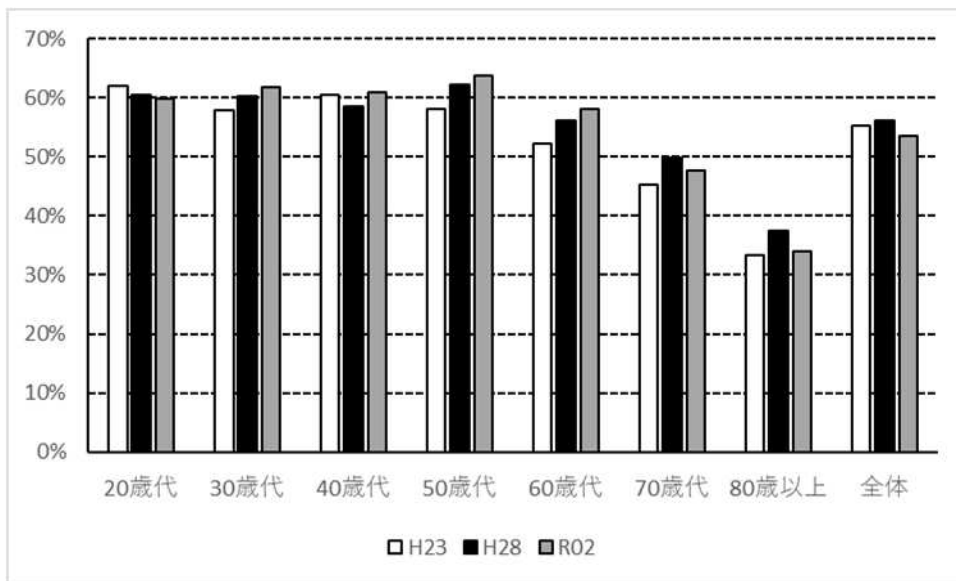
表Ⅱ-6-(4)-エ-2 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移（H23・H28調査との比較）

	調査年度	糖尿病	心臓病	未熟児など妊娠への影響	肺炎	脳血管障害 (脳卒中等)*
20歳代	R02	59.8%	28.0%	25.2%	26.5%	22.4%
	H28	60.5%	34.5%	39.5%	30.7%	25.8%
	H23	62.1%	29.1%	27.0%	25.3%	-
30歳代	R02	61.9%	32.1%	26.9%	26.1%	25.4%
	H28	60.2%	34.1%	36.4%	28.2%	23.7%
	H23	57.9%	31.0%	31.5%	25.0%	-
40歳代	R02	60.9%	37.9%	21.0%	28.2%	27.2%
	H28	58.5%	39.4%	29.5%	27.2%	28.3%
	H23	60.4%	37.6%	25.3%	22.8%	-
50歳代	R02	63.8%	40.2%	16.4%	30.7%	29.7%
	H28	62.2%	39.7%	23.1%	29.2%	29.2%
	H23	58.1%	36.0%	21.3%	26.5%	-
60歳代	R02	58.2%	37.7%	10.9%	28.0%	29.2%
	H28	56.1%	32.6%	13.6%	22.3%	24.1%
	H23	52.2%	30.6%	10.9%	17.4%	-
70歳代	R02	47.7%	25.9%	5.9%	20.6%	20.7%
	H28	49.8%	27.2%	9.6%	20.5%	17.8%
	H23	45.4%	22.4%	9.2%	15.6%	-
80歳以上	R02	33.9%	19.3%	3.9%	19.2%	14.8%
	H28	37.5%	21.2%	6.2%	13.5%	11.6%
	H23	33.3%	20.0%	4.2%	10.8%	-
全体	R02	53.5%	31.3%	13.1%	25.1%	24.0%
	H28	56.2%	33.7%	22.1%	25.0%	23.9%
	H23	55.2%	31.1%	20.0%	21.6%	-

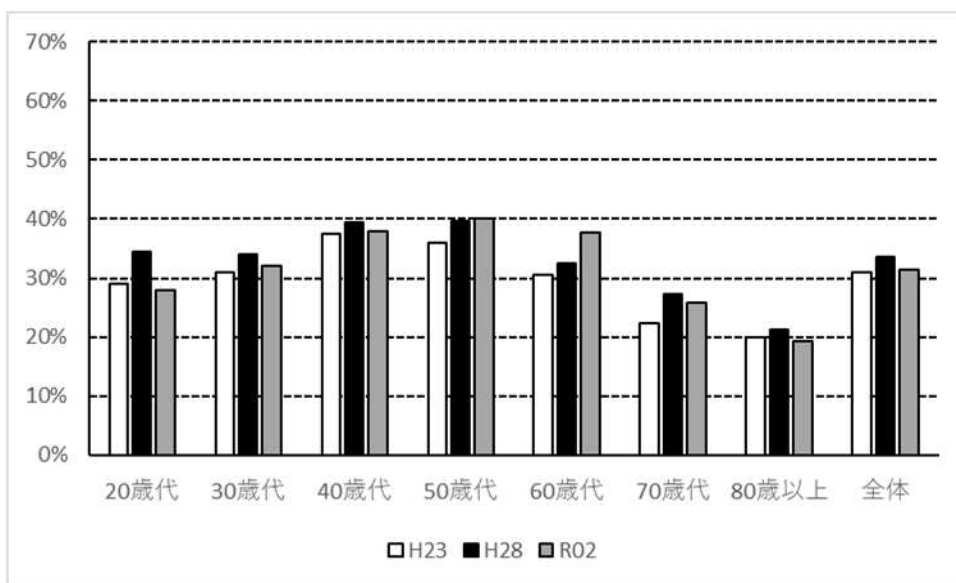
- : H23年度は未調査項目



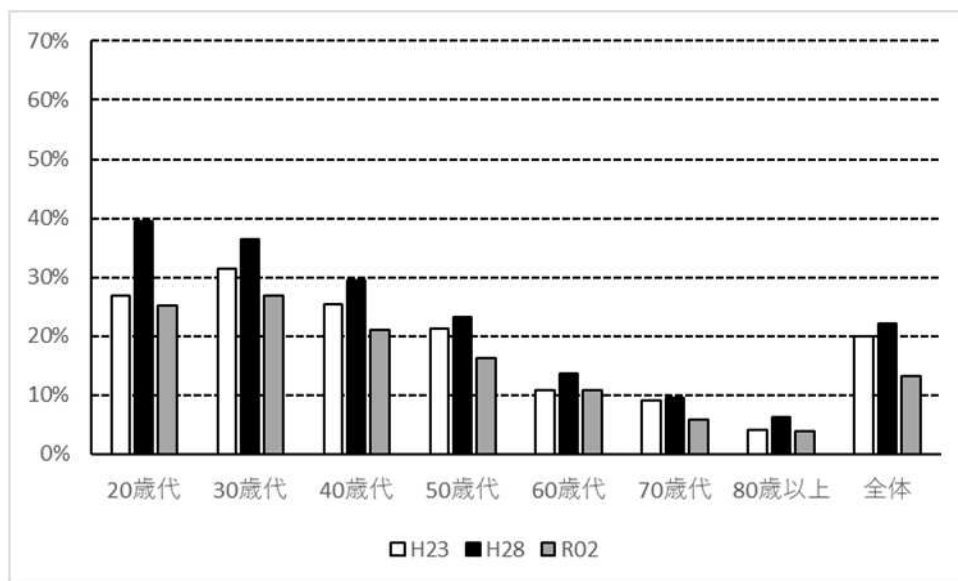
図Ⅱ-6-(4)-エ-2 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移：糖尿病（H23・H28調査との比較）



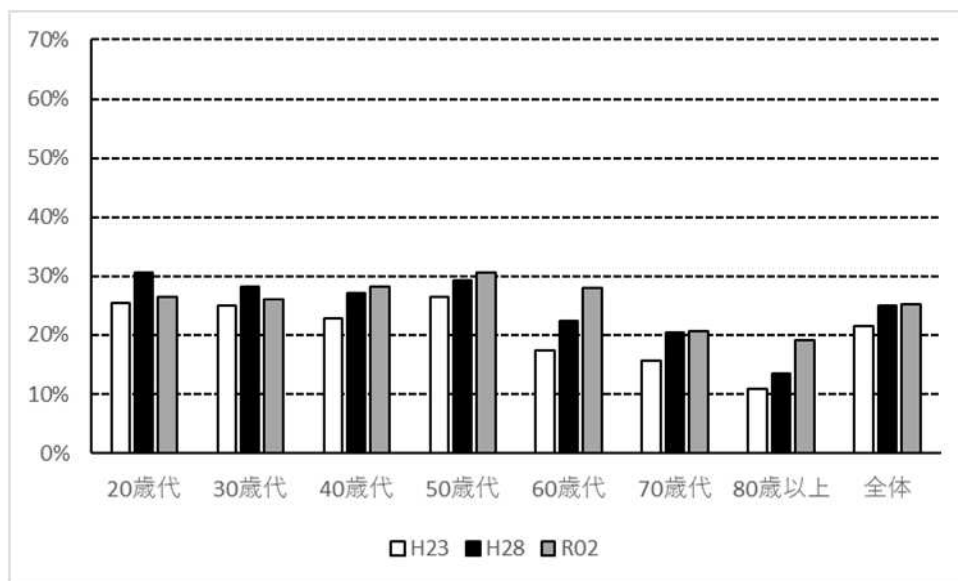
図Ⅱ-6-(4)-エ-3 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移：心臓病（H23・H28調査との比較）



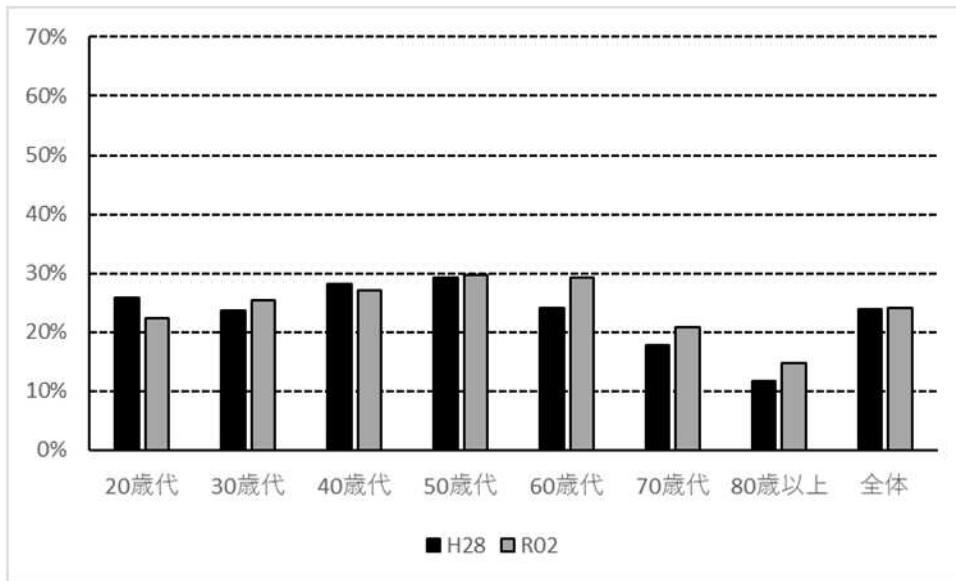
図Ⅱ-6-(4)-エ-4 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移：未熟児など妊娠への影響（H23・H28調査との比較）



図Ⅱ-6-(4)-エ-5 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移：肺炎（H23・H28調査との比較）



図Ⅱ-6-(4)-エ-6 歯周病と関連があると思う疾患への知識の推移：脳血管障害（脳卒中等）（H28 調査との比較）



## オ 歯科保健に関する言葉の認知（問 19 次の言葉をご存知ですか。）

「意味もわかる」と回答した者の割合が高かった言葉は、「歯垢」、「歯石」、「歯肉炎」、「歯周ポケット」で、それぞれ 55.4%、66.0%、57.6%、52.4%であった。（表Ⅱ-6-(4)-オ-1、1~4、図Ⅱ-6-(4)-オ-1~4）。次いで高い割合を示したのは「初期むし歯」37.6%、「8020 運動」34.3%、「キシリトール」32.1%であった。「言葉は知っている」、「意味もわかる」の合計で多かったのは「歯垢」、「歯石」、「歯肉炎」、「歯周ポケット」、「初期むし歯」、「キシリトール」で、それぞれ 89.5%、93.8%、90.2%、82.6%、74.0%、83.1%であった（表Ⅱ-6-(4)-オ-1~13、図Ⅱ-6-(4)-オ-1~14）。

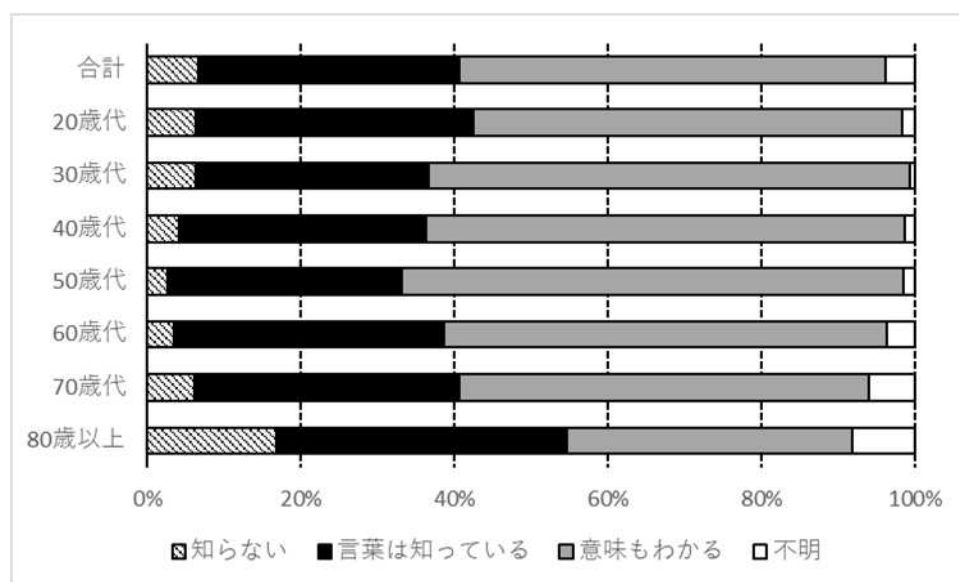
歯周病に関連する言葉である「歯垢」、「歯石」、「歯肉炎」、「歯周ポケット」は広く周知されていることがうかがえた。また、う蝕予防に関連する言葉である「初期むし歯」、「キシリトール」についても同様であるが、「再石灰化」については 47.5%と比較的認知度が低かった（表Ⅱ-6-(4)-オ-5~7、図Ⅱ-6-(4)-オ-5~7）。しかし、「再石灰化」についても 30~50 歳代で 7 割前後が「言葉は知っている」、「意味もわかる」と回答しており、周知は進みつつあると考えられる。「フッ化物洗口」について、「言葉は知っている」、「意味もわかる」との回答を合わせた割合は、44.2%であり、約半数の者、特に 50 歳代までの若い世代に認知されていた（表Ⅱ-6-(4)-オ-8、図Ⅱ-6-(4)-オ-8）。

○歯垢に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-1 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯垢

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	6.4%	36.1%	55.7%	1.8%
30歳代	6.3%	30.4%	62.7%	0.6%
40歳代	4.1%	32.2%	62.4%	1.4%
50歳代	2.6%	30.5%	65.4%	1.5%
60歳代	3.4%	35.2%	57.8%	3.6%
70歳代	6.0%	34.6%	53.4%	6.0%
80歳以上	16.8%	37.8%	37.2%	8.2%
全体	6.6%	34.0%	55.4%	3.9%

図Ⅱ-6-(4)-オ-1 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯垢

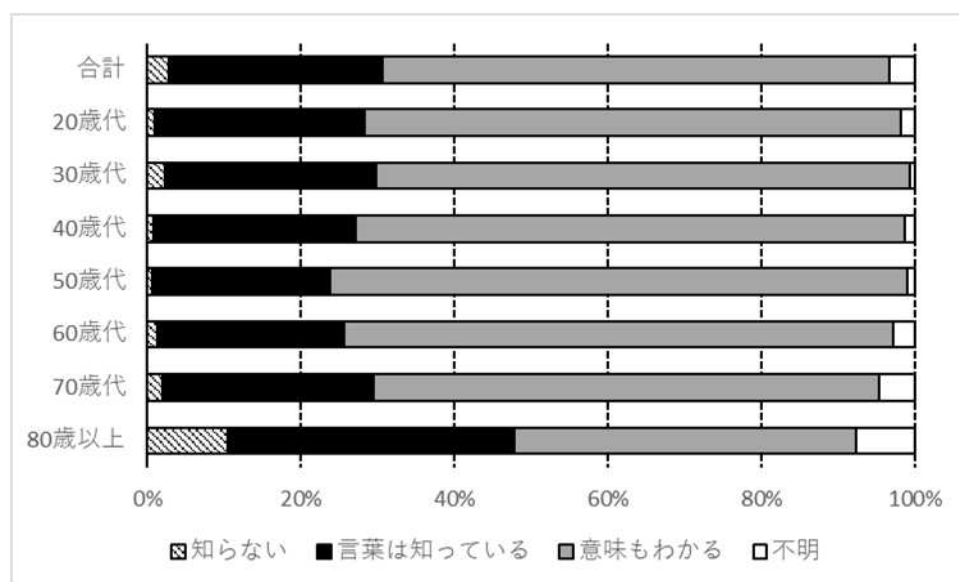


○歯石に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-2 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯石

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	1.0%	27.2%	70.0%	1.8%
30歳代	2.4%	27.4%	69.6%	0.6%
40歳代	0.9%	26.3%	71.5%	1.4%
50歳代	0.6%	23.1%	75.2%	1.0%
60歳代	1.3%	24.3%	71.5%	2.8%
70歳代	1.9%	27.6%	65.9%	4.6%
80歳以上	10.4%	37.4%	44.5%	7.6%
全体	2.9%	27.8%	66.0%	3.3%

図Ⅱ-6-(4)-オ-2 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯石

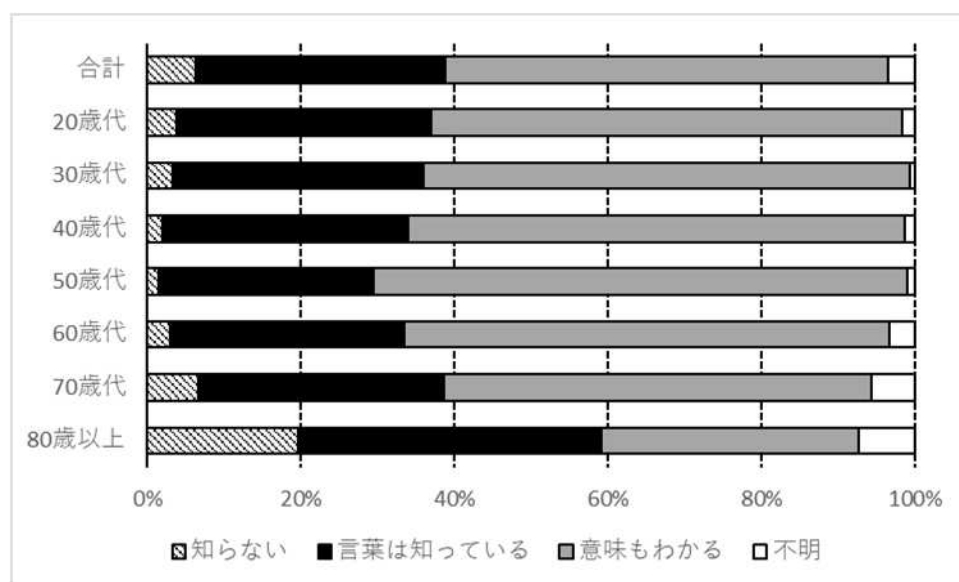


○歯肉炎に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-3 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯肉炎

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	3.8%	33.1%	61.3%	1.8%
30歳代	3.2%	32.8%	63.4%	0.6%
40歳代	2.0%	32.0%	64.7%	1.4%
50歳代	1.5%	27.9%	69.6%	1.0%
60歳代	2.9%	30.6%	63.1%	3.3%
70歳代	6.6%	32.0%	55.8%	5.6%
80歳以上	19.7%	39.5%	33.5%	7.3%
全体	6.3%	32.5%	57.6%	3.5%

図Ⅱ-6-(4)-オ-3 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯肉炎

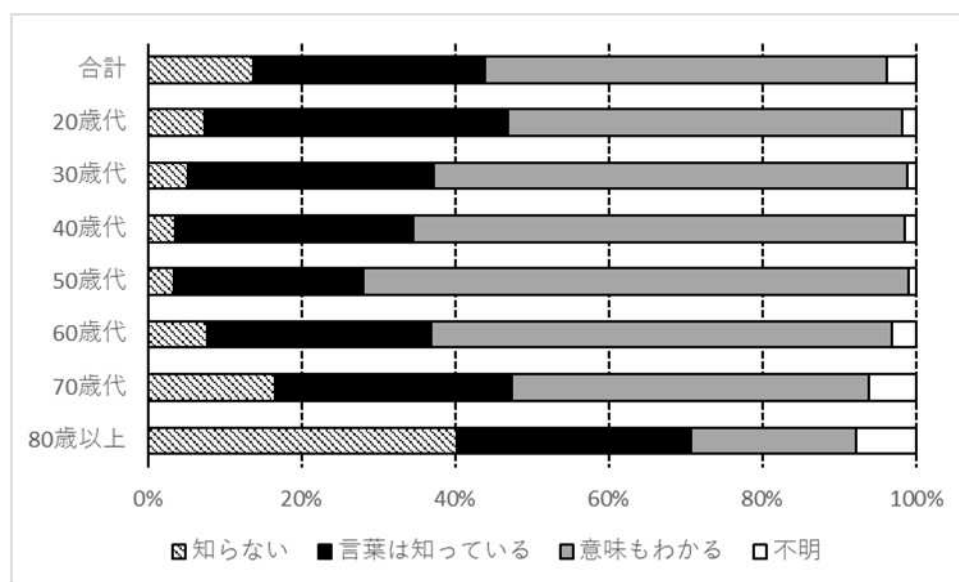


○歯周ポケットに関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-4 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯周ポケット

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20 歳代	7.4%	39.4%	51.4%	1.8%
30 歳代	5.2%	32.1%	61.6%	1.1%
40 歳代	3.6%	31.0%	64.1%	1.4%
50 歳代	3.4%	24.5%	71.0%	1.0%
60 歳代	7.8%	29.1%	60.0%	3.1%
70 歳代	16.5%	30.8%	46.6%	6.0%
80 歳以上	40.2%	30.5%	21.6%	7.7%
全 体	13.7%	30.2%	52.4%	3.7%

図Ⅱ-6-(4)-オ-4 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：歯周ポケット



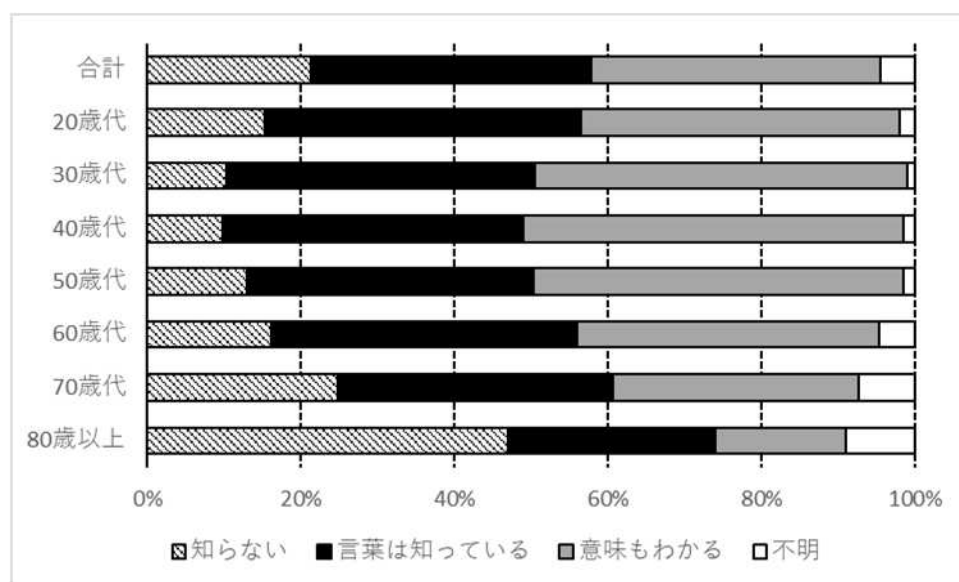


○初期むし歯に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-5 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：初期むし歯

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20 歳代	15.3%	41.2%	41.5%	2.0%
30 歳代	10.3%	40.1%	48.5%	1.1%
40 歳代	9.8%	39.1%	49.4%	1.6%
50 歳代	12.9%	37.4%	48.2%	1.5%
60 歳代	16.2%	39.8%	39.4%	4.6%
70 歳代	24.8%	35.9%	31.9%	7.4%
80 歳以上	46.9%	27.0%	17.1%	9.0%
全 体	21.4%	36.4%	37.6%	4.6%

図Ⅱ-6-(4)-オ-5 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：初期むし歯

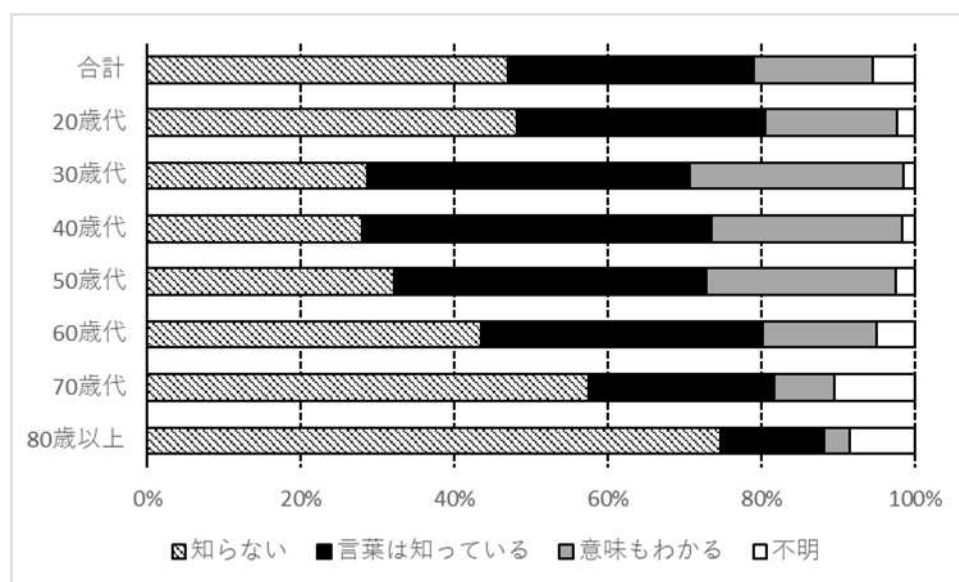


○再石灰化に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-6 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：再石灰化

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	48.1%	32.3%	17.3%	2.3%
30歳代	28.7%	42.0%	27.8%	1.5%
40歳代	27.9%	45.6%	24.7%	1.7%
50歳代	32.2%	40.7%	24.7%	2.5%
60歳代	43.5%	36.6%	14.9%	4.9%
70歳代	57.5%	24.1%	7.9%	10.6%
80歳以上	74.6%	13.5%	3.3%	8.5%
全体	47.0%	32.0%	15.5%	5.5%

図Ⅱ-6-(4)-オ-6 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：再石灰化

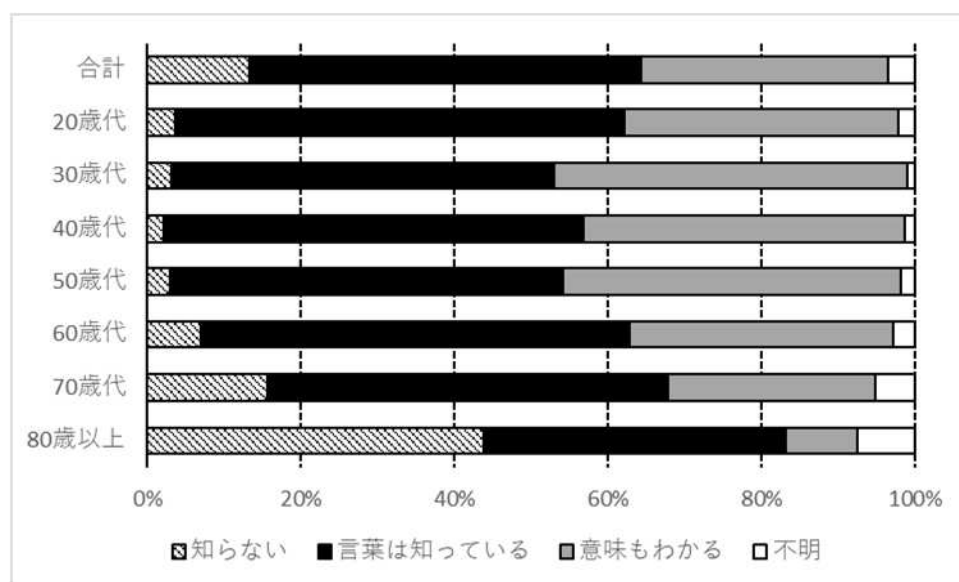


○キシリトールに関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-7 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：キシリトール

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	3.6%	58.5%	35.6%	2.3%
30歳代	3.0%	50.0%	45.9%	1.1%
40歳代	2.1%	54.7%	41.8%	1.4%
50歳代	3.0%	51.1%	44.0%	1.8%
60歳代	6.9%	55.9%	34.4%	2.8%
70歳代	15.6%	52.2%	27.0%	5.2%
80歳以上	43.8%	39.2%	9.3%	7.6%
全体	13.2%	51.0%	32.1%	3.6%

図Ⅱ-6-(4)-オ-7 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：キシリトール

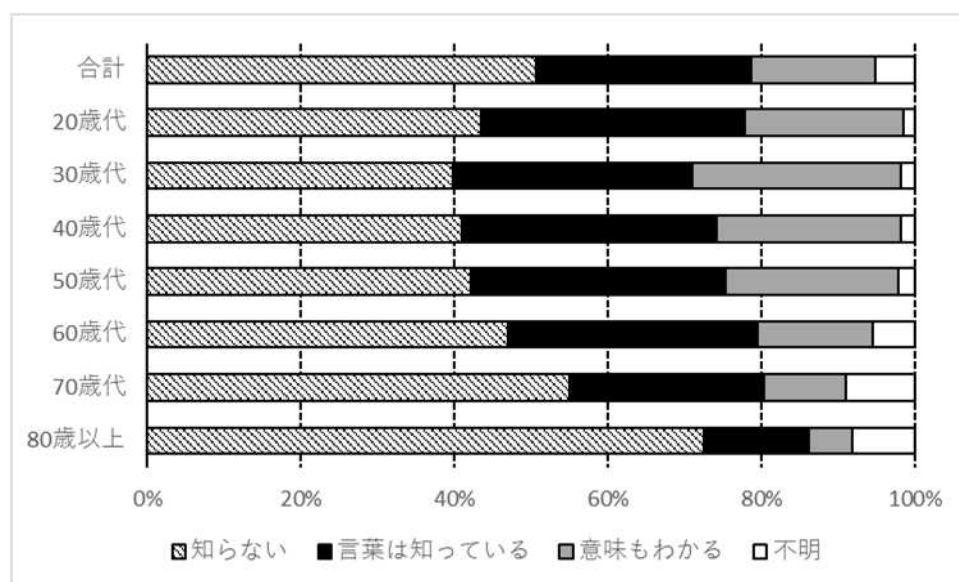


○フッ化物洗口に関して

表Ⅱ-6-(4)-オ-8 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：フッ化物洗口

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20 歳代	43.5%	34.4%	20.6%	1.5%
30 歳代	39.9%	31.0%	27.2%	1.9%
40 歳代	41.0%	33.2%	24.0%	1.8%
50 歳代	42.1%	33.2%	22.6%	2.2%
60 歳代	47.0%	32.5%	15.1%	5.5%
70 歳代	54.9%	25.3%	10.7%	9.1%
80 歳以上	72.5%	13.5%	5.7%	8.2%
全 体	50.6%	27.9%	16.3%	5.1%

図Ⅱ-6-(4)-オ-8 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：フッ化物洗口



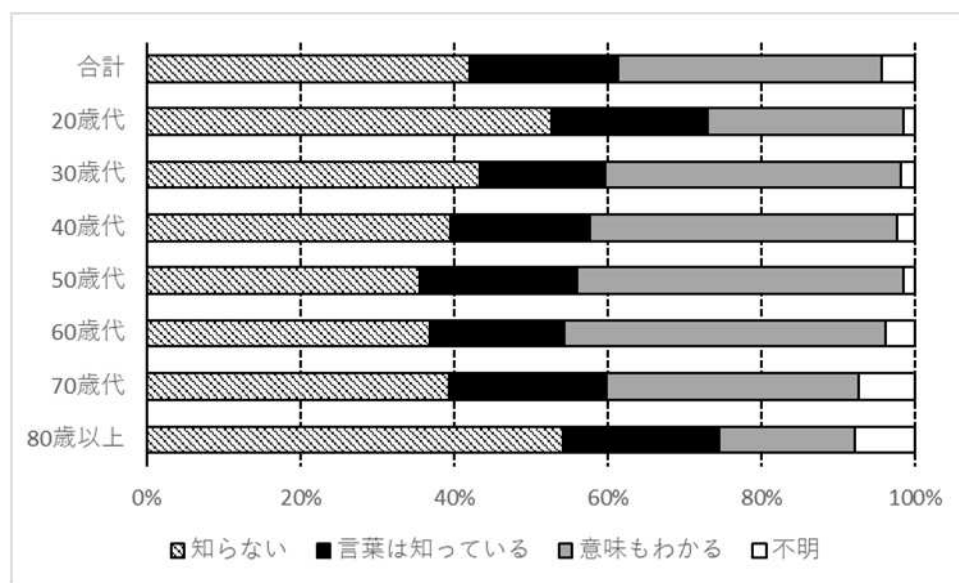
## ○8020 運動に関して

「8020 運動」について、「言葉は知っている」「意味もわかる」と回答した者の割合の合計は 53.6%であり、20 歳代と 80 歳以上を除き、50 歳代の 63.1%をピークに、70 歳代まで半数以上の者が認知していた（表Ⅱ-6-(4)-オ-9、図Ⅱ-6-(4)-オ-9）。

表Ⅱ-6-(4)-オ-9 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：8020 運動

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20 歳代	52.7%	20.4%	25.4%	1.5%
30 歳代	43.3%	16.4%	38.6%	1.7%
40 歳代	39.5%	18.2%	40.0%	2.3%
50 歳代	35.5%	20.6%	42.5%	1.4%
60 歳代	36.9%	17.5%	41.9%	3.7%
70 歳代	39.3%	20.6%	32.9%	7.2%
80 歳以上	54.2%	20.4%	17.8%	7.7%
全 体	42.1%	19.3%	34.3%	4.3%

図Ⅱ-6-(4)-オ-9 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：8020 運動



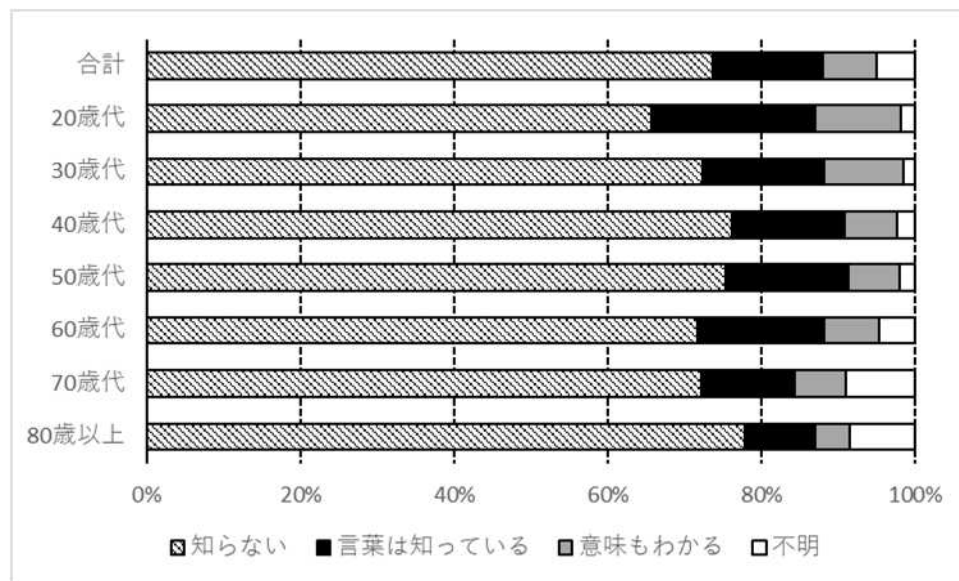
○健康日本 21 に関して

一方、「健康日本 21」については、73.7%の者が「知らない」と回答しており、認知度が低いことが示された（表Ⅱ-6-(4)-オ-10、図Ⅱ-6-(4)-オ-10）。

表Ⅱ-6-(4)-オ-10 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：健康日本 21

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20 歳代	65.6%	21.4%	11.2%	1.8%
30 歳代	72.4%	15.7%	10.3%	1.5%
40 歳代	76.1%	14.8%	6.9%	2.2%
50 歳代	75.3%	16.0%	6.7%	1.9%
60 歳代	71.7%	16.6%	7.2%	4.5%
70 歳代	72.2%	12.2%	6.8%	8.9%
80 歳以上	77.9%	9.1%	4.4%	8.5%
全 体	73.7%	14.3%	7.0%	5.0%

図Ⅱ-6-(4)-オ-10 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：健康日本 21



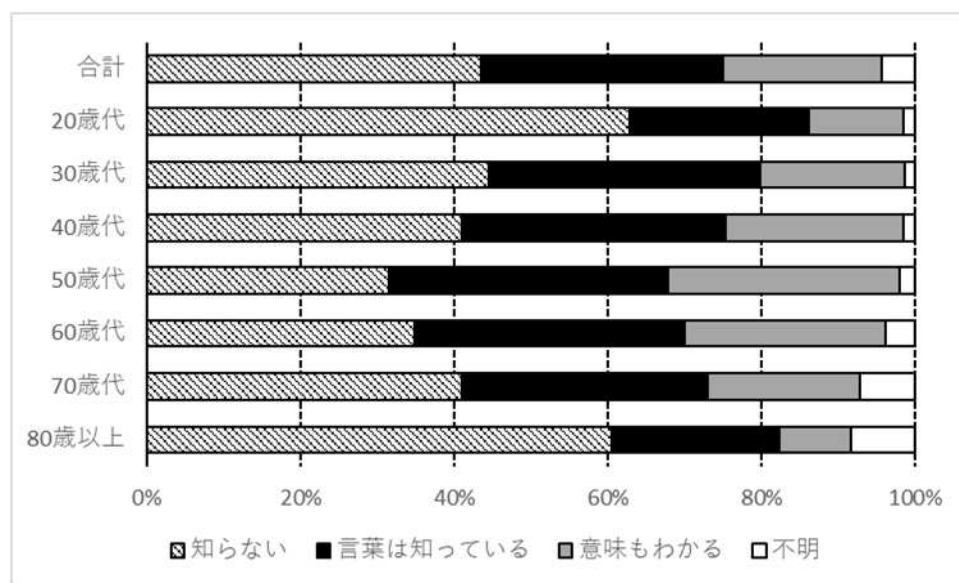
## ○未病に関して

神奈川県健康政策に関する言葉である「未病」について、「言葉は知っている」「意味もわかる」と回答した者の割合の合計で、20歳代と80歳以上を除き、50歳代の66.5%をピークに、70歳代まで半数以上の者が認知していた（表Ⅱ-6-(4)-オ-11、図Ⅱ-6-(4)-オ-11）。

表Ⅱ-6-(4)-オ-11 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：未病

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	62.8%	23.4%	12.2%	1.5%
30歳代	44.6%	35.3%	18.8%	1.3%
40歳代	41.1%	34.3%	23.1%	1.5%
50歳代	31.5%	36.4%	30.1%	1.9%
60歳代	34.8%	35.2%	26.2%	3.8%
70歳代	41.1%	31.9%	19.9%	7.1%
80歳以上	60.6%	21.8%	9.4%	8.2%
全体	43.6%	31.5%	20.7%	4.3%

図Ⅱ-6-(4)-オ-11 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：未病



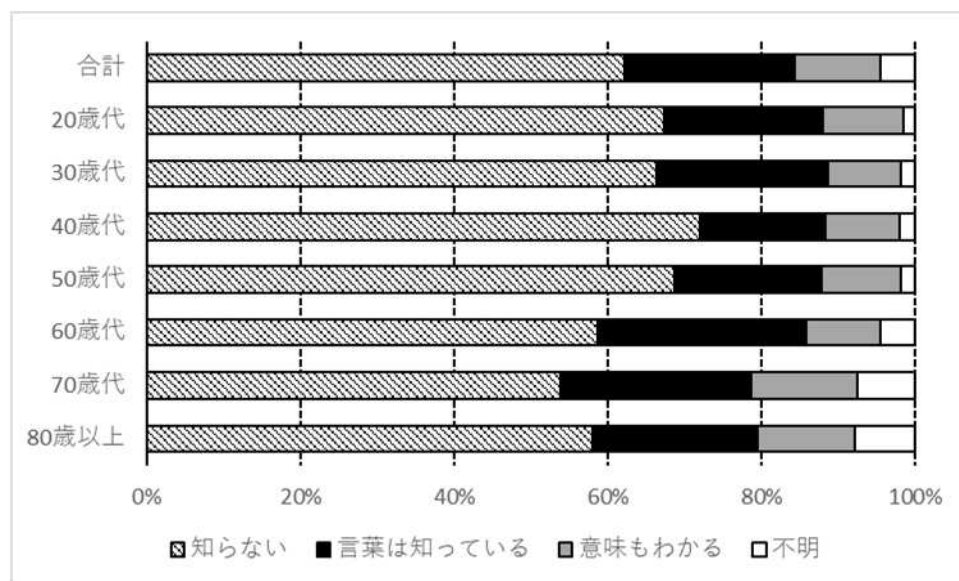
○健口体操に関して

「健口体操」については、62.2%の者が「知らない」と回答しており、「言葉は知っている」22.1%、「意味もわかる」11.2%であった（表Ⅱ-6-(4)-オ-12、図Ⅱ-6-(4)-オ-12）。

表Ⅱ-6-(4)-オ-12 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：健口体操

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	67.4%	20.6%	10.4%	1.5%
30歳代	66.4%	22.4%	9.5%	1.7%
40歳代	72.1%	16.4%	9.6%	2.0%
50歳代	68.8%	19.2%	10.3%	1.7%
60歳代	58.7%	27.3%	9.6%	4.4%
70歳代	53.9%	24.7%	14.0%	7.4%
80歳以上	58.0%	21.6%	12.6%	7.8%
全体	62.2%	22.1%	11.2%	4.5%

図Ⅱ-6-(4)-オ-12 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：健口体操





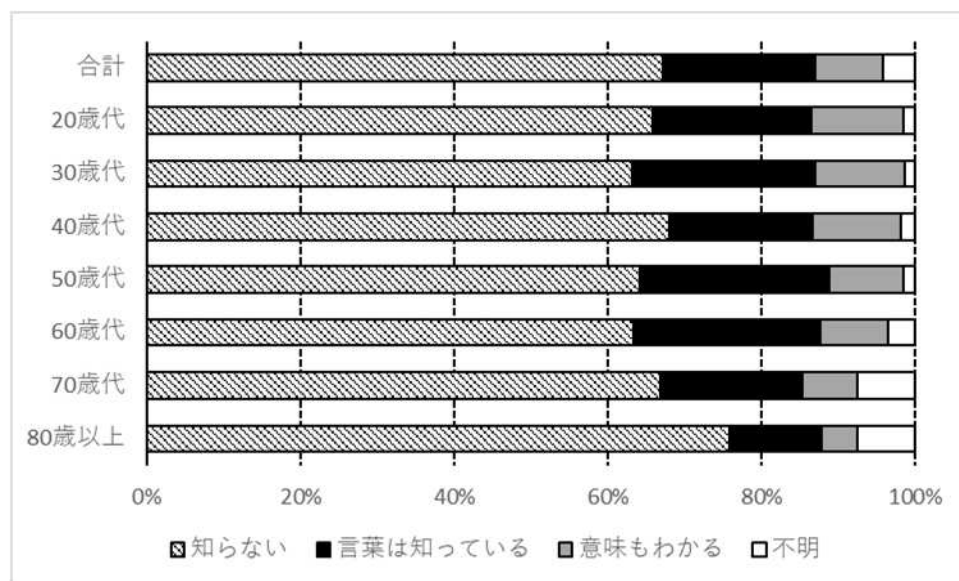
## ○オーラルフレイルに関して

「オーラルフレイル」については、比較的新しい言葉ではあるが、「言葉は知っている」「意味もわかる」と回答した者の割合の合計で28.6%であった（表Ⅱ-6-(4)-オ-13、図Ⅱ-6-(4)-オ-13）。

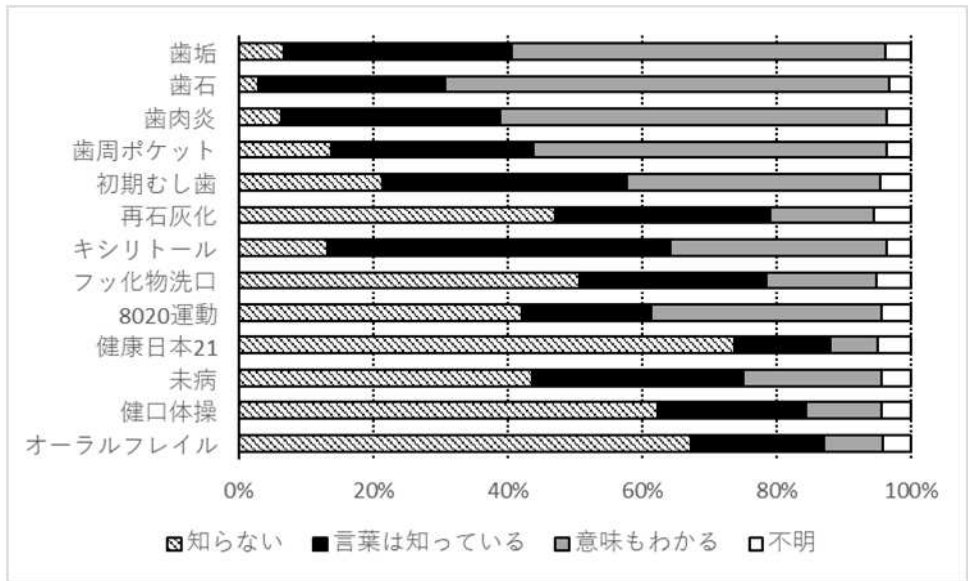
表Ⅱ-6-(4)-オ-13 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：オーラルフレイル

	知らない	言葉は知っている	意味もわかる	不明
20歳代	65.9%	20.6%	12.0%	1.5%
30歳代	63.1%	23.9%	11.6%	1.3%
40歳代	68.0%	18.7%	11.4%	1.8%
50歳代	64.3%	24.5%	9.7%	1.5%
60歳代	63.4%	24.2%	8.9%	3.4%
70歳代	66.9%	18.4%	7.2%	7.5%
80歳以上	75.9%	11.9%	4.6%	7.5%
全体	67.2%	19.9%	8.7%	4.2%

図Ⅱ-6-(4)-オ-13 年代別による歯科保健に関する言葉の認知：オーラルフレイル

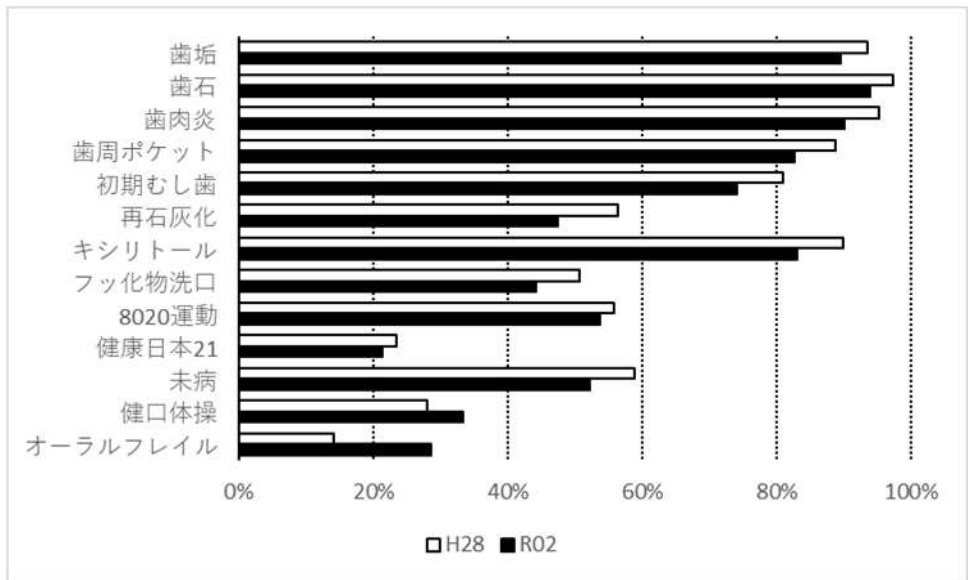


図Ⅱ-6-(4)-オ-14 年代別による歯科保健に関する言葉の認知



H28 調査との比較では、「健口体操」と「オーラルフレイル」を除くすべての言葉で「言葉を知っている」と「意味もわかる」の合計が減少した。年齢の高い被調査者が増加したため、歯科医院で知ることができて高齢者が対象となる「健口体操」と「オーラルフレイル」の認知度のみ上昇した可能性が考えられる（図Ⅱ-6-(4)-オ-15）。

図Ⅱ-6-(4)-オ-15 年代別による歯科保健に関する言葉の認知度の推移（H28 調査との比較）



\* 「言葉は知っている」と「意味もわかる」の合計

## カ オーラルフレイルの危険性（問 20 オーラルフレイルのスクリーニング問診票）

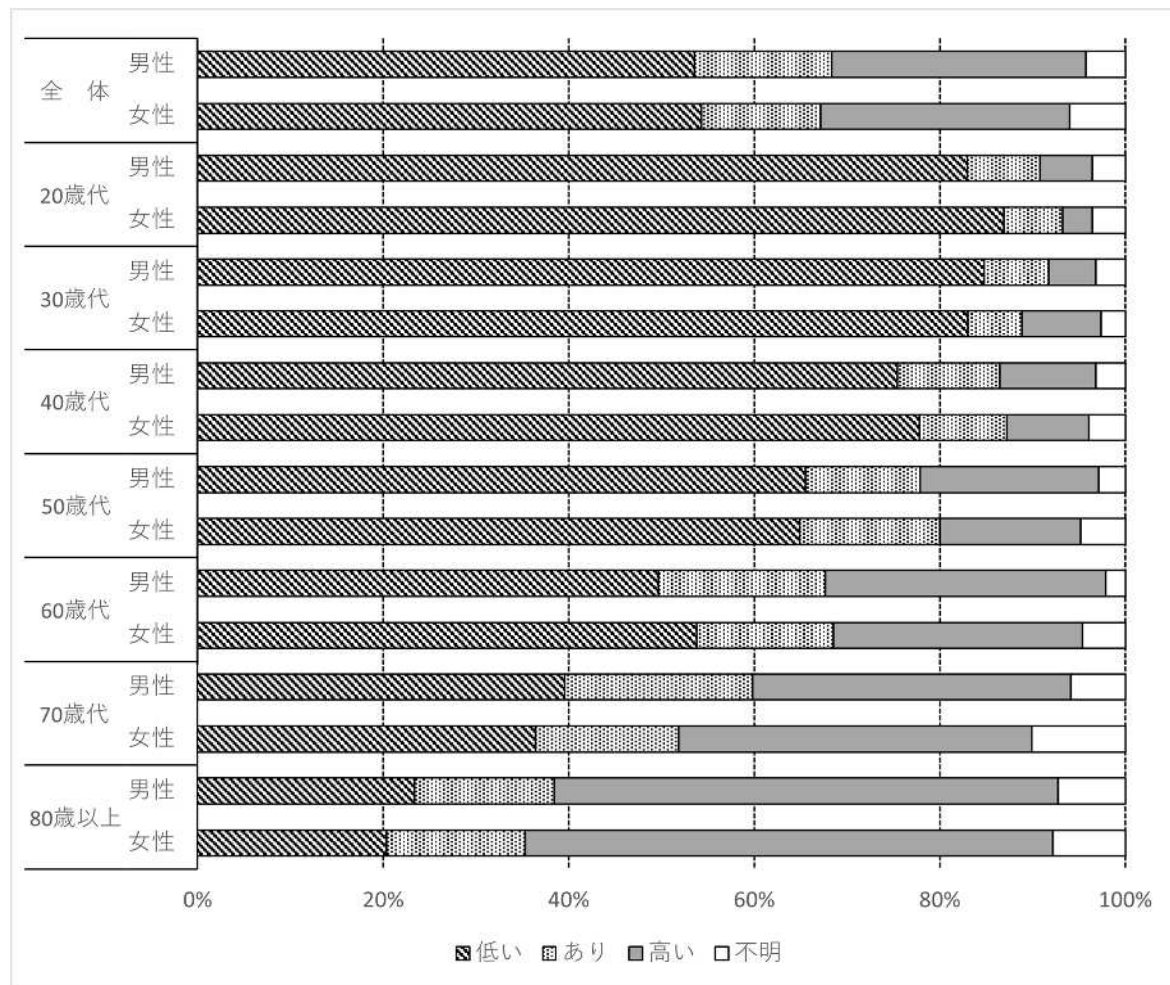
オーラルフレイルのスクリーニング問診票から得られたオーラルフレイルの危険性（0～2点：低い、3点：あり、4点以上：高い、最高11点）は、「低い」は年代が上がるにつれて80歳以上で20%台まで減少し、逆に「あり」、「高い」はそれぞれ約15%、約55%まで増加していた（表Ⅱ-6-(4)-カ-1、図Ⅱ-6-(4)-カ-1）。

質問項目のうち、「半年前と比べて堅いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物でむせることがある」、「義歯を使用している」、「口の乾きが気になる」と回答した者については、年代が上がるにつれて増加していた。一方、「さきいか・たくあんくらいの堅さの食べ物を噛むことができる」と回答した者は、年代が上がるにつれて減少していた。「半年前と比べて、外出が少なくなった」は男女ともに60歳代まで、「1日2回以上歯を磨く」は女性で60歳代まで、男性で40～70歳代まで概ね横ばい傾向であった。「1年に1回以上、歯科医院を受診している」は年代が上がるにつれて若干増加傾向であったが、20歳代では男性70.6%、女性75.3%であり、80歳以上では男性79.0%、女性80.3%とその差は小さかった（図Ⅱ-6-(4)-カ-2～9）。

表Ⅱ-6-(4)-カ-1 年代別・男女別によるオーラルフレイルの危険性

		低い (0～2点)	あり (3点)	高い (4点以上)	不明
20歳代	男性	83.0%	7.8%	5.7%	3.5%
	女性	86.9%	6.3%	3.2%	3.6%
30歳代	男性	84.8%	7.0%	5.1%	3.2%
	女性	83.0%	5.9%	8.5%	2.6%
40歳代	男性	75.4%	11.0%	10.3%	3.2%
	女性	77.8%	9.4%	8.8%	3.9%
50歳代	男性	65.5%	12.4%	19.3%	2.9%
	女性	64.9%	15.1%	15.1%	4.8%
60歳代	男性	49.6%	18.0%	30.2%	2.1%
	女性	53.8%	14.7%	26.8%	4.6%
70歳代	男性	39.6%	20.3%	34.3%	5.9%
	女性	36.3%	15.4%	38.3%	10.1%
80歳以上	男性	23.4%	15.0%	54.3%	7.2%
	女性	20.4%	14.9%	56.9%	7.8%
全体	男性	53.6%	14.8%	27.4%	4.2%
	女性	54.3%	12.9%	26.8%	6.0%

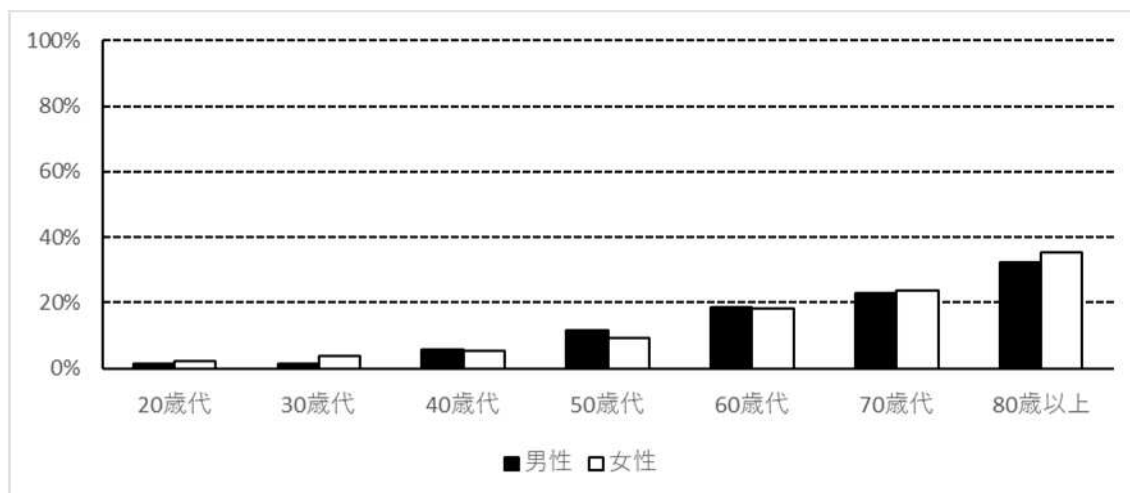
図Ⅱ-6-(4)-カ-1 年代別・男女別によるオーラルフレイルの危険性



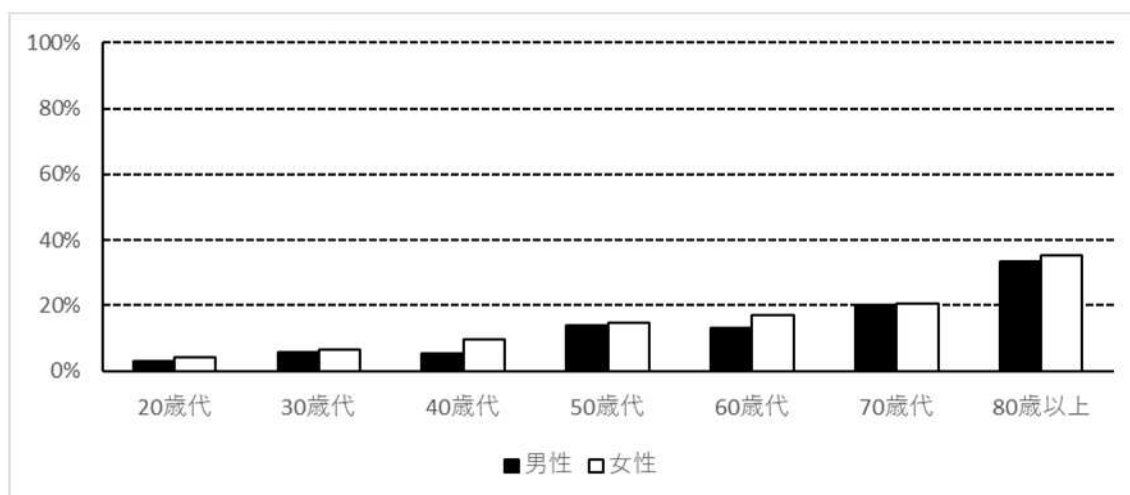
表Ⅱ-6-(4)-カ-2 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目

		半年前と比べて、 堅いものが食べにくくなった	お茶や汁物でむせることがある	義歯を使用している	口の乾きが気になる	半年前と比べて、 外出が少なくなった	さきいか・たくあんく らいの堅さの食べ物を噛むことができる	1日2回以上歯を磨く	1年に1回以上、 歯科医院を受診している
20 歳代	男性	1.5%	2.9%	2.9%	16.9%	43.4%	96.3%	84.6%	70.6%
	女性	2.1%	4.1%	0.4%	9.5%	34.6%	93.0%	91.4%	75.3%
30 歳代	男性	1.3%	5.9%	5.9%	13.7%	37.9%	92.2%	88.2%	71.9%
	女性	3.7%	6.7%	4.4%	15.4%	50.7%	92.3%	90.6%	71.8%
40 歳代	男性	5.9%	5.5%	11.8%	13.2%	39.0%	92.3%	79.4%	66.5%
	女性	5.5%	9.6%	7.8%	18.2%	49.5%	93.5%	94.7%	75.5%
50 歳代	男性	11.5%	13.9%	23.1%	20.4%	40.8%	87.6%	79.3%	75.1%
	女性	9.4%	14.8%	19.7%	22.8%	43.0%	91.3%	92.8%	79.6%
60 歳代	男性	18.7%	13.2%	42.6%	22.0%	40.2%	80.1%	75.1%	75.4%
	女性	18.1%	17.1%	34.5%	25.5%	46.0%	85.8%	89.2%	80.1%
70 歳代	男性	23.1%	20.0%	56.0%	23.3%	41.6%	76.1%	76.5%	82.5%
	女性	23.8%	20.8%	52.0%	29.3%	54.3%	72.9%	86.4%	82.3%
80 歳以上	男性	32.1%	33.6%	69.7%	25.2%	54.1%	59.5%	67.6%	79.0%
	女性	35.4%	35.2%	69.0%	39.5%	62.4%	52.0%	73.6%	80.3%
全 体	男性	16.6%	15.8%	37.5%	20.5%	42.7%	80.7%	77.0%	75.8%
	女性	16.5%	17.6%	32.5%	25.1%	50.1%	80.5%	87.6%	78.7%

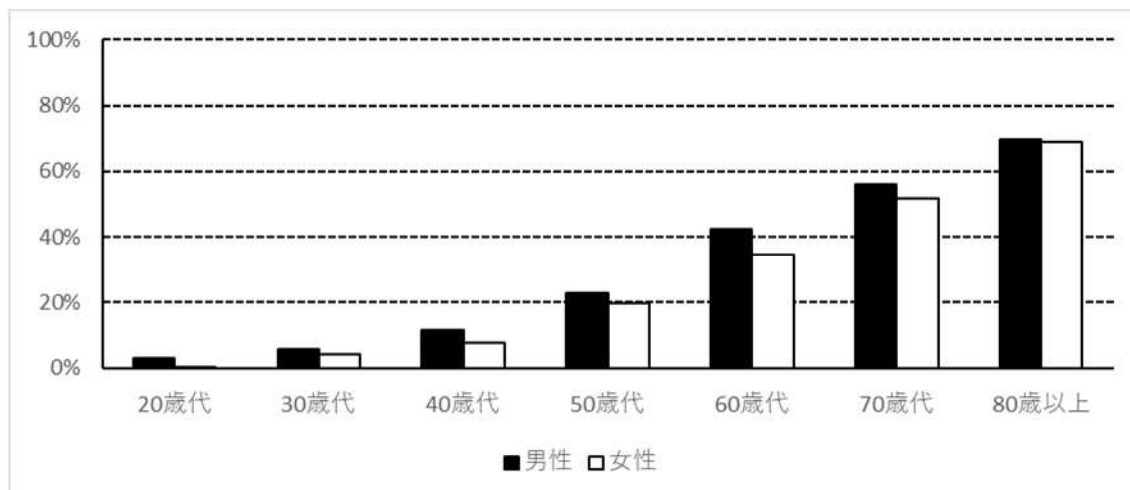
図Ⅱ-6-(4)-カ-2 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった



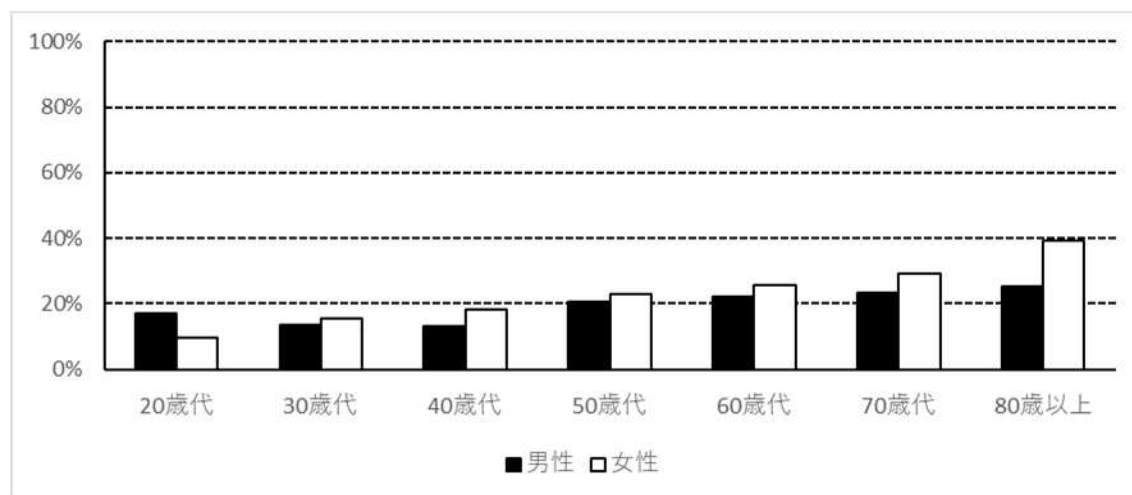
図Ⅱ-6-(4)-カ-3 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：お茶や汁物でむせることがある



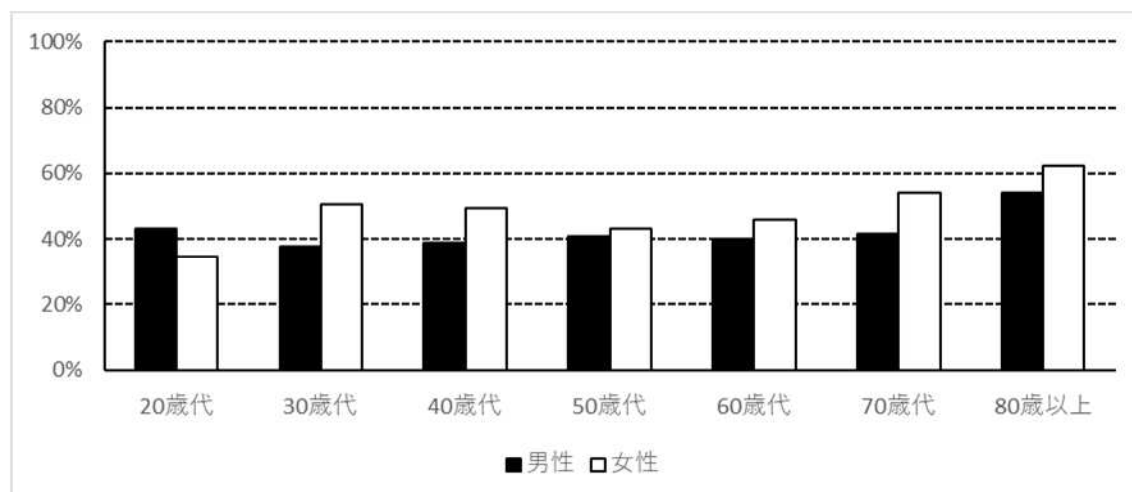
図Ⅱ-6-(4)-カ-4 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：義歯を使用している



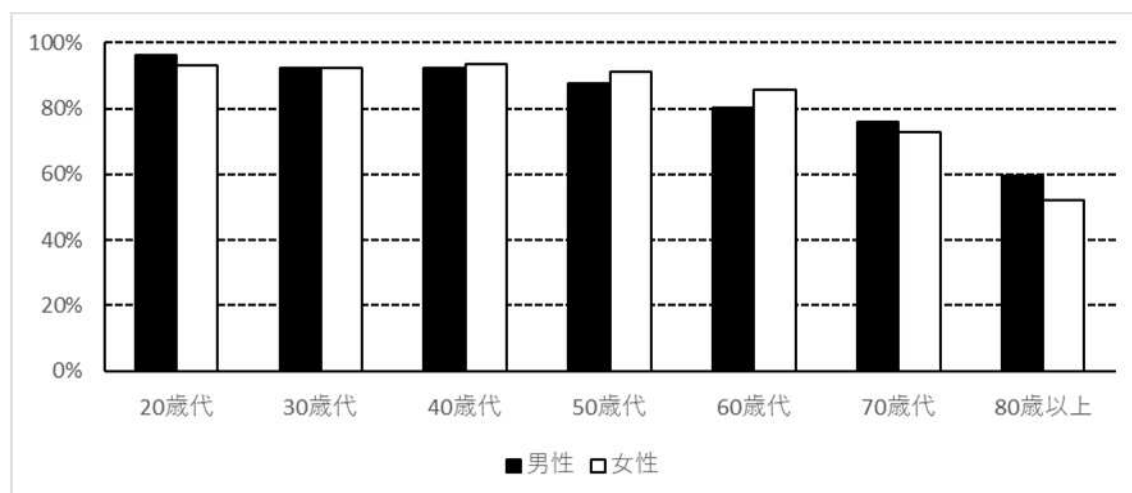
図Ⅱ-6-(4)-カ-5 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：口の乾きが気になる



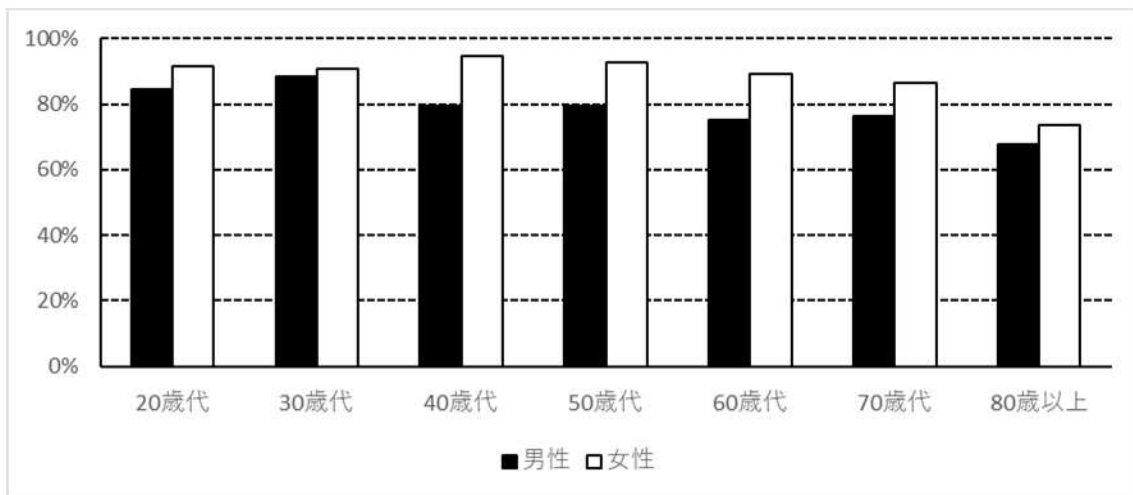
図Ⅱ-6-(4)-カ-6 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：半年前と比べて、外出が少なくなった



図Ⅱ-6-(4)-カ-7 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：さきいか・たくあんくらいの堅さの食べ物を噛むことができる



図Ⅱ-6-(4)-カ-8 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：1日2回以上歯を磨く



図Ⅱ-6-(4)-カ-9 年代別・男女別によるオーラルフレイル質問票の項目：1年に1回以上、歯科医院を受診している

